

2024年度 大学コンソーシアム市川

特別履修学生募集要項

— 前期・春学期 単位互換 —

大学コンソーシアム市川

和洋女子大学 千葉商科大学 東京医科歯科大学教養部

昭和学院短期大学 東京経営短期大学

目 次

1. 特別履修学生出願手続き等について	2
2. 2024年度前期・春学期 単位互換科目一覧	3
1) 昭和学院短期大学	...	4
2) 東京経営短期大学	...	12
3) 千葉商科大学	...	21
4) 和洋女子大学	...	41
3. 各大学へのアクセス	72
4. 出 願 票	73

共通科目「市川学」について

夏季集中授業として「市川学」を開講します。

日程及びシラバス等詳細につきましては、各大学の事務担当窓口にお問い合わせください。(7月上旬確定予定)

2024年度 大学コンソーシアム市川における
特別履修学生出願手続き等について

大学コンソーシアム市川

1. 出 願

以下の期間内に、所属大学の事務担当窓口申し出てください。

2024年3月25日（月）～4月2日（火）

・昭和学院短期大学	教務部	TEL 047-324-7115
・東京経営短期大学	学務課	TEL 047-328-6161
・千葉商科大学	教務課	TEL 047-373-9754
・東京医科歯科大学教養部	教養事務室教養教務・支援係	TEL 047-300-7105
・和洋女子大学	教務課	TEL 047-371-1124

2. 受入許可等

所属大学からの受入依頼に基づき、受入を許可した大学は、所属大学へ受入許可の通知をします（本人には直接通知しません）。

なお、受入学生数を超える応募者がある場合、抽選により決定します。

3. 履 修 料

原則として無料とします。授業科目によって教科書及び教材費等が必要な場合は、各自の負担となります。

4. そ の 他

- (1) 自動車及び二輪車による通学は各大学の指示に従ってください。
- (2) 障がい等により受講に不安のある学生は、事前に所属大学を通して各大学窓口にご相談してください。
- (3) 開講曜日・時限を都合により変更する場合等は、各大学より通知します。
- (4) 授業開始日を含む学事暦（年間スケジュール）やシラバスが変更になる場合があります。出願の際は各大学の事務担当窓口やWebサイトで必ず確認してください。

2024年度 前期・春学期 単位互換科目一覧

大学コンソーシアム市川

大学名	学科	科目	教員名	単位数	曜日・時限	備考
昭和学院短期大学	人間生活学科 キャリア創造専攻	キャリアデザイン論	小川 弓美子	2	木・4	
		食生活論 (食品学・栄養学を含む)	島本 和恵	2	木・3	
	人間生活学科 こども発達専攻	日本語表現	生田 美秋	2	火・5	
		ボランティア社会学 (実習を含む)	片桐 恵子	2	月・5	
	ヘルスケア栄養学科	スポーツ栄養学	新生 暁子	2	水・1	
食事計画論 (応用)		新生 暁子	2	水・2		
東京経営短期大学	経営総合学科	コンピュータ会計	浅野 進	2	月・3	
		発達心理	田原 俊司	2	月・4	
		韓国語A	國井 裕	1	月・5	
		ホスピタリティ論	高橋 有弥	2	火・2	
		法人税法	野田 健	2	火・4	
		マーケティング戦略	高橋 有弥	2	木・1	
		管理会計	浅野 進	2	金・3	
千葉商科大学	商経学部	中小企業論入門	小谷 健一郎	2	月・3	
		初級簿記I	千葉 啓司	2	水・1	
		ファイナンス入門	三田村 智	2	水・1	
		経営管理論	奥寺 葵	2	オンデマンド	
		マーケティング論I	櫻井 聡	2	オンデマンド	
	政策情報学部	環境学入門	杉本 卓也	2	火・3	
		都市計画入門	榎戸 敬介	2	火・2	
	サービス創造学部	観光政策サービス論	山田 耕生	2	金・4	
		サービス創造入門2	石井 泰幸	2	月・2	
		ブライダルサービス論	今井 重男	2	火・3	
	人間社会学部	福祉サービスの組織と経営	吉竹 弘行	2	水・4	
		福祉住環境論	猪熊 ひろか	2	火・3	
		環境と経済	伊藤 康	2	月・3	
		ボランティア論	齊藤 紀子	2	月・1	
国際教養学部	(1Q)Comparative Culture	MIZIRAKLI Halit	2	月3・木3	週2回授業	
	(1Q)地球環境科学	五反田 克也	2	火1・金1	週2回授業	
和洋女子大学	人文学部 日本文学文化学科	草書法	三根 良治	2	木・2	通年
		かな書法II	湯澤 聡	2	金・2	通年
		篆書法	中村 拓也	2	金・1	通年
		隷書法	中村 拓也	2	金・3	通年
		古代学I	小野 真嗣	2	月・4	
		古代生活文化I	小野 真嗣	2	木・1	
		文学セミナー 解釈理論	小澤 京子	2	木・3	
		ポピュラーカルチャーI	仁藤 潤	2	月・4	
		現代文化論	仁藤 潤	2	月・3	
		博物館概論	加藤 紫織	2	金・2	
	人文学部 心理学科	障害者・障害児心理学	田口 久美子	2	金・2	
	国際学部 英語コミュニケーション学科	文学と女性	星野 文子	2	金・3	
		翻訳入門	坪野 圭介	2	月・5	
		異文化コミュニケーション	河内山 有佐	2	金・2	
	国際学部 国際学科	英語の歴史	内田 翔大	2	金・5	
		現代の文化人類学	山崎 真之	2	水・2	
	家政学部 服飾造形学科	観光特論	板垣 武尊	2	木・5	
		平面構成学実習I	伊東 奈々	1	月1・2 (9:45~12:10)	実習費 ¥3,000-
		被服繊維学	鬘谷 要	2	火・2	
	家政学部 家政福祉学科	平面構成学実習I	高橋 由子	1	木3・4 (13:00~15:25)	実習費 ¥3,000-
		保育の心理学	岩治 まとか	2	土・2	
		調理学	大石 恭子	2	水・2	
		障害者福祉論	高木 憲司	2	月・4	

2024年度 前期・春学期
単位互換科目一覧

昭和学院短期大学

学科	科目	教員名	単位数	曜日・時限	備考
人間生活学科 キャリア創造専攻	キャリアデザイン論	小川 弓美子	2	木・4	
人間生活学科 こども発達専攻	食生活論 (食品学・栄養学を含む)	島本 和恵	2	木・3	
	日本語表現	生田 美秋	2	火・5	
	ボランティア社会学 (実習を含む)	片桐 恵子	2	月・5	
ヘルスケア栄養学科	スポーツ栄養学	新生 暁子	2	水・1	
	食事計画論 (応用)	新生 暁子	2	水・2	

注1. 全て面接授業（登校して受講）となります。

2. 受入人数は若干名です。

3. 不明点は教務部までお問い合わせください。(Tel 047-324-7115)

<時間割>

1時限 9:10～10:40

2時限 10:50～12:20

3時限 13:05～14:35

4時限 14:45～16:15

5時限 16:25～17:55

<授業開始日>

2024年4月8日(月)

※出願の際は事務担当窓口やWebサイトで必ず確認してください。

<開講キャンパス>

昭和学院短期大学 〒272-0823 千葉県市川市東菅野2丁目17-1

◇アクセス◇

・JR総武線「本八幡」駅下車徒歩20分、

または都営新宿線「本八幡」駅、京成電鉄「京成八幡」駅下車徒歩15分

(大町駅・高塚・東松戸駅行きバス5分)

・JR総武線「市川」駅下車 バス10分(市川学園、本八幡駅行き)

・JR武蔵野線「市川大野」駅下車バス10分(本八幡駅行き)

※いずれのバスも「昭和学院前」下車

2024年度学事暦 昭和学院短期大学

月	日	曜日	人間生活学科・ヘルスケア栄養学科
4	2	火	入学式
	8	月	前期授業開始
5	16	木	体育祭(オンデマンド型補講)
7	31	水	前期定期試験開始
8	2	金	前期定期試験終了
9	25	水	後期授業開始
10	25	金	真間祭準備(オンデマンド型補講)
	26	土	真間祭
	27	日	真間祭
	28	月	真間祭片付け(オンデマンド型補講)
	29	火	学園祭代休
12	21	土	冬季休暇開始
	23	月	授業実施
1	14	火	授業再開
	23	火	創立記念日(オンデマンド型補講)
2	5	水	後期定期試験開始
	7	金	後期定期試験終了
3	15	土	卒業式

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
昭和学院短期大学	キャリアデザイン論	小川 弓美子	前期・春学期	必修	講義	2
【授業のねらい】 キャリアの中には、仕事、ライフスタイル、社会接点など様々な観点が含まれている。本講座では多様化する価値観の中での自分なりの生き方、自身の探究を深めることで、『働く』ことの意味・意義を考えるとともに、未来の自分を考える機会になることを狙いとしている。また副次的に、社会の中での個人を考えることにより社会人の基礎能力を身に着けることも想定している。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 インタビューやワークを通じて社会人基礎スキルとしての敬語やマナー、納期や指示の汲み取りを理解することを目指し、レポートを通して評価する。自分のキャリアをデザインすることに関して、自己の認知の範囲を超え描くことができることを目指し、授業内でのディスカッション等の参加態度で評価をする。						
【教科書・参考書】 教科書： 印刷物を用いる 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介する。						
【その他】 レポートのフィードバックを行う。 ※実務家教員による授業						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	キャリアとは キャリアの定義と現状の棚卸		事前学習： キャリアという言葉を自分なりに考察する 事後学習： 授業を振り返り、現状の自分の状況を考察する			
2	キャリアデザインとは なりたい自分を考える		事前学習： 将来の自分のキャリアに関して考察する、身近な人のキャリアヒアリング 事後学習： 将来の自分のキャリアをデザインしまとめる			
3	先輩のキャリア志向 ワーク準備		事前学習： 先輩のキャリア思考を調査する準備をする 事後学習： インタビューの実行計画を立てる			
4	先輩のキャリア志向 実行と記事のまとめ		事前学習： 先輩のキャリア思考を調査する準備をする 事後学習： インタビューの実行・まとめをする			
5	先輩のキャリア志向 記事の完成と公開作業		事前学習： 記事の完成 事後学習： WEB上でのUPロードの準備			
6	企業で働く人々の職業観 インタビューの流れと準備		事前学習： 企業で働く人の職業観を考察する 事後学習： インタビュー対象の調査			
7	企業で働く人々の職業観 インタビュー準備と計画①		事前学習： 企業で働く人へのインタビュー準備 事後学習： インタビューの実行計画を立てる			
8	企業で働く人々の職業観 インタビュー準備と計画②		事前学習： 企業で働く人へのインタビュー準備 事後学習： インタビューの実行計画を立てる			
9	企業で働く人々の職業観 インタビュー内容の記事化①		事前学習： インタビュー内容のプレゼン準備 事後学習： プレゼン資料の準備			
10	企業で働く人々の職業観 インタビュー内容の記事化②		事前学習： インタビュー内容のプレゼン準備 事後学習： プレゼン資料の準備			
11	発表・プレゼン		事前学習： プレゼン準備 事後学習： プレゼンの振り返り			
12	ワーク 働き意味		事前学習： ワーク準備 事後学習： ワークを通じて、働く意味を自分なりに再考する			
13	ワーク 未来を想像する		事前学習： ワーク準備 事後学習： ワークを通じて、未来像を自分なりに再考する			
14	未来のプランを立てる 自分の未来の計画を立てる		事前学習： 自分の未来像を考える 事後学習： 社会に出たあとの自分を想像し、今の自分に何が必要か考察する			
15	まとめアウトプット キャリアデザインとは		事前学習： キャリアデザインに関して15年後に関して考察する、プレゼン準備 事後学習： プレゼンを通して、キャリアデザインの理解を深める			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
昭和学院短期大学	食生活論	島本和恵	前期・春学期	必修	講義	2
【授業のねらい】 生命維持の源となる食は、私たちの活動のあらゆる側面と関連している。健康で豊かな生活を営むためには、正しい食事摂取に基づいた適切な食習慣を身に付け、実践することの重要性を知ることが大切である。本授業では、健康維持を考慮した食事や現在の食を取り巻く問題、多様化する食文化等に目を向けて、適切な食生活のあり方を考える力を身に付ける。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 ・適切な情報を収集し、的確に分析し、現代社会の問題点を指摘することができる ・レポート課題「自身の食事を振り返る」「豊かな食生活とは」に関して、授業で学んだことを踏まえて自分の考えを的確な文章で表現することができる ・授業で取り上げるテーマに沿った事前学習、事後学習を行い、調査結果や考察を適切に書くことができる						
【教科書・参考書】 教科書：吉澤みな子・武智多与理・百木和著『大学で学ぶ 食生活と健康のきほん』（化学同人） 参考書：						
【その他】						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	オリエンテーション 食生活論の概念と食事の機能			事前学習：自分の食事を振り返る。 事後学習：授業の進め方、注意事項を理解しておく。		
2	健康と食事			事前学習：教科書（p.1-6）や新聞等の資料から、食生活と健康についてまとめる 事後学習：授業の内容をまとめ、理解を深めておく（ワークシート作成）		
3	健康維持に必要な栄養と食品			事前学習：教科書（p.7-40）から、食生活と健康についてまとめる 事後学習：授業の内容をまとめ、理解を深めておく（ワークシート作成）		
4	健康維持に必要な栄養と食事内容			事前学習：教科書（p.7-40）を読み、質問事項をまとめる 事後学習：授業の内容をまとめ、理解を深めておく（ワークシート作成）		
5	自分の食事内容を評価する			事前学習：自分の食事内容を記録しておく 事後学習：レポートを作成する		
6	日本の食文化と食の多様性			事前学習：教科書（p.133-142）を読み、質問事項をまとめる 事後学習：第6回のグループワークに必要な資料を準備する		
7	味の基本味とおいしさの要因			事前学習：教科書（p.41-51）を読み、質問事項をまとめる 事後学習：授業内容をまとめ、レポートを作成する		
8	海外の食文化について考える①グループワーク			事前学習：海外の食文化について資料を収集し、グループ内でまとめる 事後学習：授業内容および資料を踏まえ、発表資料を完成させる		
9	海外の食文化について考える②発表			事前学習：発表に向けた内容の整理および役割分担を行う 事後学習：発表内容をまとめ、理解を深めておく		
10	食生活と安全			事前学習：教科書（p.117-120）を読み、質問事項をまとめる 事後学習：授業内容をまとめ、理解を深めておく		
11	食の安全性と環境問題①様々な問題について			事前学習：教科書（p.121-132）を読み、質問事項をまとめる 事後学習：授業内容をまとめ、問題点の検討を行う		
12	食の安全性と環境問題②グループワークによる検討			事前学習：食の安全性や環境問題をグループごとに検討し、資料を収集する 事後学習：授業内容をまとめ、理解を深めておく		
13	食の安全性と環境問題③発表			事前学習：テーマに沿って収集し精査した科学的根拠のある情報から発表資料をまとめる。 事後学習：授業内容をまとめ、理解を深めておく		
14	食の安全性と環境問題に対する改善の検討			事前学習：第13回の授業内容と教科書（p.121-131）を読み、検討事項をまとめる 事後学習：授業内容をまとめ、理解を深めておく		
15	まとめ			事前学習：授業全体の内容を復習し、理解を深める。質問事項をまとめる。 事後学習：		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
昭和学院短期大学	日本語表現	生田 美秋	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 保育者のための日本語表現力アップをめざす講座。就職活動で園や企業が学生に求める資質の第一位はコミュニケーション能力です。話す力、伝える力、書く力、読む力をつけることによりコミュニケーション能力を高め、品格ある正しい日本語の使い方を学習します。日本語検定3級問題集の読解のほか、ディスカッション、実演、発表などアクティブラーニングの手法を取り入れて、楽しく確実に実力が身につくよう指導します。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル社会で活躍できる日本語の表現力を身につける。 ・保育者としてめざす目標についてレポートを作成する。 ・自己紹介の下書きを作成し、相手に自己アピールできる力をつける。 ・理由と根拠を示して大学または授業の改善策を提案する。 ・グループ学習において責任ある行動がとれる。 						
【教科書・参考書】 教科書： なし。適宜A4サイズのプリントを配布します。ファイルを購入してプリントを綴じておいてください。 参考書： テーマに合わせて適宜紹介します。						
【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・提出していただいたレポートのフィードバックを行います。 ・毎回行う日本語検定3級問題集読解は結果(点数)ではなく学習内容の定着を目的としています。 						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	オリエンテーション、話す力①挨拶	事前学習： シラバスの内容を理解する 事後学習： 授業の学習内容を理解する				
2	話す力②自己紹介、ショートスピーチ レポートの提出「自己紹介文の下書き」	事前学習： レポート「自己紹介文の下書き」を作成する。事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する				
3	話す力③改まった話し方、プレゼンテーション	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する				
4	話す力④敬語の役割	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する				
5	話す力⑤敬語を使って話す	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する				
6	伝える力①話を聞く	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する				
7	伝える力②わかりやすく伝える	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する				
8	伝える力③説明する	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する				
9	伝える力④理由と根拠を示す レポート提出「大学または授業の改善提案」	事前学習： レポート「大学または授業の改善提案」を作成する。事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する				
10	書く力①読みやすく書く基本	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する				
11	書く力②レポートを書く レポート提出「保育者としてめざす目標」	事前学習： レポート「保育者としてめざす目標」を作成する。事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する				
12	書く力③書いた文を見直す	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する				
13	書く力④手紙、履歴書、エントリーシート	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する				
14	読む力①音読したい名作（韻文）	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する				
15	まとめ、読む力②音読したい名作（散文）	事前学習： 事後学習： これまでの授業を振り返る				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
昭和学院短期大学	ボランティア社会学（実習を含む）	片桐 恵子	前期・春学期	必修	講義	2
【授業のねらい】						
身近な地域社会に対する問題意識を持ち、ボランティア精神（社会的な課題解決の為、個人の自発的な意思に基づき、原則無報酬で公益を求める態度や姿勢）を身に付けることをねらいとする。このため、授業内では学生個々の問題意識を育むために、ボランティア活動計画を作成しその上で、地域で活動・活躍しているボランティア団体で実習を行う。また、関心の持ちやすいテーマ（子ども、子育て家庭、社会的養護など）については、ボランティアで実習での振り返りやDVD視聴を踏まえ、グループディスカッションを通し学生個々の問題意識を発展させる力を養う。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
他者を尊重し、協力的な態度で問題の発見、解決ができる（20%） ボランティアの意義・目的を理解し、社会に貢献できる態度を身に付ける（30%） ボランティア活動計画に基づき、向上心・責任感のあるボランティア活動を実践できる（50%）						
【教科書・参考書】						
教科書： 適宜レジュメ、資料配布 参考書： 『保育所保育指針解説』『幼稚園教育要領解説』『幼保連携型認定こども園・保育要領解説』（いずれもフレーベル館）						
【その他】						
活動報告のフィードバックを行う。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	オリエンテーション 本科目の意義と目的		事前学習： シラバスの内容を理解する 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			
2	ボランティアの歴史と課題		事前学習： 地域社会の問題を発見し、課題を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			
3	地域課題の共有とボランティア活動計画		事前学習： 地域社会の身近な問題や課題を発見する 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			
4	ボランティア活動の範囲と地域共生社会		事前学習： 身近なボランティア活動を支える制度や公共機関を調べる 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			
5	グループで計画したボランティア活動		事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			
6	ボランティア活動の実際		事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			
7	ボランティア活動の実際		事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			
8	ボランティア活動の実際		事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			
9	ボランティア活動の実際		事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			
10	ボランティア活動の実際		事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			
11	個人で計画したボランティア活動		事前学習： 個人で計画したボランティア活動の実施準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			
12	ボランティア活動の実際		事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			
13	ボランティア活動の報告会の準備		事前学習： ボランティア活動の報告準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			
14	ボランティア活動の報告会（グループ）		事前学習： ボランティア活動の報告準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			
15	ボランティア活動の報告会（個人）		事前学習： ボランティア活動の報告準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
昭和学院短期大学	スポーツ栄養学	新生 暁子	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
<ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートからスポーツ愛好者までの方が、良好なコンディションを維持しパフォーマンスを向上させるため、もしくは健康維持増進のための運動には適切な栄養摂取が欠かせないことを学ぶ。 ・一般人における健康と運動の関係、障がい者のスポーツ栄養学についても学ぶ。 ・様々なステージのスポーツ栄養を理解する 						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
〈専門的知識・技術〉50% 健康の維持およびパフォーマンス向上のために栄養学の知識が必要なことを知る 確認テスト50% 〈思考力〉50% 科学的根拠に基づき最新の情報とデータを調べて考えることができる レポート50%						
【教科書・参考書】						
教科書： 田中紀子・平野直美編『スポーツ栄養学』（化学同人） 参考書： 岩田純編「スポーツ栄養学 トレーニングの基礎と栄養管理の実践」（アイ・ケイ コーポレーション）						
【その他】						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	強いからだをつくるための栄養学の基礎①			事前学習： 基礎栄養学・生化学の復習をしておく 事後学習： 講義内容をまとめておく		
2	強いからだをつくるための栄養学の基礎②			事前学習： 基礎栄養学・生化学の復習をしておく 事後学習： 講義内容をまとめておく		
3	強いからだをつくるための栄養学の基礎③			事前学習： 基礎栄養学・生化学の復習をしておく 事後学習： 講義内容をまとめておく		
4	運動時の栄養素の代謝と役割			事前学習： 運動時のエネルギー源について調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく		
5	試合前の栄養学、グリコーゲンローディング・乳酸 確認テスト			事前学習： 試合前の健康管理について調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく		
6	運動と水分、熱中症の予防 確認テスト			事前学習： スポーツドリンクの種類を調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく		
7	試合後の栄養学・トレーニング後の栄養学 確認テスト			事前学習： 疲労の予防・回復と栄養について考えておく 事後学習： 講義内容をまとめておく		
8	アスリートとたんぱく質・アミノ酸 確認テスト			事前学習： BCAAについて調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく		
9	ウエイトコントロールと栄養学（増量期） 確認テスト			事前学習： 減量が必要なスポーツ競技を調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく		
10	ウエイトコントロールと栄養学（減量期） 確認テスト			事前学習： 増量が必要なスポーツ競技を調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく		
11	ジュニアのスポーツ栄養学 確認テスト			事前学習： ジュニアスポーツの問題点を調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく		
12	アスリートと貧血 確認テスト			事前学習： 女性スポーツの問題点を調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく		
13	アスリートの骨の健康と栄養摂取 確認テスト			事前学習： 骨の構造と代謝を調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく		
14	障がい者のスポーツ栄養学 確認テスト			事前学習： パラリンピックについて調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく		
15	まとめ 確認テスト			事前学習： 総復習をする 事後学習：		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
昭和学院短期大学	食事計画論(応用)	新生 暁子	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 食事計画の基本は必要な栄養量を考えるとともに環境や嗜好など個人の状況を加味する必要がある。また、対象者にとっても食事計画の意義は大きく異なる。ライフステージ毎のアスリートや、スポーツ愛好者などの対象者別にその食事計画の実際を学ぶ。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 <専門的知識・技術>50% 献立作成に必要な知識および対象者や状況に応じた配慮について理解する 確認テスト30% レポート20% <思考力>50% 知識・技術を活用してプロセスを考えることができる 確認テスト30% 作品20%						
【教科書・参考書】 教科書： 適宜必要なプリントを配布する。食品成分表など授業時に指示をする 参考書： 田中紀子・平野直美編『スポーツ栄養学』（化学同人）						
【その他】						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	献立の構造		事前学習： 献立について調べておく(復習する)			
2	スポーツ選手の食事計画(1) 競技別①筋力を必要とする競技		事前学習： 筋力系スポーツとその栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する			
3	スポーツ選手の食事計画(2) 競技別②持久力を必要とする競技		事前学習： 持久力系スポーツとその栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する			
4	スポーツ選手の食事計画(3) 競技別③筋力+持久力を必要とする競技		事前学習： 筋力系+持久力系スポーツとその栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する			
5	スポーツ選手の食事計画(4) ライフステージ別①ジュニア選手 確認テスト①		事前学習： ジュニアスポーツとその栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する			
6	スポーツ選手の食事計画(5) ライフステージ別②女性選手		事前学習： 女性選手と栄養の関連について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する			
7	スポーツ選手の食事計画(6) ライフステージ別③シニア選手		事前学習： シニア選手と栄養の関連について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する			
8	スポーツ選手の食事計画(7) タイミング別①試合前 確認テスト②		事前学習： 試合前の栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する			
9	スポーツ選手の食事計画(8) タイミング別②試合中		事前学習： 試合中の栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する			
10	スポーツ選手の食事計画(9) タイミング別③試合後		事前学習： 試合後の栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する			
11	スポーツ選手の食事計画(10) 体組成 増量期 確認テスト③		事前学習： 増量期について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する			
12	スポーツ選手の食事計画(11) 体組成 減量期		事前学習： 減量期の栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する			
13	スポーツ選手の食事計画(12) 体組成 体脂肪率		事前学習： 体脂肪率(増減)の栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する			
14	スポーツ選手の食事計画(13) 水分補給と捕食 確認テスト④		事前学習： 水分補給や捕食について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する			
15	まとめ 確認テスト⑤		事前学習： 14回までの振り返りを行う 事後学習：			

2024年度 前期・春学期
単位互換科目一覧

東京経営短期大学

学 科	科 目	教 員 名	単位数	曜日・時限	備 考
経営総合学科	コンピュータ会計	浅 野 進	2	月・3	
	発達心理	田 原 俊 司	2	月・4	
	韓国語 A	國 井 裕	1	月・5	
	ホスピタリティ論	高 橋 有 弥	2	火・2	
	法人税法	野 田 健	2	火・4	
	マーケティング戦略	高 橋 有 弥	2	木・1	
	管理会計	浅 野 進	2	金・3	

注1. 受入人数は若干名です。

2. 原則として面接授業（登校して受講）となります。

<時間割>

- 1時限 9:00～10:30
- 2時限 10:40～12:10
- 3時限 13:00～14:30
- 4時限 14:40～16:10
- 5時限 16:20～17:50

<授業開始日>

2024年4月4日（木）

※ 出願の際は事務担当窓口やWebサイトで必ず確認してください。

<開講キャンパス>

東京経営短期大学 〒272-0001 千葉県市川市二俣 625-1

◇アクセス◇

- ・JR 中央・総武線、武蔵野線、東京メトロ東西線、東葉高速鉄道
「西船橋駅」南口より 徒歩 12分

※スクールバスも運行。運行時刻につきましては事務局へお問い合わせください。

<問い合わせ先>

学務課 TEL 047-328-6161

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
東京経営短期大学	コンピュータ会計	浅野 進	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 この講義は、簿記ⅠA・ⅠB、簿記ⅡA・ⅡB、簿記ⅢA・ⅢB、会計学入門のいずれかの単位を取得、または日商簿記検定3級に合格して簿記の基本知識があり、かつWindowsの基本的操作ができる学生を対象にしています。今日では、会計事務所に限らず中小企業を含む多くの企業は、会計ソフトを使ってパソコンで経理事務を行っています。本講義では、そうした企業に就職して経理部門に配属されたと想定し、実践的な授業を行います。第1段階では、日々の取引を速やかに入力できるように反復練習を行います。第2段階は、試算表を作成して入力ミスを見出し、訂正ができるようにします。後半では、決算整理仕訳の入力、財務諸表と管理資料の作成について学習します。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 本講義では「弥生会計」という会計ソフトの基本的操作を修得し、会計事務所や企業の経理分門等で即戦力となる人材になることを到達目標としている。 成績評価の方法 実技試験・筆記試験 60%、受講態度等の平常点40%で評価します。 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック: 課題については、原則として講義中に解説を行いフィードバックする。						
【教科書・参考書】 教科書: 『令和4年度 コンピューター会計 基本テキスト』実教出版 参考書: 日商 電子会計実務検定試験対策テキスト 『令和4年度 コンピューター会計 基本問題集』実教出版						
【その他】 テキスト及び配布されたプリントの内容を理解し、入力できるように復習に重点をおくこと。 実務経験のある教員等による授業科目である						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	ガイダンス、会計ソフトについて 授業の目的、講義の進め方、コンピュータ会計の特徴	事前学習: 基本的な仕訳の復習 事後学習: プリントの内容を理解する				
2	主な仕訳の復習、基本的な入力方法 主な仕訳を復習して、基本的な入力方法を学ぶ	事前学習: 前回の配布プリントの復習 (60分) 事後学習: 配布プリントの確認 (60分)				
3	弥生会計の基本操作 弥生会計の基本的な操作(会社登録、開始残高登録) 補助科目の登録と会計データの基本的な入力方法	事前学習: 前回の配布プリントの復習 (60分) 事後学習: 配布プリントの確認 (60分)				
4	月次データの入力 基本的な取引データの入力	事前学習: 前回の配布プリントの復習 (60分) 事後学習: 配布プリントの確認 (60分)				
5	月次データの入力 基本的な取引データの入力、早く・正確に入力する方法	事前学習: 前回の配布プリントの復習 (60分) 事後学習: 配布プリントの確認 (60分)				
6	月次データの入力 取引データの入力、照合	事前学習: 前回の配布プリントの復習 (60分) 事後学習: 配布プリントの確認 (60分)				
7	月次データの入力 取引データの入力・照合、自動仕訳の登録	事前学習: 前回の配布プリントの復習 (60分) 事後学習: 配布プリントの確認 (60分)				
8	月次データの入力 取引データの入力・照合、自動仕訳の登録	事前学習: 前回の配布プリントの復習 (60分) 事後学習: 配布プリントの確認 (60分)				
9	月次データの入力 取引データの入力・照合、試算表の作成	事前学習: 前回の配布プリントの復習 (60分) 事後学習: 配布プリントの確認 (60分)				
10	月次データの入力 取引データの効率的な入力方法、自動仕訳の利用	事前学習: 前回の配布プリントの復習 (60分) 事後学習: 配布プリントの確認 (60分)				
11	月次データの入力、複雑な取引の入力 複雑な取引の仕訳と入力、自動仕訳の利用	事前学習: 前回の配布プリントの復習 (60分) 事後学習: 配布プリントの確認 (60分)				
12	決算処理 決算処理の仕方	事前学習: 前回の配布プリントの復習 (60分) 事後学習: 配布プリントの確認 (60分)				
13	まとめと復習 これまでのまとめと復習を通じて、試験対策に繋げる	事前学習: これまでの配布プリントの復習 (60分) 事後学習: 配布プリントの確認 (60分)				
14	実技試験対策 試験対策を通じて、自分の間違いやすい傾向を知る	事前学習: これまでの配布プリントの復習 (60分) 事後学習: 配布プリントの確認と実技練習 (60分)				
15	財務諸表と管理資料の作成 取引の入力により、財務諸表と管理資料が作成されることを理解する	事前学習: これまでの配布プリントの復習 (60分) 事後学習: 配布プリントの確認と振り返り (60分)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
東京経営短期大学	発達心理	田原 俊司	前期・春学期	必修	講義	2
【授業のねらい】 基礎的な発達心理学的知識の習得、および実生活上でそれを応用して個人や人そのものを発達心理学的な視点からも洞察できるようになることが達成目標である。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 生涯発達心理学の観点によれば、各発達段階によって発達課題は異なり、個人を理解するためには個人の個人となりだけでなく発達の段階にも着目する必要がある。複数の発達理論や各発達段階で顕著な問題・課題への理解を介して、人の発達を総合的に理解することが目的となる。その過程で、近年注目を集める発達障害についても言及する。なお、本授業では講義形式を主とするが、必要に応じてグループワークや映像資料、心理尺度等の体験を通じた学習方法も併用する予定である。 毎授業での小レポート提出(40%)、期末レポート(60%)を基準に総合的に評価する。 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック：課題については、原則として講義中に解説を行うことでフィードバックする。						
【教科書・参考書】 教科書： 授業時に毎回、必要な資料を配布する。 参考書： 授業時に適宜提示する。						
【その他】 受講人数やその他の事情により、オンライン形式での開講、対面・オンライン形式併用での開講を余儀なくされる場合には授業形態に影響が出る可能性がある。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	オリエンテーション 授業の目的・概要、授業の進め方、発達心理学を学ぶ意義		事前学習： 人、子どもの発達についてメディアを通じて興味のある点を考えておく(60分) 事後学習： 授業内容をまとめる(60分)			
2	発達理論① 発達を左右するもの：遺伝と環境		事前学習： 遺伝説・環境説について調べておく(60分) 事後学習： 授業内容をまとめる(60分)			
3	発達理論② 精神分析・精神分析的発達理論		事前学習： 精神分析について調べておく(60分) 事後学習： 授業内容をまとめる(60分)			
4	発達理論③ エリクソンの漸成発達理論		事前学習： 漸成発達理論について調べておく(60分) 事後学習： 授業内容をまとめる(60分)			
5	乳児期 最初期の自我発達、愛着理論		事前学習： 愛着理論について調べておく(60分) 事後学習： 授業内容をまとめる(60分)			
6	幼児期・発達理論④ ピアジェの認知発達論・表象機能・遊び		事前学習： ピアジェの理論・幼児の遊びの意義について調べておく(60分) 事後学習： 授業内容をまとめる(60分)			
7	児童期 友人関係・いじめ		事前学習： いじめの要因・心理的影響について調べておく(60分) 事後学習： 授業内容をまとめる(60分)			
8	発達障害① 発達障害、特に自閉症スペクトラム障害(ASD)		事前学習： ASDについて調べておく(60分) 事後学習： 授業内容をまとめる(60分)			
9	発達障害② 発達障害、特に注意欠如多動性障害(ADHD)		事前学習： ADHDについて調べておく(60分) 事後学習： 授業内容をまとめる(60分)			
10	体験学習① 事例から発達障害についての理解を深める		事前学習： 各種の発達障害についてまとめる(60分) 事後学習： 体験学習で得られた気づきをまとめる(60分)			
11	青年期 アイデンティティ		事前学習： アイデンティティについて調べておく(60分) 事後学習： 授業内容をまとめる(60分)			
12	青年期～若い成人期 親密な関係と今日的な問題		事前学習： 恋愛関係・結婚初期に伴う問題について整理しておく(60分) 事後学習： 授業内容をまとめる(60分)			
13	体験学習② 事例から青年期の心理的発達を解釈する		事前学習： 青年期の発達課題をまとめる(60分) 事後学習： 体験学習で得られた気づきをまとめる(60分)			
14	中年期・老年期 世代性・老い・死の受容		事前学習： 老いること、死ぬことに伴う問題について考える(60分) 事後学習： 授業内容をまとめる(60分)			
15	まとめ・レポートに向けて これまでの授業を総復習することで、内容について理解を深める		事前学習： 今までの授業内容について疑問点をまとめておく(60分) 事後学習： 授業内容をまとめる(60分)			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
東京経営短期大学	韓国語A	國井 裕	前期・春学期	必修	講義	1
【授業のねらい】 日常生活や旅行等で使われる挨拶言葉や簡単なフレーズを習得し、初歩的な会話ができるようになること、ハングルで綴られた言葉や平易な文章の読み書き、発音ができるようになることを目的としている。K-POP、韓国ドラマなど、様々な媒体を用いて楽しく韓国語を身につけてもらうこと、学んだことをアウトプットできる機会を多く設けることが本科目の特徴である。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 達成目標 1. 基本的な挨拶言葉が言える 2. 簡単なハングルの読み書き、発音ができる 3. 自己紹介と初歩的な日常会話ができる 成績評価：筆記試験と口頭試験、課題、授業態度等から総合的に判断します						
【教科書・参考書】 教科書： 後日、お知らせします。 参考書：						
【その他】 グループ・ワーク等で学んだことをアウトプットできる機会を多く設ける。シラバスの内容は、受講者の習熟度に合わせて、随時変更が加えられます。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	1. オリエンテーション 2. ハングルの基本母音と子音(平音) 3. あいさつ言葉	事前学習： ハングルに目を通す。韓国について調べる。 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。あいさつ言葉、表現を書く、発音する。				
2	1. ハングルの基本母音と子音(激音・濃音) 2. 自己紹介練習、あいさつ言葉 3. 韓流ドラマで書き取り&会話練習	事前学習： ハングルの基本母音と子音(激音・濃音)の講義を視聴する。 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。あいさつ言葉、表現を書く、発音する。				
3	1. ハングルの基本母音と子音、パッチム 2. 自己紹介練習、あいさつ言葉 3. K-POPで書き取り&会話練習	事前学習： ハングルの基本母音、子音、パッチムに関する講義を視聴する。 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
4	1. ハングルの基本母音と子音、パッチム 2. 自己紹介練習、あいさつ言葉 3. 韓流ドラマで書き取り&会話練習	事前学習： ハングルの子音、パッチムに関する講義を視聴する。 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
5	1. ハングルの基本母音と子音、パッチム、複合母音 2. 自己紹介練習、あいさつ言葉 3. K-POPで書き取り&会話練習	事前学習： ハングルの子音、パッチム、複合母音に関する講義を視聴する。 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
6	1. ハングルの基本母音等の復習と発音(有声音化) 2. 自己紹介練習、あいさつ言葉 3. 韓流ドラマで書き取り&会話練習	事前学習： ハングルの母音、子音と有声音化に関する講義を視聴する。 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
7	1. ハングルの基本母音と子音等の復習と発音(連音化) 2. 自己紹介練習、あいさつ言葉 3. K-POPで書き取り&会話練習	事前学習： ハングルの母音、子音、連音化に関する講義を視聴する。 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
8	1. ハングルの基本母音と子音等の復習と発音(鼻音化) 2. 自己紹介練習、あいさつ言葉 3. 韓流ドラマで書き取り&会話練習	事前学習： ハングルの基本母音、子音の復習、鼻音化に関する講義を視聴する。 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
9	1. ハングルの基本母音と子音等の復習と発音(濃音化) 2. 自己紹介練習、あいさつ言葉 3. K-POPで書き取り&会話練習	事前学習： ハングルの濃音化に関する講義を視聴する。 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
10	1. ハングルの基本母音と子音等の復習と発音(激音化) 2. 自己紹介練習、あいさつ言葉 3. 韓流ドラマで書き取り&会話練習	事前学習： ハングルの激音化に関する講義を視聴する。 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
11	1. ハングルの基本母音と子音等の復習と発音(口蓋音化) 2. 自己紹介練習、あいさつ言葉 3. K-POPで書き取り&会話練習	事前学習： ハングル既習事項の復習と発音(口蓋音化) 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
12	1. ハングルの基本母音と子音等の復習と発音(流音化) 2. 自己紹介練習、あいさつ言葉 3. 韓流ドラマで書き取り&会話練習	事前学習： ハングル既習事項の復習と発音(流音化) 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
13	1. ハングルの基本母音と子音等の復習と発音(「ㄱ」の弱化) 2. 自己紹介練習、あいさつ言葉 3. K-POPで書き取り&会話練習	事前学習： ハングル既習事項の復習と発音(「ㄱ」の弱化) 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
14	1. ハングルの基本母音と子音等の復習と発音(「ㄴ」の添加) 2. 自己紹介練習、あいさつ言葉 3. 韓流ドラマで書き取り&会話練習	事前学習： ハングルの「ㄴ」の添加に関する講義を視聴する 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
15	1. ハングルの総復習 2. 自己紹介の練習と習熟度を確認 3. 日常会話練習	事前学習： ハングルのポイントを復習しておく。 事後学習： 習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
東京経営短期大学	ホスピタリティ論	高橋 有弥	前期・春学期	必修	講義	2
【授業のねらい】 サービス産業だけではなくあらゆる業界で求められ、重要視されているホスピタリティ。ホスピタリティは、お客様の立場になって考え、行動すること。このホスピタリティの必要性和重要性を深く理解し、人間力アップにもつなげていきます。また、消費者心理についても勉強し、真の顧客サービスとは何かについても考えてみましょう。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 ホスピタリティの理解とその活用方法について学び、どのような状況においても、相手の立場になって考え、行動できるようになることを目的とします。 成績評価の方法 期末試験：40% 課題：20% 平常点：40% 合計100% ※課題については、原則として講義中に解説を行うことでフィードバックする。						
【教科書・参考書】 教科書： パワーポイントを用いて説明していきます。テキストは使用しません。 参考書： 林田正光「ホスピタリティの教科書」あさの出版 七条千恵美「接客の一流、二流、三流」明日香出版						
【その他】 実務経験のある教員等による授業科目						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	ホスピタリティとは・・・ ・マーケティングとホスピタリティの関係性について ・なぜ、ホスピタリティが目されているのか？	事前学習： ホスピタリティ（おもてなし）とは何かを事前に調べておくこと（90分）。 事後学習： マーケティングとホスピタリティの関係性について自らの経験から事例を考えておくこと（90分）。				
2	ホスピタリティとサービスの違い ・サービスとは何か？ホスピタリティとは何か？	事前学習： サービスの意味について事前に調べておくこと（90分）。 事後学習： サービスとホスピタリティの違いを事例を用いて説明ができるようになること（90分）。				
3	消費者心理とは・・・ ・お客様の心理を理解することの重要性について ・マズロー理論、消費者5段階プロセス	事前学習： お客様がなぜ特定の商品を購入するのか？自らの購買経験を基に考えておくこと（90分）。 事後学習： マズロー理論を復習し、事例を用いて理論を説明ができるようになること（90分）。				
4	マーケティングからのホスピタリティの理解 ・セグメンテーション/ニッチマーケティング	事前学習： マーケティング・ミックスについて事前に調べておくこと（90分）。 事後学習： マーケティングとホスピタリティの関係性について説明ができるようになること（90分）。				
5	顧客満足（CS）と従業員満足（ES） ・顧客満足（CS）とは？従業員満足（ES）とは？どちらが大切なのか？	事前学習： 顧客満足（CS）について事前に調べておくこと（90分）。 事後学習： 従業員満足（ES）がなぜ重要なのかについて自らの経験を基に説明ができるようになること（90分）。				
6	ホスピタリティの実践に必要な「心」と「力」について ・ホスピタリティに必要な6つの「心」 ・ホスピタリティに必要な3つの「力」	事前学習： ホスピタリティはどのように身につけることができるのかを自らの経験から説明ができるようになること（90分）。 事後学習： 自分にとってのホスピタリティとは？をテーマにこれまでの授業で学んだ事例及び自らの経験を基にレポートを作成し、次の授業にて提出すること（90分）。				
7	コンシェルジュとは・・・① ・ホテルのコンシェルジュとはどんな仕事なのか？ ・コンシェルジュの役割とは？	事前学習： ホテルにおけるホスピタリティについて事前に調べておくこと。また、世界でもホスピタリティが有名なホテル名も調べておくこと（90分）。 事後学習： コンシェルジュの仕事内容、役割などについてホスピタリティの観点から整理し、説明できるようになること（90分）。				
8	コンシェルジュとは・・・② 事例研究 ・帝国ホテル「ロービーマネージャー」の役割 ・事例研究：グランドハイアット東京 チーフコンシェルジュ	事前学習： 帝国ホテル、グランドハイアット東京について事前に調べておくこと（90分）。 事後学習： 帝国ホテルやグランドハイアット東京以外のホテルでコンシェルジュを活用しているホテルを調べておくこと（90分）。				
9	ホスピタリティに必要とされる行動的な特質とは・・・ ・事例研究：スターバックスの取り組みについて	事前学習： スターバックスにおけるホスピタリティについて事前に調べておくこと（90分）。 事後学習： 自らの経験からスターバックス以外の飲食店におけるホスピタリティについて説明できるようになること（90分）。				
10	「感じる力」・「先読みする力」の重要性について 事例研究 ・問題発見能力/問題解決能力 ・事例研究：リッツ・カールトンホテル	事前学習： 現在、自らが抱える問題について整理をし、それらの問題がなぜ発生したのかを整理しておくこと（90分）。 事後学習： 仕事における問題発見、そして問題解決の重要性について説明ができるようになること（90分）。				
11	ホスピタリティ事例研究 ・日本初の盲導犬チャンピオンとホスピタリティ	事前学習： ここまでの授業で学んできたホスピタリティについて整理しておくこと（90分）。 事後学習： 今回までの講義で学んだ内容をまとめて整理をし、自らが考えるホスピタリティについてノートにまとめておくこと（90分）。				
12	「感動」とは・・・ ・感動すると人はどうなるのか？ ・人を感動させるためには何が必要なのか？	事前学習： 自分がどんな時に感動するのかを整理し、説明できるようにしておくこと（90分）。 事後学習： アルバイトのお客様、家族、友達などを感動させることを努力してみる（90分）。				
13	クレーム対応 ・クレームやコンプレインは悪いことではない理由 ・クレームの発生理由	事前学習： クレームってどんな時に発生するのか？どのように対応するべきなのか事前に調べておくこと（90分）。 事後学習： クレームの発生理由、対応方法、防止策をまとめて、アルバイトをしている学生は実践してみる。アルバイトをしていない学生は説明ができるようになること（90分）。				
14	ビジネスの場面でホスピタリティを実践するには・・・① ・「熟達」の意味 ・初級/一人前/指導者	事前学習： 家族、友達、アルバイト先のお客様に対してホスピタリティを実践してみる（90分）。 事後学習： 本日の授業でビジネス場面でホスピタリティについて整理しておくこと（90分）。				
15	ビジネスの場面でホスピタリティ実践するには・・・② ・ビジネス場面におけるホスピタリティについて② ・ホスピタリティまとめ	事前学習： 前回の授業で学んだビジネスの場面でのホスピタリティに加えて、ビジネスにおけるホスピタリティについて事前に調べておくこと（90分）。 事後学習： ビジネスにおけるホスピタリティについて実践するために必要な事例を整理してまとめておくこと（90分）。				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
東京経営短期大学	法人税法	野田 健	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 本講座では、法人税の概要、企業利益と法人税の課税所得との相違、法人税における基本的な個別規定の理論・計算について、具体的な事例等に基づき解説します。 講義形式を前提とするが、論点の理解を深めるためにその都度演習なども行う。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 社会人として活動する際に直面することとなる法人税についての基礎知識を養成し、積極的に対応することが可能となる能力を養うものとする。 定期試験(40%)、平常点(60%、各回4点を基準とし1点単位で評価する。) 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック課題については、原則として講義中に解説を行うことでフィードバックする。						
【教科書・参考書】 教科書： 須田邦裕『図解 いちばんやさしく丁寧に書いた 法人税申告の本'22年版(2022年版)』成美堂出版 参考書： 経理教育研究会編『基本税法(令和3年度版)』英光社						
【その他】 原則として、全経簿記2級程度以上の力のある学生を対象とします。 なお、電卓(12桁)を持参してください。 実務経験のある教員等による授業科目						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	法人税の対象範囲と課税範囲 ①法人と会社 ②法人と個人事業 ③内国法人と外国法人 ④課税所得の範囲	事前学習：法人税演習の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				
2	法人税と財務会計 ①会計年度と事業年度 ②当期純利益と所得 ③益金と収益 ④損金と費用 ⑤債務確定主義・公正処理基準	事前学習：前回の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				
3	貸借対照表項目と税務調整 ①売掛金と貸倒損失、貸倒引当金 ②買掛金、棚卸資産と売上原価等	事前学習：前回の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				
4	貸借対照表項目と税務調整 ①減価償却 ②評価損益 ③前払費用と税法上の繰延資産	事前学習：前回の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				
5	損益計算書項目と税務調整 ①役員給与 ②交際費等 ③寄附金	事前学習：前回の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				
6	損益計算書項目と税務調整 ①受取配当等 ②欠損金	事前学習：前回の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				
7	損益計算書項目と税務調整 ①消費税の計算(本則、簡易課税、免税事業者) ②消費税の経理処理と租税公課	事前学習：前回の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				
8	損益計算書項目と税務調整 ①租税公課の取扱い ②納税充当金 ③別表五②の作成	事前学習：前回の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				
9	法人税の申告手続 ①別表五②の作成(続き) ②確定申告の概要 ③別表の構成	事前学習：前回の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				
10	法人税の申告手続 ①法人事業概況説明書 ②青色申告 ③中間申告 ④修正申告・更正の請求	事前学習：前回の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				
11	法人税申告書の作成 ①別表十四の作成 ②別表十五の作成	事前学習：前回の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				
12	法人税申告書の作成 ①別表四の作成	事前学習：前回の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				
13	法人税申告書の作成 ①別表五①の作成 ②別表四と別表五①の関係	事前学習：前回の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				
14	法人税申告書の作成 ①別表一①の作成	事前学習：前回の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				
15	法人税申告書の作成、納付 ①法人税申告書の完成 ②納付手続	事前学習：前回の講義内容の再確認(60分) 事後学習：今回の講義内容の復習(60分)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
東京経営短期大学	マーケティング戦略	高橋 有弥	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 本授業ではマーケティング戦略についてその必要性について学び、実際の企業によるマーケティングやその戦略を理解する。 また、具体的な実践例を取り上げ、その活動の意味を理解できるようになる。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 1. マーケティングとその戦略について、必要性を理解する 2. マーケティング戦略について、ある一定の立案ができるようになる 3. 「マーケティング」について自分なりの定義を持てるようになる 成績評価の方法 平常点(積極的な授業への参加):40% 提出物:30% 小テスト:30% 課題については、原則として講義中に解説を行うことでフィードバックする。						
【教科書・参考書】 教科書: 必要に応じて授業中にプリント等配付する。 参考書: 佐藤雅彦、菅俊一『ヘンテコノミクス』2017、マガジンハウス。ISBN:978-4-8387-2972-2						
【その他】 実務経験のある教員等による授業科目 授業中にGoogle Formを用いてアクティブラーニングを実施する。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	ガイダンス・イントロダクション 自己紹介 この授業の学びについて 「マーケティング」復習		事前学習: これまでに学んだ「マーケティング」について振り返っておくこと (90分)			
2	「アンダーマイニング効果」お金と人のモチベーションの関係 お金がやる気を促進させる場合と、後退させる場合があることを学ぶ		事前学習: 人のモチベーションはどのような条件で変化するかについて考える (90分)			
3	P.F. ドラッカーとマーケティング P.F. ドラッカーの知識社会と組織、マーケティングについての考えを学ぶ		事前学習: P.F. ドラッカーの経歴を各自で調べておく (90分)			
4	ブランディング戦略 企業のブランド戦略や価格競争からの脱却について		事前学習: 街中にあふれる広告看板やテレビCM、ネットCMなどを観て、企業が伝えたいメッセージについて考える (90分)			
5	「仕掛学」と「行動経済学」 仕掛学と行動経済学に関するDVDの視聴と感想をまとめる		事前学習: 経済と感情がどう関係するかを予め考える (90分)			
6	セールスと宣伝文句、「限定」について キャッチコピーについて		事前学習: 企業が作ったキャッチコピーを10個集め、ノートにまとめる (90分)			
7	リカーリングモデルとサブスクリプション 最近、Web上で行われるビジネスの具体的な例を取り上げ、そのビジネスモデルを検討する		事前学習: 「リカーリングモデル」と「サブスクリプション」というキーワードについて調べておく (90分)			
8	セールスにおける「松竹梅」戦略 日本人の購買傾向について考える		事前学習: 日本における小売業の価格設定について調べておく (90分)			
9	マーケティング戦略とICT① ICTの発展がマーケティングに与えた影響について		事前学習: ICTの歴史とその進展について調べておく (90分)			
10	マーケティング戦略とICT② マーケティングにおいて実際のビジネスシーンでどのようにICTが活用されているかについて学ぶ		事前学習: ICTとマーケティングの関係について自分なりの考えをまとめる (90分)			
11	「白熱教室」(ダン・アリエリー) 「お金と感情の意思決定」に関するDVDを視聴し、感想をまとめる		事前学習: 経済と感情がどう関係するかを予め考える (90分)			
12	中小企業のマーケティング戦略 大企業とは異なる、中小企業のマーケティング戦略について学ぶ		事前学習: 日本の中小企業の占める割合について各自調べる (90分)			
13	現代企業におけるSNSを用いたマーケティング戦略 現代の企業の宣伝・広報活動に欠かせないSNS戦略について学ぶ		事前学習: 現在、企業の宣伝・広報活動に活用されているSNSの種類について各自調べる (90分)			
14	Webビジネスを行う上でのリスクマネジメント Web上でビジネスを行う際の様々なリスクについて検討を行う		事前学習: 「レピュテーションリスク」「炎上」「バイトテロ」のキーワードについて調べる (90分)			
15	総括・質問・まとめ・感想シート記入 授業の振り返り、質問ほか		事前学習: これまでに学んだことで分からなかったこと、疑問点などをまとめる (90分)			
			事後学習: これまでの授業の内容を振り返っておく (90分)			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
東京経営短期大学	管理会計	浅野 進	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 本講義は、経営者の意志決定に役立つ会計情報に関心や興味を持つ学生を対象としている。担当教員は、ベンチャー企業の設立や中小企業の経営企画・経理・総務の役員・役職の経験がある他、管理会計手法に関する海外企業の視察経験を4回有する。現代の企業において、事業を成功させるためには、有形資産よりも無形の資産の方が重要だといわれている。また、企業だけでなく公的な組織においても、経営の可視化が求められているので、管理会計は財務指標だけでなく非財務指標も測定対象としている。本講義では、担当教員の経験を踏まえて、主に日本企業の業績管理に関する管理会計の用語や考え方を理解すると共に、戦略の策定と実行に関する知識等も学ぶことを目標としている。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 企業や組織が採用する業績評価システムや予算管理プロセスをまずは習得するとともに、必要に応じて最近の管理会計手法について習得することを目標とする。 成績評価の方法 授業への出席状況(30%)、授業態度(30%)、定期試験や授業内指示事項(レポート、発表など)等(40%)の合計評価を標準とする。なお、授業中の有意義な発言等については加点することもある。 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック:原則として、講義中にフィードバックする。						
【教科書・参考書】 教科書: 『管理会計入門<第2版>』(加登豊・梶原武久著)(日経文庫) 参考書: 必要に応じて、授業内で紹介する。						
【その他】 実務経験のある教員等による授業科目						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	オリエンテーション 講義のアウトライン・体系についてのガイダンス。		事前学習: 特になし 事後学習: 教科書内「I管理会計とは」および配布プリントを読んでくる(約60分)			
2	管理会計と組織形態 経営学領域としての管理会計を習得するうえで、組織の形態や組織内部の仕組みを理解する。		事前学習: 第1回授業の配布プリントを読んでくる(約60分) 事後学習: 配布プリントを読んでくる(約60分)			
3	予算と業績評価 予算管理のための管理会計、および業績評価システムについて考え、理解する。		事前学習: 教科書内「II-4予算管理のための管理会計」および教科書内「II-5業績評価とインセンティブ・システム」を読んでくる(約60分) 事後学習: 上記予習部分にもう一度目を通し、予算管理のための管理会計、および業績評価システムについて考え、理解する(約60分)			
4	責任会計、カンパニー制 責任会計、カンパニー制について考え、理解する。		事前学習: 教科書内「II-2責任会計と会計責任の構造」および教科書内「IV-1進化するマネジメント・コントロール(5)」を読んでくる(約60分) 事後学習: 上記予習部分にもう一度目を通し、責任会計、カンパニー制について考え、理解する(約60分)			
5	経営管理プロセスとマネジメント・コントロール 経営管理プロセスとマネジメント・コントロールについて考え、理解する。		事前学習: 教科書内「II-3経営管理プロセス」および教科書内「II-1マネジメント・コントロールとは」を読んでくる(約60分) 事後学習: 上記予習部分にもう一度目を通し、経営管理プロセスとマネジメント・コントロールについて考え、理解する(約60分)			
6	コスト・マネジメントとは コスト・マネジメントについて考え、理解する。		事前学習: 教科書内「III-1コスト・マネジメントとは」および教科書内「III-2原価を見る化する」を読んでくる(約60分) 事後学習: 上記予習部分にもう一度目を通し、コスト・マネジメントについて考え、理解する(約60分)			
7	標準原価計算、原価改善 標準原価計算、原価改善について考え、理解する。		事前学習: 教科書内「III-4コスト・マネジメントへのアプローチ(1)~(3)」を読んでくる(約60分)。1年次に原価計算、原価計算演習I/IIを履修した学生は、履修時のテキストにおける標準原価計算の該当部分にも目を通してくるとよい。 事後学習: 上記予習部分にもう一度目を通し、標準原価計算、原価改善について考え、理解する(約60分)			
8	原価企画 原価企画さらには原価企画を実現するための手段の特徴(VE, オーバーラップ型製品開発体制、バイヤー・サプライヤー関係)について考え、理解する。		事前学習: 教科書内「III-4コスト・マネジメントへのアプローチ(3)」を読んでくる(約60分) 事後学習: 上記予習部分にもう一度目を通し、原価企画について考え、理解する(約60分)			
9	活動基準原価計算(ABC) ABCを活用したコスト・マネジメントについて考え、理解する。		事前学習: 教科書内「III-2原価を見る化する」および教科書内「III-3コスト・ビヘイビアを理解する」を読んでくる(約60分) 事後学習: 上記予習部分にもう一度目を通し、ABCを活用したコスト・マネジメントについて考え、理解する(約60分)			
10	活動基準原価管理(ABM) 原価低減のためのABMについて考え、理解する。		事前学習: 教科書内「III-4コスト・マネジメントへのアプローチ(4)ABC情報に基づくABM」を読んでくる(約60分) 事後学習: 上記予習部分にもう一度目を通し、原価低減のためのABMについて考え、理解する(約60分)			
11	バランス・スコアカード(BSC) マネジメント・コントロールツールの1形態としてのBSC、およびその発展形としての戦略マップについて考え、理解する。		事前学習: 教科書内「IV-1進化するマネジメント・コントロール(2)~(3)」を読んでくる(約60分) 事後学習: 上記予習部分にもう一度目を通し、BSC、戦略マップについて考え、理解する(約60分)			
12	スループット会計および制約理論(TOC) スループット会計、およびその根拠となっているTOCについて考え、理解する。		事前学習: 第11回の配布プリントを読んでくる(約60分) 事後学習: 上記予習部分にもう一度目を通し、スループット会計、TOCについて考え、理解する(約60分)			
13	アメーバ経営 アメーバ経営について考え、理解する。		事前学習: 教科書内「IV-1進化するマネジメント・コントロール(2)~(3)」を読んでくる(約60分) 事後学習: 上記予習部分にもう一度目を通し、BSC、戦略マップについて考え、理解する(約60分)			
14	品質コスト、マテリアルフローコスト 品質コスト、マテリアルフローコストについて考え、理解する。		事前学習: 教科書内「IV-2改めるコスト・マネジメント」および配布プリントを読んでくる(約60分) 事後学習: 上記予習部分にもう一度目を通し、品質コスト、マテリアルフローコストについて考え、理解する(約60分)			
15	まとめ、定期試験 これまでの復習、および定期試験。		事前学習: これまでの授業における全範囲を確認する。 事後学習:			

2024年度 前期・春学期
単位互換科目一覧

千葉商科大学

学 部	科 目	教 員 名	単位数	曜日・ 時限	備 考
商経学部	中小企業論入門	小 谷 健一郎	2	月・3	
	初級簿記 I	千 葉 啓 司	2	水・1	
	ファイナンス入門	三 田 村 智	2	水・1	
	経営管理論	奥 寺 葵	2	オンデ マンド	指定された期間内に 各自で受講する。
	マーケティング論 I	櫻 井 聡	2	オンデ マンド	指定された期間内に 各自で受講する。
政策情報学部	環境学入門	杉 本 卓 也	2	火・3	
	都市計画入門	榎 戸 敬 介	2	火・2	
サービス創造 学部	観光政策サービス論	山 田 耕 生	2	金・4	
	サービス創造入門2	石 井 泰 幸	2	月・2	
	ブライダルサービス論	今 井 重 男	2	火・3	
人間社会学部	福祉サービスの組織と 経営	吉 竹 弘 行	2	水・4	
	福祉住環境論	猪 熊 ひろか	2	火・3	
	環境と経済	伊 藤 康	2	月・3	
	ボランティア論	齊 藤 紀 子	2	月・1	
国際教養学部	(1Q)Comparative Culture	MIZIRAKLI Halit	2	月・3 木・3	週2回・英語による 授業
	(1Q)地球環境科学	五反田 克也	2	火・1 金・1	週2回

注1. 受入人数は若干名。

2. 「Comparative Culture」「地球環境科学」は、1Q(4月15日(月)～6月10日(月)まで)、
週2回の授業となります。

3. 詳細は、教務課までお問い合わせください。(Tel 047-373-9754)

<時間割>

1 時限 9 : 00～10 : 45

2 時限 10 : 55～12 : 40

3 時限 13 : 30～15 : 15

4 時限 15 : 25～17 : 10

5 時限 17 : 20～19 : 05

<授業開始日>

2024 年 4 月 13 日 (土) ※出願の際は事務担当窓口や Web サイトで必ず確認してください。

<授業形態>

- ・面接 登校して受講する授業です。
- ・遠隔 オンデマンド型
資料、音声配信の授業となります。
講義ファイルをダウンロードし、一定期間内に視聴する形式となります。
スマートフォンでの受講も可能です。

<開講キャンパス>

千葉商科大学 〒272-8512 千葉県市川市国府台 1 丁目 3-1

◇アクセス◇

- ・JR 総武線 市川駅下車 徒歩約 20 分
(バス利用の場合は、駅前京成バス 1 番のりばから松戸駅行または松戸営業所行に乗車約 10 分、
和洋女子大前下車 徒歩 3 分)
- ・京成線 国府台駅下車 徒歩約 10 分
- ・北総線 矢切駅下車 徒歩約 20 分
(バス利用の場合は、駅前京成バスのりばから市川駅行に乗車約 10 分 和洋女子大前下車 徒歩 3 分)
- ・JR 常磐線 松戸駅京成バス 1 番のりばから市川方面行に乗車約 20 分 和洋女子大前下車 徒歩 3 分

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	中小企業論入門	小谷 健一郎	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 本講義の目的は、中小企業論の基礎的な知識や理論の修得と中小企業の現状と課題を理解することにある。中小企業は、経営資源が限定されることによる中小企業固有の問題も存在する。その一方、柔軟性を発揮し独自の技術や能力を蓄積し、革新的な製品・サービスを生み出す中小企業も少なくない。また、地域との関係構築により、地域活性化に寄与する中小企業もある。こうした「多様性」を持つ中小企業について、事例やデータをあげながら説明する。 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：授業内評価終了後、授業の総括の中で解説する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 学修成果（達成目標）：日本経済における中小企業の存在意義や重要性を理解する。そして、中小企業の特性や多様性を学ぶことで中小企業を見るうえでの考え方の枠組みを修得することを目標とする。 成績評価の方法：成績は、授業内評価（レポートまたはテスト）と授業への貢献度により、総合的に評価する。授業への貢献度については、毎回、授業の最後に質問やコメントを書いてもらい、次の授業の冒頭で必要に応じて解説を行う。成績は、授業内評価等60%、授業への貢献度40%とする。						
【教科書・参考書】 教科書： 講義用プリントを必要に応じて配布する。 参考書： 必要に応じて授業中に適宜紹介する。 [その他] 履修上の注意：第1回目の授業において、授業の進め方や評価等のガイダンスを行うので、受講希望者は第1回目の授業に必ず出席すること。授業の進捗状況や社会における出来事、受講者の興味や関心などを考慮し、授業の順番や内容を一部変更する場合がある。本授業は経営学等の基本的な理論を修得しているものとして講義を行う。従って、1年生は、秋学期に履修することが望ましい。（商学入門、経済学入門、経営学入門のうち、最低1科目は履修済みであること）						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	イントロダクション：講義の進め方、中小企業とは何か（定義・概要）	事前学習： シラバスを熟読し、中小企業問題の重要性を考慮しておくこと。 事後学習： ガイダンスの内容を見直し、本科目を学ぶ意義を考えること。				
2	中小企業の起業・創業	事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べ、確認しておくこと。 事後学習： 授業内容全体を見返し、重要な点をまとめておくこと。				
3	中小企業経営の特徴	事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べ、確認しておくこと。 事後学習： 授業内容全体を見返し、重要な点をまとめておくこと。				
4	中小企業金融	事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べ、確認しておくこと。 事後学習： 授業内容全体を見返し、重要な点をまとめておくこと。				
5	中小企業の事業承継	事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べ、確認しておくこと。 事後学習： 授業内容全体を見返し、重要な点をまとめておくこと。				
6	企業間関係・下請制の変遷	事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べ、確認しておくこと。 事後学習： 授業内容全体を見返し、重要な点をまとめておくこと。				
7	地域クラスター・産業集積	事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べ、確認しておくこと。 事後学習： 授業内容全体を見返し、重要な点をまとめておくこと。				
8	地場産業	事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べ、確認しておくこと。 事後学習： 授業内容全体を見返し、重要な点をまとめておくこと。				
9	中小小売商業の現状と課題	事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べ、確認しておくこと。 事後学習： 授業内容全体を見返し、重要な点をまとめておくこと。				
10	社会・地域課題解決と中小企業	事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べ、確認しておくこと。 事後学習： 授業内容全体を見返し、重要な点をまとめておくこと。				
11	ベンチャー企業とイノベーション	事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べ、確認しておくこと。 事後学習： 授業内容全体を見返し、重要な点をまとめておくこと。				
12	中小企業政策	事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べ、確認しておくこと。 事後学習： 授業内容全体を見返し、重要な点をまとめておくこと。				
13	授業の総括と授業内評価	事前学習： これまでの授業内容を確認しておくこと。 事後学習： 中小企業の必要性や役割、大学の勉学における本科目の位置づけや他の経営関連科目との関連性を自分なりに考え、まとめること。				

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	初級簿記I	千葉 啓司	前期・春学期	必修	講義	2

【授業のねらい】
 本講義は、簿記の初心者を対象に、各種専門科目を学ぶために必要不可欠な簿記の基礎知識を習得することを目標とする。簿記は、企業が行う取引を記録する技術である。企業が行う取引を適切に理解するためにも簿記の知識は必要である。また、財産管理や営利企業の利益計算にも簿記は必要となる。この様に取引の適切な理解、財産管理、利益計算等に不可欠な簿記の技術を解説する。なお、簿記には各種の資格試験があるが、これらの資格取得への導入としても役立つ。初級簿記Iでは、主に、簿記全体の仕組みや記録の規則について学ぶ。

【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果(達成目標)：取引の記録から帳簿の締め切り、貸借対照表・損益計算書の作成までの複式簿記の基本的な体系を理解すること。現金および預金、特に現金の範囲、当座預金、小切手の仕組みを理解すること。三分法による商品売買取引の記録方法を理解すること。
 成績評価の方法：授業への貢献度20%、13回目総まとめを含む課題内容評価80%を基準とした総合評価。
 「授業への貢献度」は課題の提出状況により、「課題内容評価」は、課題の成績による。
 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：授業時の課題については、次回授業時に解説をするか、CUC Portal を使って解説。

【教科書・参考書】
 教科書： 千葉商科大学会計学研究室編『レクチャー初級簿記第2版』中央経済社、2023年
 参考書：

【その他】履修上の注意：「初級簿記 I」から「初級簿記 II」にステップアップする形で 授業内容が組まれている。必ず、「初級簿記 I」を修得後、「初級簿記 II」を履修すること。また、授業では問題演習を行なうので、必ず12桁表示で位取りのある電卓を用意すること。なお、本講義は、課題の提出状況を重視している。課題を提出しない学生は単位修得が厳しくなるので要注意。

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】
1 簿記の基礎	事前学習： テキスト第1章に目を通し、概要を把握しておくこと。事前確認はおおよそ1.5時間を要する。 事後学習： 授業内容を、テキストやノートから再確認し、重要事項の理解を深めること。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
2 株式会社と複式簿記	事前学習： テキスト第2章に目を通し、概要を把握しておくこと。事前確認はおおよそ1.5時間を要する。 事後学習： 授業内容を、テキストやノート、授業中に行った問題などから再確認し、重要事項の理解を深めること。また、教科書の提出用問題に取り組むこと。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
3 資産・負債・資本(純資産)と貸借対照表	事前学習： テキスト第3章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に貸借対照表の構成要素に重点を置くこと。事前確認はおおよそ1.5時間を要する。 事後学習： 授業内容を、テキストやノート、授業中に行った問題などから再確認し、重要事項の理解を深めること。また、提出用問題に取り組むこと。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
4 費用・収益と損益計算書	事前学習： テキスト第4章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に損益計算書の構成要素について重点を置くこと。事前確認はおおよそ1.5時間を要する。 事後学習： 授業内容をテキストやノート、授業中に行った問題などから再確認し、重要事項の理解を深めること。また、提出用問題に取り組むこと。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
5 簿記一巡の手続、取引と勘定	事前学習： テキスト第5章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に簿記上の取引に重点を置くこと。事前確認はおおよそ1.5時間を要する。 事後学習： 授業内容をテキストやノート、授業中に行った問題などから再確認し、重要事項の理解を深めること。また、提出用問題に取り組むこと。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
6 仕訳と転記、主要簿への記入	事前学習： テキスト第6章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に仕訳と勘定記入の違いに重点を置くこと。事前確認はおおよそ1.5時間を要する。 事後学習： 授業内容をテキストやノート、授業中に行った問題などから再確認し、重要事項の理解を深めること。また、提出用問題に取り組むこと。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
7 決算準備手続(試算表の作成)	事前学習： テキスト第7章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に試算表作成の意義と試算表の種類に重点を置くこと。事前確認はおおよそ1.5時間を要する。 事後学習： 授業内容をテキストやノート、授業中に行った問題などから再確認し、重要事項の理解を深めること。また、提出用問題に取り組むこと。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
8 決算本手続(帳簿の締め切り)	事前学習： テキスト第8章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に現金過不足と当座借越に重点を置くこと。事前確認はおおよそ1.5時間を要する。 事後学習： 授業内容をテキストやノート、授業中に行った問題などから再確認し、重要事項の理解を深めること。また、提出用問題に取り組むこと。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
9 現金預金	事前学習： テキスト第9章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に現金過不足と当座借越に重点を置くこと。事前確認はおおよそ1.5時間を要する。 事後学習： 授業内容をテキストやノート、授業中に行った問題などから再確認し、重要事項の理解を深めること。また、提出用問題に取り組むこと。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
10 商品売買とその記録	事前学習： テキスト第10章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に三分法の仕訳に重点を置くこと。事前確認はおおよそ1.5時間を要する。 事後学習： 授業内容をテキストやノート、授業中に行った問題などから再確認し、重要事項の理解を深めること。また、提出用問題に取り組むこと。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
11 商品有高帳と利益計算	事前学習： テキスト第11章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に商品有高帳における単価計算に重点を置くこと。事前確認はおおよそ1.5時間を要する。 事後学習： 授業内容をテキストやノート、授業中に行った問題などから再確認し、重要事項の理解を深めること。また、提出用問題に取り組むこと。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
12 売掛金と買掛金、総勘定元帳と補助元帳	事前学習： テキスト第12、13章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に、元帳と補助元帳の関係の理解に重点を置くこと。事前確認はおおよそ1.5時間を要する。 事後学習： 授業内容をテキストやノート、授業中に行った問題などから再確認し、重要事項の理解を深めること。また、提出用問題に取り組むこと。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
13 総まとめ	事前学習： これまでの学修を総チェックしておくこと。事前確認はおおよそ3時間を要する。 事後学習： 理解が不足していたところを重点的に学び直すこと。事後学修にはおおよそ30分を要する。総まとめの問題を解いてもらうこともある。

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	ファイナンス入門	三田村 智	前期・春学期	選択	講義	2

【授業のねらい】
 ファイナンスとは資金の流れをとまなぐ様々な領域を取り扱う学問である。例えば、企業は投資プロジェクトを実行するかどうかについて、収入と費用を比較考量して決める。この際、もっぱら収入と費用は金額ベースで評価される。プロジェクトを実行することになれば、必要な資金を調達することになる。そして、プロジェクト実行後に成果が生まれれば、債権者に利子や元本を返済し、法人税が支払われた後に、残りは株主に配当したり、一部を留保して次年度以降のプロジェクトに活用したりする。このように投資決定、資金調達、株主への配当・利益還元からなる企業活動は、常に資金の流れをとまなぐ。企業だけではない。ファイナンスは、私たちの経済生活にも深く関連する。私たちはしばしば、収入の一部を生活費などの消費にあて、残りを将来のための貯蓄にまわす。家を建てたりマンションを購入したりといった大きな買い物をする際には銀行からの借入れ（住宅ローン）を利用することがある。では、ふだんの生活の中で、どのように余った資金を運用し、どのように足りない資金を借り入れて返済していけばよいのか。これを考えるのもファイナンスである（ファイナンシャル・プランニング）。

ファイナンス入門では、企業金融論、資本市場論、証券投資論からなるファイナンスについて、その基礎・全体の構造をわかりやすく講義する。この授業を通じて、ファイナンスの視点から企業の経営活動・経済の仕組みに対する理解を深め、また株式投資など経済生活に有効な知識も身につけよう。

【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果（達成目標）：ファイナンス（企業金融論、資本市場論、証券投資論）の基礎を学び、合理的な意思決定を可能にする分析枠組みを身につけることが、ファイナンス入門の到達目標である。このような分析枠組みを理解することは、企業経営を財務面から評価したり、のぞましい資産運用のあり方を検討したりする際にも有効である。

成績評価の方法：毎回の授業で課される小テストや宿題（30%）、13回目の授業時間に実施するテスト（70%）で評価する。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：提出されたレポートは返却せず、後日解答・解説・コメントを記したプリントを配布する形でフィードバックとする。したがって、レポート提出時にそのコピーを手元に残しておくことが望ましい。

【教科書・参考書】
 教科書： 特になし
 参考書： 必要に応じて授業時間に指示する。

【その他】履修上の注意：電卓必携。良い成績をとるためには、真面目に授業に参加し、予習・復習を行うことが求められる。課題提出などにおいてCUC PortalとMicrosoft Teamsを使用する。※初回授業時までにCUC Portalの授業資料コーナーにMicrosoft Teamsの利用方法などを載せるのでそれを確認すること。

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】
1 イントロダクション（ファイナンスにおける価値判断の基本原則）	事前学習： 事後学習： 配布された資料、指定された関連新聞記事をよく読んで、授業の内容を復習すること。
2 ライフプランニングとファイナンシャル・プランナーの業務	事前学習： 事前に案内したキーワードについて調べ、授業にのぞむこと。 事後学習： 配布された資料、指定された関連新聞記事をよく読んで、授業の内容を復習すること。
3 現在価値と将来価値	事前学習： 事前に案内したキーワードについて調べ、授業にのぞむこと。 事後学習： 配布された資料、指定された関連新聞記事をよく読んで、授業の内容を復習すること。
4 年金の現在価値と将来価値	事前学習： 事前に案内したキーワードについて調べ、授業にのぞむこと。 事後学習： 配布された資料、指定された関連新聞記事をよく読んで、授業の内容を復習すること。
5 債券による資金調達、債券への投資	事前学習： 事前に案内したキーワードについて調べ、授業にのぞむこと。 事後学習： 配布された資料、指定された関連新聞記事をよく読んで、授業の内容を復習すること。
6 債券の利回り	事前学習： 事前に案内したキーワードについて調べ、授業にのぞむこと。 事後学習： 配布された資料、指定された関連新聞記事をよく読んで、授業の内容を復習すること。
7 株式による資金調達、株式への投資	事前学習： 事前に案内したキーワードについて調べ、授業にのぞむこと。 事後学習： 配布された資料、指定された関連新聞記事をよく読んで、授業の内容を復習すること。
8 株式市場における評価	事前学習： 事前に案内したキーワードについて調べ、授業にのぞむこと。 事後学習： 配布された資料、指定された関連新聞記事をよく読んで、授業の内容を復習すること。
9 投資信託の仕組み	事前学習： 事前に案内したキーワードについて調べ、授業にのぞむこと。 事後学習： 配布された資料、指定された関連新聞記事をよく読んで、授業の内容を復習すること。
10 分散投資の基礎理論（1）期待収益率、分散・標準偏差	事前学習： 事前に案内したキーワードについて調べ、授業にのぞむこと。 事後学習： 配布された資料、指定された関連新聞記事をよく読んで、授業の内容を復習すること。
11 分散投資の基礎理論（2）共分散・相関係数	事前学習： 事前に案内したキーワードについて調べ、授業にのぞむこと。 事後学習： 配布された資料、指定された関連新聞記事をよく読んで、授業の内容を復習すること。
12 ポートフォリオのパフォーマンス評価	事前学習： 事前に案内したキーワードについて調べ、授業にのぞむこと。 事後学習： 配布された資料、指定された関連新聞記事をよく読んで、授業の内容を復習すること。
13 授業時試験・講評	事前学習： 授業時試験に向けてこれまで学んだ内容をよく復習すること。 事後学習： テストで分からなかった問題について解きなおしをすること。

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	経営管理論	奥寺 葵	前期・春学期	選択	講義	2

【授業のねらい】
 20世紀の文明が築き上げた産業社会は、企業を中心に展開されているといっても過言ではない。具体的には、仕事はもちろんのこと、衣食住、移動手段、通信手段、テーマパークなどの余暇を楽しむためのサービスに至るまで、企業を抜きに生活を考えることは出来ない。すなわち、経済活動の中心的担い手は企業であること、また企業の活動とその成果が人々の生活の豊かさに結びついていること、そして多くの人々が仕事の満足や社会的生活の充実を企業から得ていることなどは、経済体制や国情とは無関係に全ての国に共通する現実である。それだけに人々の豊かさを社会的に実現しようとする社会科学にとって、企業の経済活動の分析は真正面から取り組むべき最重要課題である。

本講義では、企業の内部における人と資源が織り成す有機的な協働システムの実態を把握し、そこから生み出される企業に固有の独自能力の展開を理解することを課題としている。すなわち、企業のマネジメントを問うこと、経営管理とは何かを理解することである。そのために、本講義では、現代の企業の実態に照らし合わせて、伝統的なミクロ的管理論にとどまらず、組織論や戦略論の成果を十分に踏まえ、環境適応や組織変革、グローバル戦略や日本の経営管理など、最新の領域も積極的に取り入れ、体系的に経営管理を理解することを狙いとしている。学生の皆さんには積極的な講義への「参加」が求められる。

【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】
 学修成果(達成目標)：①企業がどのような制度で営まれているのか、基礎知識を身につけることができる(知識・理解)
 ②組織体としての企業の特徴や行動に関する仕組み、理論を身につけることができる(知識・理解)
 ③企業と社会の関係、特に企業活動の社会に対する影響について理解することができる(知識・理解)
 ④経営管理の理論・企業の実態を学修し、企業のイメージを膨らませ、説明することができる(思考・判断・表現)
 ⑤企業・社会に対する自分自身の問題意識をもち、説明することができる(思考・判断・表現)

成績評価の方法：試験(25%)＋中間試験(25%)＋授業内課題(25%)＋事前事後学習課題(25%)。
 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：・毎回、授業内課題、事前事後学習課題を行い、次回の授業の初めに解説を行う。・試験実施後に、解答に対するフィードバックを行う。

【教科書・参考書】
 教科書： レジューメを使用する。
 参考書： ・上野恭裕、馬場大治編著(2016)『経営管理論ベーシック+』中央経済社・小山巖他、出見悠信之、谷口勇仁(2018)『問いからはじめる現代企業』有斐閣・塩谷喜代明、高橋伸夫、小林敏男(2018)『新版 経営管理』有斐閣アルマ

【その他】授業の特徴：企業経営に関する実情を学ぶとともに研究論文のレビューを通じて専門的な知識の習得を目指す。企業経営について考えていく中で、経営管理に関する基礎的な事柄を学修するとともに論理的思考力を涵養することを通じ、社会規範意識・誠実さを学ぶ。
 履修上の注意：原則、PDFの講義ファイルと音声の講義ファイルを配布する。(担当者によって若干異なるため、第1回目の授業には必ず出席するようにすること。)

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】
1 ガイダンス&データベースの活用	事前学習： イメージの良い企業、イメージの悪い企業を事前に調べ、その理由を準備しておく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
2 資本主義経済の発展と経営管理の生成Ⅰ～「企業」を学ぶ～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
3 資本主義経済の発展と経営管理の生成Ⅱ～「経営管理」とはどのような学問か～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
4 管理の生成と発展～マネジメントの誕生～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
5 制度としての企業Ⅰ～個人企業と会社～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
6 制度としての企業Ⅱ～株式会社制度～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
7 中間試験、解説	事前学習： 授業で取り上げた内容について中間試験を行うので、授業でノートテイクした内容を整理し、まとめる。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
8 環境適応の管理Ⅰ～企業と組織構造～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
9 環境適応の管理Ⅱ～企業と経営戦略～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
10 現代の経営管理と展望Ⅰ～日本型企業組織～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
11 現代の経営管理と展望Ⅱ～日本企業における人のマネジメント～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
12 現代の経営管理と展望Ⅲ～企業の社会的責任～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
13 試験、解説	事前学習： 授業で取り上げた内容について試験を行うので、授業でノートテイクした内容を整理し、まとめる。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	マーケティング論I	櫻井 聡	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 マーケティングとは、日々変化する環境へ適応しながら行う「売れ続ける仕組み作り」または「（消費者に）選ばれ続ける仕組み作り」である。それには消費者ニーズ、外部環境、強みや弱みとなる経営資源、競合の戦略など様々な要素を分析しながら、効果的な戦略立案を効率的に行わなければならない。そこで本講義では、最も広く受け容れられている伝統的マーケティングの概要と、それに付随する基礎的な諸概念と理論について学んでいく。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 学修成果(達成目標)：最も標準的な伝統的マーケティング戦略策定の流れである「STP+マーケティング・ミックス(4Ps)」を第三者へ分かりやすく説明できるだけでなく、それらの観点から企業のマーケティング戦略を自ら評価する目を養うことを到達目標とする。 成績評価の方法：毎回の授業で課される小問題80%、リアクションペーパーや小レポートなどの授業内課題20%。 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：授業中に解説ないし講評をする。						
【教科書・参考書】 教科書： 指定しない。講義資料をCUC PORTALを通して適宜配布する。 参考書： 適宜紹介する。						
【その他】 履修上の注意：オンデマンド方式の遠隔授業を行う。できるだけ適切なデバイスを用意し、インターネット環境を良くしておくことを薦める。 授業の配信方法、講義資料およびその配布方法、練習問題や小テストなどは担当教員によって異なる。したがって、初回の授業動画を必ず視聴し、遠隔授業の進め方、資料配付方法、成績評価などを確認すること。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	オリエンテーション	事前学習： マーケティング関連の書籍に目を通しておくこと。 事後学習： オリエンテーションの内容を振り返り、参考図書等に目を通すこと。				
2	ショートケースによる理解	事前学習： 前回の復習を行うこと。 事後学習： 学んだ用語や概念、理論等についてまとめること。				
3	中心的概念～市場・競争・自己の強み～	事前学習： 前回の復習を行うこと。 事後学習： 学んだ用語や概念、理論等についてまとめること。				
4	マーケティング・マネジメント戦略概観(1)～STP+マーケティング・ミックス(4Ps)～	事前学習： 前回の復習を行うこと。 事後学習： 学んだ用語や概念、理論等についてまとめること。				
5	マーケティング・マネジメント戦略概観(2)～Product, Priceの概要～	事前学習： 前回の復習を行うこと。 事後学習： 学んだ用語や概念、理論等についてまとめること。				
6	マーケティング・マネジメント戦略概観(3)～Place, Promotionの概要～	事前学習： 前回の復習を行うこと。 事後学習： 学んだ用語や概念、理論等についてまとめること。				
7	マーケティングの定義の変遷	事前学習： 前回の復習を行うこと。 事後学習： 学んだ用語や概念、理論等についてまとめること。				
8	マーケティングの拡がり(1)～嶋口によるマーケティングの戦略的領域の分類～	事前学習： 前回の復習を行うこと。 事後学習： 学んだ用語や概念、理論等についてまとめること。				
9	マーケティングの拡がり(2)～無形財のマーケティング～	事前学習： 前回の復習を行うこと。 事後学習： 学んだ用語や概念、理論等についてまとめること。				
10	市場対応(1) 事業機会の選択	事前学習： 前回の復習を行うこと。 事後学習： 学んだ用語や概念、理論等についてまとめること。				
11	市場対応(2) PPM	事前学習： 前回の復習を行うこと。 事後学習： 学んだ用語や概念、理論等についてまとめること。				
12	市場対応(3) 先発の優位性	事前学習： それまでの復習を行うこと。 事後学習： 学んだ用語や概念、理論等についてまとめること。				
13	まとめ	事前学習： それまでの復習を行うこと。 事後学習： 解説を参考に総合的な復習をすること。				

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数																																
千葉商科大学	環境学入門	杉本 卓也	前期・春学期	選択	講義	2																																
【授業のねらい】 「エコ検定」受験・合格をめざす。公式テキストに沿って環境の基礎を学修する。環境問題の基礎的情報を学び、それらを適宜話題になっている身近なものの中に発見し、環境問題としてその身近なものをとらえ直す。任意ではあるが、できる限り全員が「エコ検定」を受験し合格を目指す（試験日は、例年7月中旬～8月上旬）。勉強を通して、環境問題とは何か、それに対する自分の意見が言えるようにする。 ※エコ検定は、新型コロナウイルスの影響とその対応により、インターネット経由のwebテストで実施されることが決まっています。																																						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 エコ検定公式テキストをベースに授業展開し、「エコ検定」を受験・合格できる実力を身につけることを目指す。 成績評価の方法：小テスト（4回、各25点） ※第4回、第7回、第10回、第13回で実施する予定 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：以降の授業時間内で行う。（もしくは、解説や総評をCUC PORTALにアップロードする）																																						
【教科書・参考書】 教科書： 「eco検定公式テキスト」改訂9版（東京商工会議所編著）日本能率協会マネジメントセンター（2023年1月）（電子書籍版もあります。使用しやすいものを選択しましょう） 参考書： 「eco検定公式問題集」（東京商工会議所編）日本能率協会マネジメントセンター（※）（こちらも、電子書籍版がある）※その時点での最新版。例年、年度ごとに問題集が発行されます。																																						
【その他】履修上の注意：「エコ検定」は就活時、および社会人になった後、環境に関する基本知識所有者の証明として役に立つ。この授業は「エコ検定」受験・合格に向けて、きちんと努力をする学生を対象とする。テキストを購入し、自分で勉強をすることが求められる。																																						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】																																			
1	イントロダクション（持続可能な社会に向けて） ※この授業は、eco検定の公式テキストに沿って進めていく。	事前学習： 教科書の第1章および、補足解説資料をよく読むこと。 併せて課す、問題演習に取り組むこと（答えだけでなく、解説も良く読んでおく）。 事後学習： 併せて課す、問題演習に取り組むこと（答えだけでなく、解説も良く読んでおく）。	2	地球の基礎知識（大気的作用、海と川、土壌と森林、生態系など）	事前学習： 教科書の第2章（2-1）および、補足解説資料をよく読むこと。 併せて課す、問題演習に取り組むこと（答えだけでなく、解説も良く読んでおく）。 事後学習： これまでの用語について、その意味を忘れないように確認しておくこと。	3	今地球で起きていること（人口、経済、食料、資源、貧困、グローバルセッション、ローマクラブ）	事前学習： 教科書の第2章（2-2）および、補足解説資料をよく読むこと。 併せて課す、問題演習に取り組むこと（答えだけでなく、解説も良く読んでおく）。 事後学習： これまでの用語について、その意味を忘れないように確認しておくこと。	4	地球問題温暖化・気候変動、エネルギー 小テスト①	事前学習： 教科書の第3章（3-1、3-2）および、補足解説資料をよく読むこと。 併せて課す、問題演習に取り組むこと（答えだけでなく、解説も良く読んでおく）。 事後学習： これまでの用語について、その意味を忘れないように確認しておくこと。	5	生物多様性	事前学習： 教科書の第3章（3-3）および、補足解説資料をよく読むこと。 併せて課す、問題演習に取り組むこと（答えだけでなく、解説も良く読んでおく）。 事後学習： これまでの用語について、その意味を忘れないように確認しておくこと。	6	地球環境問題（オゾン層、水・海洋資源、森林破壊等）	事前学習： 教科書の第3章（3-4）および、補足解説資料をよく読むこと。 併せて課す、問題演習に取り組むこと（答えだけでなく、解説も良く読んでおく）。 事後学習： これまでの用語について、その意味を忘れないように確認しておくこと。	7	循環型社会、地域環境問題 小テスト②	事前学習： 教科書の第3章（3-5、3-6）および、補足解説資料をよく読むこと。 併せて課す、問題演習に取り組むこと（答えだけでなく、解説も良く読んでおく）。 事後学習： これまでの用語について、その意味を忘れないように確認しておくこと。	8	化学物質、自然災害	事前学習： 教科書の第3章（3-7、3-8）および、補足解説資料をよく読むこと。 併せて課す、問題演習に取り組むこと（答えだけでなく、解説も良く読んでおく）。 事後学習： これまでの用語について、その意味を忘れないように確認しておくこと。	9	持続可能な社会に向けたアプローチ	事前学習： 教科書の第4章および、補足解説資料をよく読むこと。 併せて課す、問題演習に取り組むこと（答えだけでなく、解説も良く読んでおく）。 事後学習： これまでの用語について、その意味を忘れないように確認しておくこと。	10	環境に関わる主体の役割（パブリックセクター） 小テスト③	事前学習： 教科書の第5章（5-1、5-2）および、補足解説資料をよく読むこと。 併せて課す、問題演習に取り組むこと（答えだけでなく、解説も良く読んでおく）。 事後学習： これまでの用語について、その意味を忘れないように確認しておくこと。	11	環境に関わる主体の役割（企業、個人）	事前学習： 教科書の第5章（5-3、5-4）および、補足解説資料をよく読むこと。 併せて課す、問題演習に取り組むこと（答えだけでなく、解説も良く読んでおく）。 事後学習： これまでの用語について、その意味を忘れないように確認しておくこと。	12	環境に関わる主体の役割（NPO、主体を超えた連携）	事前学習： 教科書の第5章（5-5）および、補足解説資料をよく読むこと。 併せて課す、問題演習に取り組むこと（答えだけでなく、解説も良く読んでおく）。 事後学習： これまでの用語について、その意味を忘れないように確認しておくこと。	13	エコピブル、全体のまとめ 小テスト④	事前学習： 教科書の第6章および、補足解説資料をよく読むこと。 併せて課す、問題演習に取り組むこと（答えだけでなく、解説も良く読んでおく）。 事後学習： これまでの用語について、その意味を忘れないように確認しておくこと。

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	都市計画入門	榎戸 敬介	前期・春学期	選択	講義	2
<p>【授業のねらい】 「都市」は人類の可能性を育む空間であり、また問題に満ち溢れた空間でもある。「都市」は人類によって創造され、運営されていくものであり、私たちの使命は、そのような「都市」をより快適に住み続けることのできる空間として再創造し、維持していくことである。そのためには、良い「都市」とは何か、悪い「都市」とは何かを考え、「都市」がどのようにして創られたのか、誰によって創られたのか、また、「都市」の現状はどのようなものなのか、理解する必要がある。この授業では、さまざまな事例や文献講義を通して、私たちが市民として、あるいはプロフェッショナルとしてより良い都市づくりに参加していくための幅広い知識とセンスを養い、またワークショップ、ディスカッション、プレゼンテーションなどにより問題発見・課題設定・解決策立案の力を養っていく。また、「都市」のリアリティを理解するために必要に応じてフィールドワークを実施する。</p> <p>都市計画、都市デザイン及び都市開発における実務経験を活かし、より良い都市づくりに参加するために必要な幅広い知識の習得と空間デザインについてのセンスを磨く授業を行う。</p>						
<p>【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 都市の意義と役割に関する基礎的な見方を修得する。現代の都市の状況について空間計画の観点から説明できるようになる。都市デザインに関する基本的な用語や概念を修得する。都市の公共空間について理解するための基礎的な調査手法を修得し、それを応用して現代都市の課題を解説できるようになる。国内外の代表的な都市開発の事例についてその意義や特徴を説明できるようになる。</p> <p>成績評価の方法：提出物（60%）、発表（40%） 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：ポータル上で各自にコメントを返す。</p>						
<p>【教科書・参考書】 教科書： 大野・小林 2011 『安全で心地よい環境をつくる 人間都市学』 井上書院 参考書： 適宜指示する</p>						
<p>【その他】 履修上の注意：授業における質問や発言など積極的な参加を心掛ける。グループ作業においてはチームワークとリーダーシップの発揮に努める。また、授業内容と関連するニュースや新聞・雑誌記事など日頃から注意を向ける。なお、都市についてさらに学ぶために「都市政策・計画論」の受講が有効である。</p>						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	都市と計画の関係を理解する	事前学習： シラバスを読んで、本授業の全体構成を把握しておくこと。 事後学習： 授業中に行ったグループディスカッションの内容について自分と他の学生との意見や見解の違いについて気がついたことをレポート形式でまとめておくこと。また、質問事項についてもまとめておくこと。				
2	理想の都市について考える	事前学習： 指定された教材について事前に熟読し、自分の関心や不明点について整理しておくこと。 事後学習： 講義で取り上げた様々な用語や概念について再確認し、気がついたこと、質問などについてノート作成し、次回の講義で確認すること。				
3	都市の多様性を理解する	事前学習： 次回講義する教材について事前に熟読し、自分の関心や不明点について整理しておくこと。 事後学習： 講義で示した様々なデータや事例について再確認し、気がついたこと、質問などについてノート作成し、次回の講義で確認すること。				
4	都市景観について考える	事前学習： 次回講義する教材について事前に熟読し、自分の関心や不明点について整理しておくこと。 事後学習： 講義で示した様々なデータや事例について再確認し、気がついたこと、質問などについてノート作成し、次回の講義で確認すること。				
5	都市のイメージについて考える#1（都市を読む）	事前学習： 指定された教材を熟読し、基礎的な用語や概念および不明点についてノートにまとめておくこと。 事後学習： 授業での議論について内容を再確認し、自分の意見やアイデアをノートに加えておくこと。				
6	都市のイメージについて考える#2（ケビンリンチ・モデル）	事前学習： フィールドスタディの結果を整理してまとめ、クラス発表の準備を行って行くこと。 事後学習： 自分の発表と他の学生の発表を比較検討し、新たに学んだことや不明点について整理しておくこと。				
7	公共空間を考える	事前学習： 教材を熟読し、その内容について不明な点を整理しておくこと。また関連する事例について情報を整理しておくこと。 事後学習： 授業で使った用語や概念を使いこなせるように授業内容を再確認し、自分で事例をさがしてレポートを作成すること。				
8	都市を体験的に理解する#1（小さな空間の重要性）	事前学習： 指定された教材を熟読し、基礎的な用語や概念および不明点についてノートにまとめておくこと。 事後学習： 授業での議論について内容を再確認し、自分の意見やアイデアをノートに加えておくこと。				
9	都市を体験的に理解する#2（都市とパブリックアート）	事前学習： フィールドスタディの結果を整理してまとめ、クラス発表の準備を行って行くこと。 事後学習： 自分の発表と他の学生の発表を比較検討し、新たに学んだことや不明点について整理しておくこと。				
10	歩く空間がつくる都市	事前学習： 教材を熟読し、その内容について不明な点を整理しておくこと。また関連する事例について情報を整理しておくこと。 事後学習： 授業で使った用語や概念を使いこなせるように授業内容を再確認し、自分で事例をさがしてレポートを作成すること。				
11	美しい都市づくり	事前学習： 指定された教材を熟読し、基礎的な用語や概念および不明点についてノートにまとめておくこと。 事後学習： 授業での議論について内容を再確認し、自分の意見やアイデアをノートに加えておくこと。				
12	快適な都市づくり	事前学習： 指定された教材を熟読し、基礎的な用語や概念および不明点についてノートにまとめておくこと。 事後学習： 授業での議論について内容を再確認し、自分の意見やアイデアをノートに加えておくこと。				
13	都市の現状と課題	事前学習： 指定された教材を熟読し、基礎的な用語や概念および不明点についてノートにまとめておくこと。 事後学習： 授業での議論について内容を再確認し、自分の意見やアイデアをノートに加えておくこと。				

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	観光政策サービス論	山田 耕生	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 観光が地域にもたらす経済的・社会的効果の大きさに注目して、日本では長らく地域政策の一環として観光事業が取り組まれてきた。21世紀に入り、政府が「観光立国」を明言すると、観光庁の創設、東京五輪の招致、「ビジット・ジャパン・キャンペーン」によるインバウンド、地方での観光活性化策など、観光政策が国策の中心の一つとなっている。 本講義では、日本の観光政策・サービスの変遷および現状を開設するとともに、海外の観光政策・サービスの事例を紹介しながら、これからの日本の観光政策・サービスの展望を検討していく。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 学修成果(達成目標)：観光政策・サービスによる影響、効果を理解したうえで、現在あるいは将来の日本における観光政策・サービスについて主体的に展望できる能力を身につけることが本講義の到達目標である。 成績評価の方法：毎回の授業後に出す課題レポート100%で評価します。 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：レポート提出の翌日以降にレポート課題についての総評を行う。						
【教科書・参考書】 教科書： 使用しない。 参考書：						
【その他】 履修上の注意：観光・レジャー業界への就職を希望する学生は積極的に履修してほしい。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	オリエンテーション/観光政策の基本的事項の理解	事前学習： 本授業の内容を把握しておく。 事後学習： また、次回の授業で取り上げる内容について予習する。				
2	日本の観光政策の歴史(明治期から昭和期・東京五輪まで)	事前学習： 本日の授業内容・テーマについて予習する。 事後学習： 授業を通して出されたレポート課題に取り組む。また、次回の授業で取り上げる内容について予習する。				
3	日本の観光政策の歴史(大阪万博からバブル経済期、平成期まで)	事前学習： 本日の授業内容・テーマについて予習する。 事後学習： 授業を通して出されたレポート課題に取り組む。また、次回の授業で取り上げる内容について予習する。				
4	統計までみる観光の現状(国内観光、インバウンド)	事前学習： 本日の授業内容・テーマについて予習する。 事後学習： 授業を通して出されたレポート課題に取り組む。また、次回の授業で取り上げる内容について予習する。				
5	現在の観光政策(観光立国推進基本法)	事前学習： 本日の授業内容・テーマについて予習する。 事後学習： 授業を通して出されたレポート課題に取り組む。また、次回の授業で取り上げる内容について予習する。				
6	現在の観光政策(MICE)	事前学習： 本日の授業内容・テーマについて予習する。 事後学習： 授業を通して出されたレポート課題に取り組む。また、次回の授業で取り上げる内容について予習する。				
7	現在の観光政策(テーマ別観光)	事前学習： 本日の授業内容・テーマについて予習する。 事後学習： 授業を通して出されたレポート課題に取り組む。また、次回の授業で取り上げる内容について予習する。				
8	現在の観光政策(農泊、古民家の活用)	事前学習： 本日の授業内容・テーマについて予習する。 事後学習： 授業を通して出されたレポート課題に取り組む。また、次回の授業で取り上げる内容について予習する。				
9	現在の観光政策(スポーツツーリズム)	事前学習： 本日の授業内容・テーマについて予習する。 事後学習： 授業を通して出されたレポート課題に取り組む。また、次回の授業で取り上げる内容について予習する。				
10	現在の観光政策(日本版DMO、ナイトタイムエコノミー)	事前学習： 本日の授業内容・テーマについて予習する。 事後学習： 授業を通して出されたレポート課題に取り組む。また、次回の授業で取り上げる内容について予習する。				
11	外国の観光政策(欧米諸国の観光政策)	事前学習： 本日の授業内容・テーマについて予習する。 事後学習： 授業を通して出されたレポート課題に取り組む。また、次回の授業で取り上げる内容について予習する。				
12	地方における観光政策(世界遺産、国立公園)	事前学習： 本日の授業内容・テーマについて予習する。 事後学習： 授業を通して出されたレポート課題に取り組む。また、次回の授業で取り上げる内容について予習する。				
13	観光政策サービス論のまとめ、今後の観光政策の展望	事前学習： 本日の授業内容・テーマについて予習する。 事後学習： 授業を通して出されたレポート課題に取り組む。				

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	サービス創造入門2	石井 泰幸	前期・春学期	選択	講義	2

【授業のねらい】
 わが国の第3次産業であるサービス産業は、70%を超え、産業界に大きな影響を及ぼしている。実際、その就労者数も全体の3分の2以上を占め、その意味でサービス産業に注目することが時代の趨勢といえる。しかし、そのサービスは各業界によって多様であり、一概にサービス産業を定義することは難しい。
 そこで、本講義ではサービス産業を各業界に沿って事例分析し、サービス産業の実態を受講生と共に学んでいくことを目指す。さらに、そのサービス産業がそれぞれ持つ課題についても皆と共に考え、その解決の可能性も考えていきたい。

【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】
 学修成果(達成目標)：講義内容でも述べた通り、サービス産業は一概に説明できない。従って、本講義では、学生諸君がサービス産業について概観した上でサービス産業とは何かを理解できるようになることを目指す。
 成績評価の方法：最終課題レポート60%、授業時レポート20%、中間課題レポート20%
 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：授業時レポートなどの課題については、その都度総評をおこない、最終の課題レポートでは内容について解説をおこなう。

【教科書・参考書】
 教科書：
 参考書： 講義時に連絡する。

【その他】
 履修上の注意：授業時レポート、中間課題レポート、最終課題レポートの内容を重視する。

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】
1 「産業区分から見たサービス産業」 アクティブラーニングについては適宜授業で指示していく。具体的には講義内容を深掘りしていく双方向の質疑である。	事前学習： 初回の授業の準備として、現在のサービスに関する新聞記事をまとめておく。 事後学習： 当該授業で学んだ内容を整理しておく。
2 「サービス産業の歴史1(1960年代～1980年代)」 第2回のアクティブラーニングは、第1回の講義の感想と要望を素材とし、また事前学修から第2回の内容に対し双方向の議論を行う。	事前学習： 授業で取り上げる1960年代～1980年代の我が国のサービスの歴史とその背景について調べ、400字程度でまとめておく。 事後学習： 当該授業で学んだ内容を整理しておく。
3 「サービス産業の歴史2(1990年代～現在)」 第3回のアクティブラーニングは、第2回の講義の感想と要望を素材とし、また事前学修から第3回の内容に対し双方向の議論を行う。	事前学習： 授業で取り上げる1990年代～現在までの我が国のサービスの歴史とその背景について調べ、400字程度でまとめておく。 事後学習： 当該授業で学んだ内容を整理しておく。
4 「わが国のサービスと世界との差異について」 第4回のアクティブラーニングは、第3回の講義の感想と要望を素材とし、また事前学修から第4回の内容に対し双方向の議論を行う。	事前学習： 授業で取り上げる我が国のサービスと世界のサービスとの差異について調べ、400字程度でまとめておく。 事後学習： 当該授業で学んだ内容を整理しておく。
5 「サービスの類型について」 第5回のアクティブラーニングは、第4回の講義の感想と要望を素材とし、また事前学修から第5回の内容に対し双方向の議論を行う。	事前学習： 授業で取り上げる我が国のサービスの類型について調べ、400字程度でまとめておく。 事後学習： 当該授業で学んだ内容を整理しておく。
6 「サービスから見たマネジメント」 第6回のアクティブラーニングは、第5回の講義の感想と要望を素材とし、また事前学修から第6回の内容に対し双方向の議論を行う。	事前学習： 授業で取り上げる我が国のマネジメントとサービスの関係について調べ、400字程度でまとめておく。 事後学習： 当該授業で学んだ内容を整理しておく。
7 「事例研究1(外食産業)」 第7回のアクティブラーニングは、第6回の講義の感想と要望を素材とし、また事前学修から第7回の内容に対し双方向の議論を行う。	事前学習： 我が国の外食産業のサービスの事例を調べ、400字程度でまとめておく。 事後学習： 当該授業で学んだ内容を整理しておく。
8 「事例研究2(ホテル業界)」 第8回のアクティブラーニングは、第7回の講義の感想と要望を素材とし、また事前学修から第8回の内容に対し双方向の議論を行う。	事前学習： 我が国のホテル業界のサービスの事例を調べ、400字程度でまとめておく。 事後学習： 当該授業で学んだ内容を整理しておく。
9 「事例研究3(金融業界)」 第9回のアクティブラーニングは、第8回の講義の感想と要望を素材とし、また事前学修から第9回の内容に対し双方向の議論を行う。	事前学習： 我が国の金融業界のサービスの事例を調べ、400字程度でまとめておく。 事後学習： 当該授業で学んだ内容を整理しておく。
10 「事例研究4(IT業界)」 第10回のアクティブラーニングは、第9回の講義の感想と要望を素材とし、また事前学修から第10回の内容に対し双方向の議論を行う。	事前学習： 我が国のIT業界のサービスの事例を調べ、400字程度でまとめておく。 事後学習： 当該授業で学んだ内容を整理しておく。
11 「サービス産業の持つ課題1(人的問題)」 第11回のアクティブラーニングは、第10回の講義の感想と要望を素材とし、また事前学修から第11回の内容に対し双方向の議論を行う。	事前学習： 授業で取り上げるサービス産業の人的問題である課題を調べ、400字程度でまとめておく。 事後学習： 当該授業で学んだ内容を整理しておく。
12 「サービス産業の持つ課題2(サービスの考え方)」 第12回のアクティブラーニングは、第11回の講義の感想と要望を素材とし、また事前学修から第12回の内容に対し双方向の議論を行う。	事前学習： 授業で取り上げるサービス産業のもつサービスの考え方が生み出す様々な課題を調べ、400字程度でまとめておく。 事後学習： 当該授業で学んだ内容を整理しておく。
13 「最終課題レポート」 第13回のアクティブラーニングは、これまでのアクティブラーニングのまとめとして講義の内容が自らの知識となり、さらに発展可能性をもつ自らの知の領域を広げられたかどうかというを促していく。	事前学習： これまでの授業で取り上げたサービス産業の内容をまとめておく。 事後学習： 当該授業で学んだ内容を確認し、課題レポートをまとめて提出する。

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	ブライダルサービス論	今井 重男	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 ブライダル産業について、多角的な視点から講義し、ブライダル・サービスに関わるに有益な知識習得を目指す。 サービス業の拡大が指摘されるようになって久しく、その中でもブライダル産業は3兆円の市場規模を有する巨大な産業の1つとなっている。挙式・披露宴・披露パーティー、婚礼衣装、新居の不動産・家具・電化製品、新婚旅行市場、ブライダルジュエリー、結納・結納品市場、結婚情報サービス・仲介業・情報誌市場など、実にバラエティに富んだ産業がかかわる。 授業は、わが国の結婚式の変容に触れながら、ブライダルビジネスの萌芽とその実態について講義やゲストの話を通じて学び、その社会的影響の現状と未来について考える。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 学修成果(達成目標)：わが国のブライダル・ビジネスについて歴史的過程や特性など概要を学び、今後の顧客が求める商品とサービス拡充をイメージできることを目標とする。 成績評価の方法：最終講義試験70%、授業中に3回小テストを実施する(30%)。 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：13回目の授業内で講評の形で行う。						
【教科書・参考書】 教科書： 特になし 参考書： 特になし						
【その他】 ・講義の順序や分野などが変更となる場合がある。 ・ゲストスピーカーを招いて講義いただくことを予定する。詳細については決まり次第案内する。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	ガイダンス			事前学習：	親兄弟親戚友人など、身近な既婚者2組以上について、①結婚式を実施したかどうか、②実施した(しなかった)感想を調査しておく。	
2	ブライダル産業の特性			事前学習：	ブライダル産業の機会とリスクの関係を俯瞰的に理解する	
3	結婚観と結婚儀礼(『古事記』の時代から江戸時代まで)			事前学習：	我が国古代の結婚風俗の起源について理解する	
4	結婚観と結婚儀礼(明治時代の神前結婚式誕生と、現代チャペルウェディング)			事前学習：	我が国近代の結婚風俗の起源について理解する	
5	ブライダル産業の系譜1(江戸時代)			事前学習：	我が国のブライダル産業の萌芽について時代背景とともに理解する	
6	ブライダル産業の系譜2(明治・大正時代)			事前学習：	我が国近代の主なブライダル産業について時代背景とともに理解する	
7	ブライダル産業の系譜3(昭和・平成時代)			事前学習：	我が国現代の主なブライダル産業について時代背景とともに理解する	
8	ブライダルサービス1-婚礼衣装			事前学習：	現代の婚礼衣装の志向性について時代背景とともに理解する	
9	ブライダルサービス2-ホテルウェディング			事前学習：	現代の婚礼会場の志向性について時代背景とともに理解する	
10	ブライダルサービス3-専門式場とハウスウェディング			事前学習：	現代の婚礼会場の志向性について時代背景とともに理解する	
11	ブライダルサービス4-キリスト教結婚式と神前結婚式			事前学習：	現代の結婚式スタイルの志向性について時代背景とともに理解する	
12	ブライダルサービス5-ウェディングコーディネーター			事前学習：	ウェディングコーディネーターに必要な素養について理解する	
13	振り返り試験とまとめ			事前学習：	講義全体に関する試験を振り返り、履修を通じて得られた知識定着に努める	
				事後学習：		

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	福祉サービスの組織と経営	吉竹 弘行	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
この講義では社会福祉士国家試験科目の出題基準による大項目としての下記4点について理解すること、福祉サービスの実際の活動で重要となる議事録の作成について学ぶことを目的とする。 1. 福祉サービスに係る組織や団体（社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など） 2. 福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論 3. 福祉サービス提供組織の経営と実際 4. 福祉サービスの管理運営の方法と実際 講義形式としては履修生全員をグループ分けし、下記の様に実施する。こうしたことで、会議の運営・調整力、議事録作成能力を履修生全員に修得させる。 1. 担当教員による各回資料の重要事項の説明 2. 各グループで持ち回りで司会を交代し、各回の講義内容で重要な部分は何かということについて討議する。 3. 各グループで持ち回りの書記を選出し、書記が次回の講義前までに議事録を作成し、CUC Portalの課題回答として提出する。 4. 各グループの書記は次回の講義で、グループを代表して議事録の内容を発表する。 また、実際に福祉サービスを提供している専門家の講義を1回実施することで、福祉サービス事業の管理ということについて理解する。 担当教員は、大手企業で有料老人ホーム事業を新規事業として企画し、海外事業者から事業ノウハウを導入して子会社として設立して経営を行い、その事業を最高責任者として経営後、事業譲渡した経験を持つ。また病院、高齢者福祉施設、障害者福祉施設、在宅サービス事業を総合的に経営管理した経験を持つ。更に、厚生労働省関連団体の団体の研究者として自治体の福祉のまちづくり計画の指導をおこなった経験も持つ。これらの経験に基づいて、福祉サービスの基礎理論の概念を学生に理解させるとともに、学生自身が管理する立場になる事を想定した現実的な課題に対応していくための意識も養成する。 医療福祉ビジネスに関する基礎理論を学ぶことで専門的な知識・技能の習得を目指す。基本的説明の後に、グループ討議を行うことで、学修内容に関する知識の理解の深化を図る。 社会的規範意識や誠実さ身につけ、グループメンバーで順番に議事録を作成し、発表を行うことで、書面と口頭によるコミュニケーション力をつける。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
学修成果（達成目標）：1. 福祉サービスの経営についての基礎的な理論を理解できる。2. 管理するという意味を理解できる。3. 交渉や次回討議の基礎となる議事録とはどのようなものであるべきかを理解し、作成できる。 成績評価の方法1. 授業への貢献度、参加度 50% 1. 討議への参加を基本に評価を行う。司会、書記を行った者は追加して加点する。 2. 履修達成度の確認テスト結果 50% 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 ・各回の議事録発表の際に、内容について、講評する。 ・12回目の講義では、全グループの同じ内容に関する議事録を配布することで、相互の重点や学ぶ姿勢の違い等について考える機会を与え、どのように議事進行を図り、議事録として作成していくべきかを学習する。 ・履修達成度の確認テストについては、問題に対する正答を告知する。						
【教科書・参考書】						
教科書： 社会福祉士養成講座編集委員会編 新・社会福祉養成講座11「福祉サービスの組織と経営」中央法規、2013年の該当する内容の要点をCUC PORTALに、講義前に格納して配信す 参考書： 適宜、指示する。						
【その他】						
履修上の注意：1. 議事録に氏名が記された者だけを講義出席として評価する。2. 司会、書記として氏名が記されている場合に評価する。3. 期限までに議事録提出がない場合は、グループメンバー全員が出席評価対象外とする。4. 13回目の講義に振りテストを行う。遠隔形式に講義がなかった場合でも、試験については13回目の正式な講義時間に50分間実施する。受験しなかった場合は、単位を修得することはできない。内容は社会福祉士国家試験の過去問相当とする。5. 外部の専門家による講義を回、行う（日程が変更になる場合がある）。また場合により、学内で、施設視察を伴った外部専門家の講義とする可能性もある。ただし講義形式が遠隔になった場合は、外部専門家の講義は実施しない。6. 第1回にグループメンバーを設定して第2回から固定したメンバーによるグループ討議を実施していくので、シラバスで内容を確認して、途中で履修登録を中止する可能性がある場合は履修を勧めない。7. なお履修登録変更して、途中から履修開始した学生については、適宜、入るグループを指定し、また追加の課題提出を求める。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	・オリエンテーション、当該科目全体としての講義内容の要旨の確認。 ・グループのメンバーを決定する。履修開始後に	事前学習： 今回の講義内容の事後学習	事後学習：			
2	・「福祉サービスにおける組織と経営・福祉サービスと制度」の要旨の確認。 ・上記内容についてのグループ討議	事前学習： CUC PORTALに格納済の資料の事前学習	事後学習： 講義時間内で完了しなかった議論の継続、議事録の作成を事後学習として実施			
3	・「福祉サービスにかかわる組織や団体(1) 法人とは」の要旨の確認。 ・上記内容についてのグループ討議	事前学習： CUC PORTALに格納済の資料の事前学習	事後学習： 講義時間内で完了しなかった議論の継続、議事録の作成を事後学習として実施			
4	・「福祉サービスにかかわる組織や団体(2) 社会福祉法人、特定非営利活動法人、その他の組織や団体」の要旨の確認。 ・上記内容についてのグループ討議	事前学習： CUC PORTALに格納済の資料の事前学習	事後学習： 講義時間内で完了しなかった議論の継続、議事録の作成を事後学習として実施			
5	・「福祉サービスの組織と経営の基礎理論(1) 戦略と事業計画」の要旨の確認。 ・上記内容についてのグループ討議	事前学習： CUC PORTALに格納済の資料の事前学習	事後学習： 講義時間内で完了しなかった議論の継続、議事録の作成を事後学習として実施			
6	・「福祉サービスの組織と経営の基礎理論(2) 組織と管理運営」の要旨の確認。 ・上記内容についてのグループ討議	事前学習： CUC PORTALに格納済の資料の事前学習	事後学習： 講義時間内で完了しなかった議論の継続、議事録の作成を事後学習として実施			
7	・「福祉サービスの組織と経営の基礎理論(3) 集団力学とリーダーシップ」の要旨の確認。 ・上記内容についてのグループ討議	事前学習： CUC PORTALに格納済の資料の事前学習	事後学習： 講義時間内で完了しなかった議論の継続、議事録の作成を事後学習として実施			
8	・「福祉サービスの管理運営方法(1) サービスマネジメントとサービス品質評価」の要旨の確認。 ・上記内容についてのグループ討議	事前学習： CUC PORTALに格納済の資料の事前学習	事後学習： 講義時間内で完了しなかった議論の継続、議事録の作成を事後学習として実施			
9	・「福祉サービスの管理運営方法(2) 苦情対応とリスクマネジメント、サービス提供のあり方」の要旨の確認。 ・上記内容についてのグループ討議	事前学習： CUC PORTALに格納済の資料の事前学習	事後学習： 講義時間内で完了しなかった議論の継続、議事録の作成を事後学習として実施			
10	・「福祉サービスの管理運営方法(3) 人事・労務管理、人材育成」の要旨の確認。 ・上記内容についてのグループ討議	事前学習： CUC PORTALに格納済の資料の事前学習	事後学習： 講義時間内で完了しなかった議論の継続、議事録の作成を事後学習として実施			
11	・「福祉サービスの管理運営方法(4) 会計管理と財務管理、情報管理」の要旨の確認。 ・上記内容についてのグループ討議	事前学習： CUC PORTALに格納済の資料の事前学習	事後学習： 講義時間内で完了しなかった議論の継続、議事録の作成を事後学習として実施			
12	・外部講師による講義。	事前学習： 配布された資料についての事後学習	事後学習：			
13	・当該学期の履修達成度の確認テスト。	事前学習： 当学期の全履修内容について、事前学習する。	事後学習：			

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	福祉住環境論	猪熊 ひろか	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
この授業では、主に高齢者・身体障害者個人の生活状況や心身状態に応じた、住環境整備の基本的な内容について理解することを目標とする。福祉に配慮した住環境について考えるためには、社会福祉学、医学、建築学・福祉工学等における領域横断的な知識を必要とするため、生活の質という視点をもって各学問領域に接合し、検討をおこなう。そのために、福祉住環境論における基本的概念を踏まえた上で、福祉にかかわる様々なニーズに対応しうる、住環境整備のための技術的手法について考える。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
学修成果(達成目標)：福祉住環境整備における法律・制度や基本技術を、社会面・生活面での必要性と関連させて理解する。 成績評価の方法：授業内に実施する小テスト：50%、授業内に実施する小レポート：50%、CUC PORTALの小テスト機能・課題提出機能を用いて、小テスト・小レポートを課す。各回の配点は授業資料を参照のこと。それらの点数の合計で評価する。受講者の状況により、小テストと小レポートの実施方法その他を変更する可能性がある。 CUC PORTALの小テスト機能・課題提出機能を用いて、小テスト・小レポートを課す。各回の配点は授業資料を参照のこと。それらの点数の合計で評価する。受講者の状況により、小テストと小レポートの実施方法その他を変更する可能性がある。 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：小テストは 終了後に解答・解説を確認できるよう設定し 必要に応じて解説を実施する 小レポートの内容は 必要に応じて学籍番号・氏名を除いた状態にした上で共有し、解説する。						
【教科書・参考書】						
教科書： 『福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト<改訂6版>』東京商工会議所編, 2022. 参考書： 講義にて適宜指示する。						
【その他】 履修上の注意：【小レポートについて】本授業では、各自が調べたり考えたりした内容をcue-portalを用いて提出(小レポート)する。提出された内容は学籍番号・氏名を除いた状態にした上で、履修者間等で共有する予定である。 【質問・感想について】返答を必要とする質問は、授業Q&Aを用いること。授業への感想等は、小レポート内ではなく「コメント」欄に記入のこと。※質問・感想等のうち、共有する必要がある内容については、授業資料内に転載(個人を特定できないようにしたうえで)する場合がある。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	少子高齢化社会	事前学習： テキストの第1章第1節を読んでまとめる。 事後学習： 小テストに備える。				
2	日本の住環境	事前学習： テキストの第1章第2節を読んでまとめる。 事後学習： 小テストに備える。				
3	学内の段差	事前学習： 授業資料の指示に基づいて調べる。 事後学習： 調べた内容について考察する。				
4	バリアフリーとユニバーサルデザイン	事前学習： テキストの第3章第1節を読んでまとめる。 事後学習： 小テストに備える。				
5	住まいの整備①基本技術	事前学習： テキストの第4章第1節を読んでまとめる。 事後学習： 小テストに備える				
6	学内のスロープ	事前学習： 授業資料の指示に基づいて調べる。 事後学習： 調べた内容について考察する。				
7	住まいの整備②生活行為別	事前学習： テキストの第4章第2節を読んでまとめる。 事後学習： 小テストに備える。				
8	学内の車椅子対応トイレ	事前学習： 授業資料の指示に基づいて調べる。 事後学習： 調べた内容について考察する。				
9	共用品・福祉用具	事前学習： テキストの第3章第2節を読んでまとめる。 事後学習： 小テストに備える。				
10	学内のユニバーサルデザイン	事前学習： 授業資料の指示に基づいて調べる。 事後学習： 調べた内容について考察する。				
11	在宅生活とサービス	事前学習： テキストの第1章第3節を読んでまとめる。 事後学習： 小テストに備える。				
12	住環境の多様化	事前学習： テキストの第5章を読んでまとめる。 事後学習： 小テストに備える。				
13	総括	事前学習： これまでの授業で取り上げた内容について、意見をまとめる。 授業で取り上げた内容について、重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。 事後学習： 。				

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	環境と経済	伊藤 康	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
ほとんどの環境問題は、経済活動の結果として起こる。日本や世界で、これまでに起こった（起こっている）環境問題を素材にして、何故環境を破壊するような経済活動が行われるのか、それを是正するためにはどのような政策が必要かを検討する。また、全講義を通じて、SDGs（持続可能な開発目標）との関連についても考えてもらいたい。						
【学修成果（達成目標）及び成績評価の方法】						
学修成果（達成目標）：何故環境を破壊するような経済活動が行われるのか、それを防ぐためにはどのような政策手段が必要なのか、環境政策が経済に与える影響を理解する。また、過去に発生した公害被害に関し、最低限の知識を得る。 成績評価の方法：中間テスト 40% 期末テスト 60% 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法： ・講義の内容についての質問は、メールもしくはCUC PORTALで随時受け付ける。言うまでも無く、講義中の質問を歓迎する。 ・中間テスト、期末テストについては、テスト後に解説を行い、CUC PORTALで質問等を受け付ける。						
【教科書・参考書】						
教科書： 千葉商科大学人間社会学部編『はじめての人間社会学』中央経済社、2020年4月、もしくは上記の第2版（2023年4月刊）（1年次に履修した「人間社会入門」のテキスト） 参考書： 原田正純『水俣病』岩波新書、1973年 八木信一・関耕平『地域から考える環境と経済』有斐閣、2019年 その他、随時提示する。						
【その他】履修上の注意：事前・事後学習を十分に行わずに単位を修得することは極めて困難で、「環境問題を真剣に考えてみたい」という人以外には、履修を薦めない。講義中の質問・意見を歓迎する。CUCポータルでのQ&A、あるいはメール（ y2ito@cuc.ac.jp ）でも随時受け付け、できる限りフィードバックする。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1 ○ガイダンス 講義の見取り図 ○環境と経済の関わり ○環境問題の類型化				事前学習： 事後学習： 講義ノートの復習 指定された資料を読む		
2 ○産業公害の代表 水俣病 ・様々な文献や映像をみながら、代表的な公害である水俣病の概要と、何が起こったのか、何故被害の拡大を防げなかったのかについて考察する。				事前学習： テキスト該当部分を読む 事後学習： 講義ノート復習、水俣病被害を深刻化した原因を文章にしてみる		
3 ○生活型公害 ・ごみ問題 ・自動車による環境破壊				事前学習： 事後学習： 講義ノートの復習、資料掲載の課題を行う		
4 ○東京電力福島第1原発事故 ・日本の電力供給体制 原発の特徴 福島第1原発事故の概要				事前学習： 指定された資料を読む 事後学習： 講義ノートの復習、資料掲載の課題を行う		
5 ○公共事業（道路や港湾、ダム等の社会資本整備）と環境破壊 ○ここまでの復習				事前学習： 提示された資料を読む 事後学習： 講義ノートの復習		
6 中間テスト及び解説				事前学習： ここまでの復習 事後学習： 提示された解説をもとにした中間テスト解き直し		
7 ○地球温暖化(1) ・エネルギーと経済 地球温暖化とは 国際的な取組みのために必要なこと				事前学習： 提示された資料を読む 事後学習： 講義ノート復習、資料掲載の課題を行う		
8 ○地球温暖化(2) ・温暖化防止のための政策手段（炭素税等） ・助成的措置				事前学習： 提示された資料を読む 事後学習： 講義ノート復習、資料掲載の課題を行う		
9 ○環境政策手段の理論的解説 ・直接規制 環境税 環境補助金				事前学習： 提示された資料を読む 事後学習： 講義ノートの復習、指定された資料を読む		
10 ○自然保護 ・農林水産業の役割 環境の価値とは何か 環境の価値の貨幣評価の方法				事前学習： 提示された資料を読む 事後学習： 講義ノートの復習		
11 ○環境政策が経済に与える影響 ・公害防止施設設置の影響 ・環境規制はイノベーションを誘発する？ポーター仮説				事前学習： 提示された資料を読む 事後学習： 講義ノート復習、資料掲載の課題を行う		
12 ○環境保全と地域活性化両立の取り組み ・環境保全のための取り組むことで地域活性化を行おうとしている事例紹介 ○総復習				事前学習： 提示された資料を読む 事後学習： 講義ノート復習		
13 期末テスト及び解説				事前学習： 中間テスト以降の授業の復習 事後学習： 提示された解説をもとにした期末テストの解き直し		

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	ボランティア論	齊藤 紀子	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
<p>本講義は前半・後半の2部構成となっている。前半では、ボランティアをめぐる動向・歴史的背景を踏まえ、基礎知識の習得に努めよう。また、様々な分野で活動する人・組織の事例をみていこう。後半では、人と組織のマネジメントについて学習しよう。</p> <p>講義ではディスカッション・クエスチョンを提示するので、講義内容を踏まえて自分の意見を整理し述べるようにしよう。</p>						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
<p>学修成果(達成目標)：1人のボランティアスタッフとして活動現場に立った時、自ら考え行動していけるよう、基本的な知識と実践方法を会得すること。</p> <p>成績評価の方法：①ディスカッション・クエスチョンへの回答(80%)②レポート(20%)</p> <p>課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：ディスカッション・クエスチョンへの回答について、翌週の講義の中で全員を対象としてコメント・回答する。</p>						
【教科書・参考書】						
<p>教科書：教科書は指定しない。講義内容に応じて資料を配布する</p> <p>参考書： ●入門編：近藤一・早瀬 昇編著(1997)『基礎から学ぶボランティアの理論と実践』中央法規出版・早瀬 昇(2010)『寝ても覚めても市民活動論』社会福祉法人大阪ボランティア協会●発展編：市森 孝悦(2012)『テキストブック NPO-非営利組織の制度・活動・マネジメント』・齊藤紀子・清水まさ子(2021)『市民による訪問型生活支援サービス-有償ボランティアで取り組む人々』学事出版・松井政成(2007)『ボランティアマネジメント-自発的行動の組織化戦略』ミネルヴァ書房ほか、講義中に紹介する。</p>						
【その他】						
履修上の注意：ディスカッション・クエスチョンの回答およびレポートにおいては、講義内容を理解した上で、自分の言葉で意見を述べること。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	イントロダクション	事前学習：当該授業で話した内容について、重要ポイントだと感じた事項をまとめる。よく分からなかった事項について、質問できるよう整理しておく。	事後学習：			
2	～前半：基礎理論と事例研究～ ボランティアとは1(事例、定義)	事前学習：当該授業のレジュメをもとに、ボランティアとは何か、自分の言葉でノートにまとめる。また授業内で紹介した事例以外のボランティア活動について、インターネットで探してみる。	事後学習：			
3	ボランティアとは2(公益性、歴史)	事前学習：当該授業のレジュメをもとに、ボランティアをめぐる我が国の歴史をノートにまとめる。	事後学習：			
4	NPOとは1(個人として/組織としてのボランティア)	事前学習：日本NPOセンター ホームページの「NPOに関するQ&A：NPOの基礎知識」(https://www.jnpoc.ne.jp/?page_id=134#a01)を読み、ポイントをノートにまとめておく。	事後学習：			
5	NPOとは2(NPOの種類、背景)	事前学習：授業中に説明するNPOの3類型に沿って、各類型ごとに具体的なNPOを1つずつ探し、その活動概要をノートにまとめる。	事後学習：			
6	企業とボランティア	事前学習：当該授業のレジュメをもとに、なぜ企業がボランティア活動を行うのか、自分の言葉でノートにまとめる。	事後学習：			
7	NPOセクターと行政セクター・企業セクターの関係、協働	事前学習：当該授業のレジュメをもとに、ボランティア活動においてNPO・行政・企業はどのような関係をもっていくことが望ましいのか、自分の言葉でノートにまとめる。	事後学習：			
8	～後半：人と組織のマネジメント～ ボランティア活動に伴う葛藤	事前学習：当該授業のレジュメをもとに、自発性のパラドックスとは何か、自分の言葉でノートにまとめる。	事後学習：			
9	ボランティアマネジメント(マネジメントの意義、現状)	事前学習：当該授業のレジュメをもとに、ボランティアマネジメントとは何か、自分の言葉でノートにまとめる。	事後学習：			
10	人のマネジメント	事前学習：当該授業のレジュメをもとに、ボランティアマネジメントについて、自分の考えをまとめる。	事後学習：			
11	組織のマネジメント1(使命の共有、財政基盤構築、意志決定など)	事前学習：配布レジュメや資料を参考に、組織のマネジメントについて自分の考えをまとめる。	事後学習：			
12	組織のマネジメント2(説明責任、評価、リスクマネジメントなど)	事前学習：配布レジュメや資料を参考に、組織のマネジメントについて自分の考えをまとめる。	事後学習：			
13	レポート、総括	事前学習：これまでの授業で配布したレジュメや自分でまとめたノートの内容などを復習しておくこと。	事後学習：			

※1時間105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	(1Q)Comparative Culture	MIZIRAKLI Halit	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
<p>The course aims to develop a deeper understanding of cultural differences in general. We examine religions, festivals, traditions and stereotypes of Asian people through texts and films. The course is going to be held in English. It will help students to develop speaking skills in English through discussing about intercultural concepts. In addition, for students, It is essential to have a certain level (around ToEIC 450 points, Eiken 2, CEFR: A2) of English skills to keep up the class.</p> <p>国際化の時代を生きる私たちには、異文化交流・異文化理解が日常的に必要な。情報通信技術の進歩により、自宅に居ながらにして世界中の情報を手に入れることができる現在、異文化体験から受ける感動は小さくなっている反面、異文化理解への欠如から発するトラブルは拡大傾向にある。この授業は主に英語で行われるため、異文化理解と関連のコンセプトについて英語コミュニケーション能力の向上をも目指す。英語で書かれた論文を読むことも多くあるため、一定以上（CEFR:A2、ToEIC 450点以上、英検2級）の英語力のある学生に勧められる講義である。</p>						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
<p>学修成果(達成目標) : Students will learn to recognize cultural diversity and build respect and tolerance for cultural differences.</p> <p>成績評価の方法 : テスト40%、クイズ20%、レポート20%、積極性20% テストとクイズに関しては、授業の内容を理解しているかどうかを判断基準とする。</p> <p>課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 : クイズに関しては、答え合わせを行い、講義内に返却する。理解度確認テストはテストの回収後、解答の解説を行う。</p>						
【教科書・参考書】						
<p>教科書 : 指定しない。</p> <p>参考書 : Michael Molloy, Experiencing the World's Religions, McGraw-Hill Humanities, 2009Stuart Hall, Cultural Studies 1983: A Theoretical History (Stuart Hall: Selected Writings), Duke Univ. Press, 2016</p>						
【その他】						
履修上の注意 : I recommend you to read cultural topics in the newspaper everyday.						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	Culture and Identity What is culture? Reading dissertation and discussion about the topic.			事前学習 : Look over the distributed handouts beforehand. 事後学習 : Review the material from the lesson.		
2	Anthropology. Human and culture. Reading dissertation and discussion about the topic.			事前学習 : Look over the distributed handouts beforehand. 事後学習 : Prepare a presentation about the topic.		
3	Cultural geography Discussing about the topic.			事前学習 : Look over the distributed handouts beforehand. 事後学習 : Review the material from the lesson.		
4	Stereotypes Discussing about the topic.			事前学習 : Look over the distributed handouts beforehand. 事後学習 : Review the material from the lesson.		
5	Review of differences between Stereotype and Generalization Reading dissertation and discussion about the topic. Having a short test.			事前学習 : Look over the distributed handouts beforehand. 事後学習 : Review the material from the lesson.		
6	Stereotypes in Cinema. Reading dissertation and watching a video. Discussion about the topic.			事前学習 : Look over the distributed handouts beforehand. 事後学習 : Review the material from the lesson.		
7	Diversity and Discrimination. Reading dissertation and watching a video. Discussion about the topic.			事前学習 : Look over the distributed handouts beforehand. 事後学習 : Review the material from the lesson.		
8	Culture Shock Sharing cultural experiences.			事前学習 : Look over the distributed handouts beforehand. 事後学習 : Prepare a presentation about the topic.		
9	Cultural Differences in Humor Perception.			事前学習 : Look over the distributed handouts beforehand. 事後学習 : Review the material from the lesson.		
10	Presentation about cultural differences 1.			事前学習 : Look over the distributed handouts beforehand. 事後学習 : Review the material from the lesson.		
11	Presentation about cultural differences 2.			事前学習 : Look over the distributed handouts beforehand. 事後学習 : Prepare a presentation about the topic.		
12	Presentation about cultural differences 3.			事前学習 : Look over the distributed handouts beforehand. 事後学習 : Review the material from the lesson.		
13	Review of the previous topics and final test.			事前学習 : Look over the previous notes and handouts and be ready for the exam. 事後学習 : Review the subjects appeared in the exam.		

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	(1Q) 地球環境科学	五反田 克也	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 日本は地震や火山、水害など多くの災害が発生する国である。東日本大震災では多くの方が被災し、復興が急がれている。自然災害の発生を予想し対策を立てるためには、これらの地学現象を理解する必要がある。また地球温暖化をはじめとする環境問題を解決するためにも、我々の住むこの地球の仕組みを理解しなくてはならない。 本講義では、地球の成り立ちから構成、地震や火山などのメカニズム、大気や海洋の循環などについて基礎から学ぶ。また、生命の誕生から人類の歴史までも学ぶ。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 学修成果(達成目標)：地学の基礎的な事象を理解する。 成績評価の方法：課題100%で評価する。 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：teamsを用いて行う。						
【教科書・参考書】 教科書： 授業中に適宜指示する。 参考書： 授業中に適宜指示する。						
【その他】 履修上の注意：講義中に指示する。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	総論 日本の天気・世界の気候			事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べまとめておく。 事後学習： 授業内容をまとめ、興味のある分野、身の回りで起こる地学的現象について考える。 天気予報を確認し、天気図と天気の変化の関係をまとめる。		
2	大気環境1 大気の構造・大気の組成・大気循環			事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べまとめておく。 事後学習： 大気の構造や仕組みについてまとめる。		
3	大気環境2 大気循環、貿易風、偏西風、ハドレー循環			事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べまとめておく。 事後学習： 大気循環をまとめ理解を深める。		
4	水環境 地球の水・海洋のしくみ・海洋循環			事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べまとめておく。 事後学習： 地球の水環境についてまとめる。		
5	地球の内部構造 プレートテクトニクス・海溝と海嶺・マントルと地殻・地震波			事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べまとめておく。 事後学習： 地球の内部構造を知る方法を理解し、内部構造についてまとめる。		
6	マグマと火山 火成岩・造岩鉱物・火山地形			事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べまとめておく。 事後学習： 火山についてまとめ、日本の主要火山についてまとめる。		
7	地震 地震のメカニズム・地震と津波・巨大地震			事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べまとめておく。 事後学習： 地震のメカニズムを理解し、日本が地震国である理由をまとめる。		
8	堆積岩と地質 岩石の風化・地層の年代を知る・化石			事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べまとめておく。 事後学習： 堆積岩の形成過程を理解し、主要な堆積岩と堆積場について理解する。		
9	地球の歴史1 地球の誕生・海洋、大気の誕生過程・大陸移動			事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べまとめておく。 事後学習： 地球の誕生から大気・海の形成過程をまとめておく。		
10	地球の歴史2 生命の誕生			事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べまとめておく。 事後学習： 生命とはなにか、生命の誕生についてまとめておく。		
11	地球の歴史3 生命の進化・恐竜			事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べまとめておく。 事後学習： 生命の進化、大量絶滅についてまとめる。		
12	人類の歴史 人類の誕生・猿人・原人			事前学習： 授業で取り上げる内容を事前に調べまとめておく。 事後学習： 人類と他の類人猿との違い、人類の誕生からの歩についてまとめる。		
13	気候変動 気候変動のメカニズム・古気候復元・温暖化			事前学習： 授業で取り上げる内容を調べまとめておく。 事後学習： 地球の気候変動と最新の研究成果についてまとめ、温暖化について考える。		

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

2024年度 前期・春学期
大学コンソーシアム市川・単位互換科目一覧

和洋女子大学

学部	学科	科目名	区分	単位	担当教員	授業形態	開講期	曜日	時限	備考
人文学部	日本文学文化学科	草書法	実技	2	三根 良治	面接	通年	木	2	
		かな書法Ⅱ	実技	2	湯澤 聡	面接	通年	金	2	
		篆書法	実技	2	中村 拓也	面接	通年	金	1	
		隸書法	実技	2	中村 拓也	面接	通年	金	3	
		古代学Ⅰ	講義	2	小野 真嗣	面接	前期	月	4	
		古代生活文化Ⅰ	講義	2	小野 真嗣	面接	前期	木	1	
		文学セミナー 解釈理論	講義	2	小澤 京子	面接	前期	木	3	
		ポピュラーカルチャーⅠ	講義	2	仁藤 潤	面接	前期	月	4	
		現代文化論	講義	2	仁藤 潤	面接	前期	月	3	
		博物館概論	講義	2	加藤 紫識	面接	前期	金	2	
学心理	障害者・障害児心理学	講義	2	田口 久美子	面接	前期	金	2		
国際学部	英語コミュニケーション学科	文学と女性	講義	2	星野 文子	面接	前期	金	3	
		翻訳入門	演習	2	坪野 圭介	面接	前期	月	5	
		異文化コミュニケーション	講義	2	河内山 有佐	面接	前期	金	2	
		英語の歴史	講義	2	内田 翔大	面接	前期	金	5	
	国際学科	現代の文化人類学	講義	2	山崎 真之	面接	前期	水	2	
	観光特論	講義	2	板垣 武尊	面接	前期	木	5		
家政学部	服飾造形学科	平面構成学実習Ⅰ	実習	1	伊東 奈々	面接	前期	月	1・2 (9:45~12:10)	実習費¥3,000-
		被服繊維学	講義	2	鬘谷 要	面接	前期	火	2	
		平面構成学実習Ⅰ	実習	1	高橋 由子	面接	前期	木	3・4 (13:00~15:25)	実習費¥3,000-
学部	家政福祉学科	保育の心理学	講義	2	岩治 まとか	面接	前期	土	2	
		調理学	講義	2	大石 恭子	面接	前期	水	2	
		障害者福祉論	講義	2	高木 憲司	面接	前期	月	4	

※受入人数は若干名

<時間割>

- 1時限 9:00~10:30
- 2時限 10:40~12:10
- 3時限 13:00~14:30
- 4時限 14:40~16:10
- 5時限 16:20~17:50
- 6時限 18:00~19:30

<授業開始日>
2024年4月8日（月）

<授業方法について>
○面接授業：登校して受講します。

<開講キャンパス>
和洋女子大学 〒272-8533 千葉県市川市国府台2丁目3-1

◇アクセス◇

- ・JR市川駅下車 バス8分 北口1番京成バス 松戸営業所行または松戸駅行に乗車、真間山下(ままさんした)下車
- ・京成線国府台(和洋女子大学前)駅下車 徒歩9分
- ・JR松戸駅 下車 バス20分 松戸駅(西口1番京成バス)→市川駅行(和洋女子大前下車)
- ・北総線矢切駅 下車 バス7分 矢切駅(京成バス)→市川駅行(和洋女子大前下車)

<問い合わせ先>
教務課 TEL 047-371-1124

【非正規生用】

2024年度 授業日程表

和洋女子大学・大学院:教務課

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	月	1	水	1	土	1	月	1	木	1	日
2	火	2	木	2	日	2	火	2	金	2	月
3	水	3	金	3	月	3	水	3	土	3	火
4	木	4	土	4	火	4	木	4	日	4	水
5	金	5	日	5	水	5	金	5	月	5	木
6	土	6	月	6	木	6	土	6	火	6	金
7	日	7	火	7	金	7	日	7	水	7	土
8	月	8	水	8	土	8	月	8	木	8	日
9	火	9	木	9	日	9	火	9	金	9	月
10	水	10	金	10	月	10	水	10	土		
11	木	11	土	11	火	11	木	11	日		
12	金	12	日	12	水	12	金	12	月		
13	土	13	月	13	木	13	土	13	火		
14	日	14	火	14	金	14	日	14	水		
15	月	15	水	15	土	15	月	15	木		
16	火	16	木	16	日	16	火	16	金		
17	水	17	金	17	月	17	水	17	土		
18	木	18	土	18	火	18	木	18	日		
19	金	19	日	19	水	19	金	19	月		
20	土	20	月	20	木	20	土	20	火		
21	日	21	火	21	金	21	日	21	水		
22	月	22	水	22	土	22	月	22	木		
23	火	23	木	23	日	23	火	23	金		
24	水	24	金	24	月	24	水	24	土		
25	木	25	土	25	火	25	木	25	日		
26	金	26	日	26	水	26	金	26	月		
27	土	27	月	27	木	27	土	27	火		
28	日	28	火	28	金	28	日	28	水		
29	月	29	水	29	土	29	月	29	木		
30	火	30	木	30	日	30	火	30	金		
		31	金			31	水				

2024年度 時程

1限 9:00~10:30

1・2限 9:45~12:10

2限 10:40~12:10

3限 13:00~14:30

3・4限 13:00~15:25

4限 14:40~16:10

4・5限 15:25~17:50

5限 16:20~17:50

6限 18:00~19:30

※前期・後期 それぞれ15回分の授業があります。祝日の授業日もありますのでご注意ください。

※休講・補講・授業連絡については、授業内で教員から連絡がある他、「学生ポータルサイト」「manaba course」にてインターネット配信されます。

※授業が休講となった場合、平日6限、土曜3限・4限などに補講を実施することがあります。補講を実施する場合は、事前に教員より履修学生に補講実施日の確認があります。

※緊急時の休講について ― 千葉県北西部(東葛飾・千葉中央・印旛の全地域)に暴風・大雨・洪水・大雪警報が発令された場合や交通機関のストライキ等で、緊急休講になる場合があります。

不明な際はお問合せ下さい【連絡先】 047-371-1124 (教務課電話番号) kyomu@wayo.ac.jp (教務課メールアドレス)

【非正規生用】

2024年度 授業日程表

和洋女子大学・大学院:教務課

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	火	火-2	1	金	里見祭準備(平常授業・補講なし)	1	日	1	水	1	土
2	水	水-2	2	土	里見祭第1日目(平常授業・補講なし)	2	月	2	木	2	日
3	木	木-2	3	日	里見祭第2日目(平常授業・補講なし) 文化の日	3	火	3	金	3	月
4	金	金-2	4	月	里見祭後片付け(平常授業・補講なし) 振替休日	4	水	4	土	4	火
5	土	土-3	5	火	里見祭代休(平常授業・補講なし)	5	木	5	日	5	水
6	日		6	水	補講日(平常授業なし・補講実施可)	6	金	6	月	6	木
7	月	月-3	7	木		7	土	7	火	7	金
8	火	火-3	8	金		8	日	8	水	8	土
9	水	水-3	9	土		9	月	9	木	9	日
10	木	木-3	10	日		10	火	10	金	10	月
11	金	金-3	11	月		11	水	11	土	11	火
12	土	土-4	12	火		12	木	12	日	12	水
13	日		13	水		13	金	13	月	13	木
14	月	スポーツの日	14	木		14	土	14	火	14	金
15	火	火-4	15	金		15	日	15	水	15	土
16	水	水-4	16	土		16	月	16	木	16	日
17	木	木-4	17	日	学校推薦型選抜入試	17	火	17	金	17	月
18	金	金-4	18	月		18	水	18	土	18	火
19	土	土-5	19	火		19	木	19	日	19	水
20	日	総合型選抜・併設校入試	20	水		20	金	20	月	20	木
21	月	月-4	21	木		21	土	21	火	21	金
22	火	火-5	22	金		22	日	22	水	22	土
23	水	水-5	23	土	土曜授業日(勤労感謝の日) オープンキャンパス	23	月	23	木	23	日
24	木	木-5	24	日		24	火	24	金	24	月
25	金	金-5	25	月		25	水	25	土	25	火
26	土	土-6	26	火		26	木	26	日	26	水
27	日	総合型選抜・併設校入試	27	水		27	金	27	月	27	木
28	月	月-5	28	木		28	土	28	火	28	金
29	火	火-6	29	金		29	日	29	水	29	土
30	水	水-6	30	土		30	月	30	木	30	日
31	木	里見祭準備(平常授業・補講なし)				31	火	31	金		月

2024年度 時程

1限 9:00~10:30

1・2限 9:45~12:10

2限 10:40~12:10

3限 13:00~14:30

3・4限 13:00~15:25

4限 14:40~16:10

4・5限 15:25~17:50

5限 16:20~17:50

6限 18:00~19:30

※前期・後期 それぞれ15回分の授業があります。祝日の授業日もありますのでご注意ください。

※休講・補講・授業連絡については、授業内で教員から連絡がある他、「学生ポータルサイト」「manaba course」にてインターネット配信されます。

※授業が休講となった場合、平日6限、土曜3限・4限や補講日などに補講を実施することがあります。補講を実施する場合は、事前に教員より履修学生に補講実施日の確認があります。

※緊急時の休講について ― 千葉県北西部(東葛飾・千葉中央・印旛の全地域)に暴風・大雨・洪水・大雪警報が発令された場合や交通機関のストライキ等で、緊急休講になる場合があります。

不明な際はお問合せ下さい【連絡先】 047-371-1124 (教務課電話番号) kyomu@wayo.ac.jp (教務課メールアドレス)

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	草書法	三根 良治	通年	必修	講義・実技	2
【授業のねらい】 草書学習の双璧ともいわれる十七帖（王羲之）と書譜（孫過庭）の臨書を中心に基本的用筆法を学習する。明・清時代の条幅作品学習も行い、草書技術の向上と鑑賞力を養う。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 草書の基本的用筆法、字形を理解する。又、古典の書風による創作作品を完成させる。 【評価方法】 提出作品・臨書作品の習熟度と創作作品の完成度の総合評価						
【教科書・参考書】 教科書： 二玄社 中国法書選14『十七帖』、38『書譜』、55『傅山集』二玄社 王鐸の書法（条幅篇） 参考書： なし						
【その他】 第1回目は必ず出席すること。提出物は必ず提出すること。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	草書学習の心構え 草書学習の目的、方法について学習する。		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			
2	十七帖の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 逸民帖「吾前東祖」「足作佳觀」半紙に臨書		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			
3	十七帖の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 逸民帖「吾為逸民」「之懷久矣」半紙に臨書		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			
4	十七帖の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 逸民帖 学習した箇所を半切用紙に臨書		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			
5	十七帖の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 郗司馬帖「司馬未去即」「日得足下書」半紙に臨書		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			
6	十七帖の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 郗司馬帖「為慰先書以」「日得足下書」半紙に臨書		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			
7	十七帖の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 郗司馬帖 学習した箇所を半切用紙に臨書		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			
8	十七帖風の創作作品 十七帖風の創作作品の制作		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			
9	十七帖風の創作作品 十七帖風の創作作品の制作		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			
10	十七帖風の創作作品 今までの講義をフィードバックし、創作作品を完成させる。		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			
11	書譜の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 書譜「夫自古之」「善書者漢」半紙に臨書		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			
12	書譜の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 書譜「魏有鍾張」「之絶晋末」半紙に臨書		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			
13	書譜の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 書譜 学習した箇所を半切用紙に臨書		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			
14	書譜の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 書譜「真不悟習草」「将迷仮令薄」半紙に臨書		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			
15	書譜の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 書譜「解草書粗傳」「隸法則好溺」半紙に臨書 フィードバックを含む		事前学習：各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2h) 事後学習： 後に草書の創作作品を制作すること。(2h)			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	草書法	三根 良治	通年	必修	講義・実技	2
【授業のねらい】 草書学習の双璧ともいわれる十七帖（王羲之）と書譜（孫過庭）の臨書を中心に基本的用筆法を学習する。明・清時代の条幅作品学習も行い、草書技術の向上と鑑賞力を養う。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 草書の基本的用筆法、字形を理解する。又、古典の書風による創作作品を完成させる。 【評価方法】 提出作品・臨書作品の習熟度と創作作品の完成度の総合評価						
【教科書・参考書】 教科書： 二玄社 中国法書選14『十七帖』、38『書譜』、55『傅山集』二玄社 王鐸の書法（条幅篇） 参考書： なし						
【その他】 第1回目は必ず出席すること。提出物は必ず、提出すること。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	書譜の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 書譜、学習した箇所を半切に臨書	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				
2	書譜 書譜風の創作作品 書譜風の創作作品の制作	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				
3	書譜 書譜風の創作作品 今までの講義をフィードバックし、創作作品を完成させる。	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				
4	王鐸の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 臨王獻之・王羲之帖「豹奴此月唯」「省一書亦不」を半紙に臨書	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				
5	王鐸の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 臨王獻之・王羲之帖「足慰懷邪吾」「唯辨々知復」を半紙に臨書	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				
6	王鐸の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 臨王獻之・王羲之帖、学習した箇所を半切用紙に臨書	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				
7	王鐸の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 臨王獻之・王羲之帖「日也知彼人」「已還吾此猶」を半紙に臨書	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				
8	王鐸の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 臨王獻之・王羲之帖「往來其野近」「當往就之耳」を半紙に臨書	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				
9	王鐸の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 臨王獻之・王羲之帖、学習した箇所を半切用紙に臨書	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				
10	王鐸風の創作作品 王鐸風の創作作品の制作	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				
11	王鐸風の創作作品 今までの講義をフィードバックし、創作作品を完成させる。	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				
12	傅山の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 草書五言律詩軸「月黒一綫白」「林底林端紫」を半紙に臨書	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				
13	傅山の臨書により字形の特質及び用筆法を学習 草書五言律詩軸「木心信石路」「只覺伯鞋平」を半紙に臨書	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				
14	傅山風の創作作品 傅山風の創作作品の制作	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				
15	傅山風の創作作品 今までの講義をフィードバックし、創作作品を完成させる。	事前学習： 各課題の草書の正しい字形、くずし方を調べておくこと。(2.0h) 事後学習： 草書の創作作品を制作すること。(2.0h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	かな書法Ⅱ	湯澤 聡	通年	必修	講義・実技	2
【授業のねらい】 平安期の「かな」臨書を中心にして実技力、鑑賞力を高めながら、かな書の美しさを表現できるよう段階的に演習を通して解説する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 古筆の臨書を通して「かな」の表現・鑑賞力を一層高め、細字や大字仮名の創作ができるようになる。 【評価方法】 提出作品(3回)により評価する。						
【教科書・参考書】 教科書： 書道テキスト 書道の古典Ⅲ (二玄社)・関戸本古今集 (二玄社・日本名筆選) 参考書： かな表現字典 (二玄社)、五体字類 (西東書房)、その他プリント						
【その他】 第1回目は必ず出席すること。遅刻は厳禁とする。学生の学習状況については個々の添削により確認し、質問事項については随時対応していく。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	かな学習の意義、文房四宝の解説		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	かな学習の意義と年間計画の確認、用具の特性と扱い方の解説		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			
2	かな文字の成立について		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	かな文字と字母について		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			
3	かな文字の利用		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	和歌とかな文字について		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			
4	平安かな古筆について		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	古今和歌集とかな		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			
5	関戸本古今集について		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	関戸本古今集の内容と書式		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			
6	関戸本古今集の書について		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	関戸本古今集の書の特徴		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			
7	関戸本古今集の書法について		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	関戸本古今集の書法分析		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			
8	関戸本古今集の技法の習得		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	関戸本古今集の拡大臨書		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			
9	関戸本古今集の線について		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	臨書により線の技法を習得する		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			
10	関戸本古今集の造形について		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	臨書により造形について理解する		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			
11	関戸本古今集の連綿について		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	臨書により連綿の技法を習得する		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			
12	関戸本古今集の書式について		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	臨書により書式を認識する		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			
13	関戸本古今集とかな古筆		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	関戸本古今集と平安の古筆について		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			
14	関戸本古今集の臨書		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	料紙に臨書する		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			
15	関戸本古今集の装丁について		事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(1.0h)			
	関戸本古今集の臨書を装丁する		事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	かな書法Ⅱ	湯澤 聡	通年	必修	講義・実技	2
【授業のねらい】 平安期の「かな」臨書を中心にして実技力、鑑賞力を高めながら、かな書の美しさを表現できるよう段階的に演習を通して解説する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 古筆の臨書を通して「かな」の表現・鑑賞力を一層高め、細字や大字仮名の創作ができるようになる。 【評価方法】 課題提出作品により評価する。						
【教科書・参考書】 教科書： 書道テキスト 書道の古典Ⅲ（二玄社）・関戸本古今集（二玄社・日本名筆選） 参考書： かな表現字典（二玄社）、五体字類（西東書房）、その他プリント						
【その他】 第1回目は必ず出席すること。遅刻は厳禁とする。学生の学習状況については個々の添削により確認し、質問事項については随時対応していく。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	かな古筆について 平安のかな古筆について			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		
2	かな古筆の書式(1) 行書きについて			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		
3	かな古筆の書式(2) 散らし書きについて			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		
4	三色紙について 継色紙・寸松庵色紙・升色紙の書			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		
5	寸松庵色紙の書について 寸松庵色紙の書の特徴			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		
6	寸松庵色紙の書法について 寸松庵色紙の書法分析			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		
7	寸松庵色紙の技法の習得 寸松庵色紙の拡大臨書			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		
8	寸松庵色紙の線について 臨書により線の技法を習得する			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		
9	寸松庵色紙の造形について 臨書により造形について理解する			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		
10	寸松庵色紙の連綿について 臨書により連綿の技法を習得する			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		
11	寸松庵色紙の書式について 臨書により書式を認識する			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		
12	継色紙・升色紙との比較(1) 書式を比較し分析する			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		
13	継色紙・升色紙との比較(2) 継色紙・升色紙の書法を比較する			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		
14	寸松庵色紙の料紙について 料紙に臨書する			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		
15	関戸本古今集の装丁について 関戸本古今集の臨書を装丁する			事前学習： 学習する古筆をよく観察する。(0.5h) 事後学習： 各自で臨書する。(1.0h)		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	篆書法	中村 拓也	通年	必修	講義・実技	2
【授業のねらい】 書体の変遷の上での篆書の発生と経過を、殷・周(西周・東周)・秦時代という背景の中で考証していく。 又、字形・用筆法の特徴を、甲骨文・金文・石鼓文・帛書等の臨書・鑑賞によって習得する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 篆書における、多彩な表現能力を身につける。 【評価方法】 作品提出						
【教科書・参考書】 教科書： 「書道の古典」1・2 (二玄社) 参考書： 中国法書選 1, 2, 10, 56, 58, 59, 60 (二玄社) 篆隸名品選 3, 4, 5, 7 (二玄社)						
【その他】 第1回目は必ず出席すること。遅刻は厳禁とする。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
篆書学習について				事前学習：資料の熟読(1h)		
1 篆書の変遷及び特徴を概説・字形、用筆法の他書体との違いを説明				事後学習：課題練習、復習(1h)		
2 「金文」「甲骨文」の臨書と鑑賞(半紙4字2種) 時代背景など書道史的存在位置の講義及び点画の学習				事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
3 「金文」「甲骨文」の臨書と鑑賞(半紙4字2種) 用筆法、運筆法、全体の構成等を臨書を通して習得する・清書提出				事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
4 「大孟鼎」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 時代背景など書道史的存在位置の講義及び点画の学習				事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
5 「大孟鼎」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 用筆法、運筆法、全体の構成等を臨書を通して習得する・清書提出				事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
6 「散氏盤」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 時代背景など書道史的存在位置の講義及び点画の学習				事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
7 「散氏盤」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 用筆法、運筆法、全体の構成等を臨書を通して習得する・清書提出				事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
8 「中山王さく方壺」の臨書と鑑賞(半紙4字2種) 時代背景など書道史的存在位置の講義及び点画の学習				事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
9 「中山王さく方壺」の臨書と鑑賞(半紙4字2種) 用筆法、運筆法、全体の構成等を臨書を通して習得する・清書提出				事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
10 「石鼓文」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 時代背景など書道史的存在位置の講義及び点画の学習				事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
11 「石鼓文」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 用筆法、運筆法、全体の構成等を臨書を通して習得する・清書提出				事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
12 「帛書」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 時代背景など書道史的存在位置の講義及び点画の学習				事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
13 「帛書」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 用筆法、運筆法、全体の構成等を臨書を通して習得する・清書提出				事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
14 「泰山刻石」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 時代背景など書道史的存在位置の講義及び点画の学習				事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
15 「泰山刻石」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 用筆法、運筆法、全体の構成等を臨書を通して習得する・清書提出				事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	篆書法	中村 拓也	通年	必修	講義・実技	2
【授業のねらい】 清朝における篆書作品の学習により、その表現力を高める。なお、篆書作品の創作も試みる。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 篆書における、多彩な表現能力を身につける。 【評価方法】 作品提出						
【教科書・参考書】 教科書： 「書道の古典」1・2 (二玄社) 参考書： 中国法書選 1, 2, 10, 56, 58, 59, 60 (二玄社) 篆隸名品選 3, 4, 5, 7 (二玄社)						
【その他】 第1回目は必ず出席すること。遅刻は厳禁とする。学生の学習状況については個々の添削により確認し、質問事項については随時対応していく。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	「鄧石如」の臨書と鑑賞 清朝の鄧石如の作品を臨書し、表現を中心とした篆書学習。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
2	「鄧石如」の臨書と鑑賞 添削指導、清書提出。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
3	「呉讓之」の臨書と鑑賞 清朝の呉讓之の作品を臨書し、表現を中心とした篆書学習。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
4	「呉讓之」の臨書と鑑賞 添削指導、清書提出。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
5	「趙之謙」の臨書と鑑賞 清朝の趙之謙の作品を臨書し、表現を中心とした篆書学習。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
6	「趙之謙」の臨書と鑑賞 添削指導、清書提出。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
7	「徐三庚」の臨書と鑑賞 清朝の徐三庚の作品を臨書し、表現を中心とした篆書学習。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
8	「徐三庚」の臨書と鑑賞 添削指導、清書提出。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
9	「呉昌碩」の臨書と鑑賞 清朝の呉昌碩の作品を臨書し、表現を中心とした篆書学習。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
10	「呉昌碩」の臨書と鑑賞 添削指導、清書提出。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
11	半切2行 (縦) 清朝の篆書作品をベースとして、臨書作品にいとむ。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
12	半切2行 (縦) 清書提出。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
13	半切 秦時代以前、清朝いずれかの篆書をベースに、創作作品にいとむ。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
14	半切 秦時代以前、清朝いずれかの篆書をベースに、創作作品にいとむ。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
15	半切 清書提出。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	隸書法	中村 拓也	通年	必修	講義・実技	2
【授業のねらい】 書体の変遷の上での隸書の発生と経過を、秦・前漢・新・後漢・三国時代という背景の中で考証していく。 又、字形・用筆法の特徴を、古隸・八分隸・木簡の臨書・鑑賞によって習得する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 隸書における、多彩な表現能力を身に付ける。 【評価方法】 作品提出						
【教科書・参考書】 教科書： 「書道の古典」1・2 (二玄社) 参考書： 中国法書選 3, 5, 8, 9, 10, 56, 59 (二玄社) 篆隸名品選 1, 6 (二玄社)						
【その他】 第1回目は必ず出席すること。遅刻は厳禁とする。学生の学習状況については個々の添削により確認し、質問事項については随時対応していく。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
隸書学習について				事前学習：資料の熟読(1h)		
1	隸書の特徴を概説。字形・用筆法その他書体との違いを説明。			事後学習：課題練習、復習(1h)		
2	「曹全碑」の臨書と鑑賞(半紙4字2種) 時代背景など書道史的存在位置の講義及び点画の学習。			事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
3	「曹全碑」の臨書と鑑賞(半紙4字2種) 用筆法・運筆法、全体の構成などを臨書を通して習得。 清書提出。			事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
4	「礼器碑」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 時代背景など書道史的存在位置の講義及び点画の学習。			事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
5	「礼器碑」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 用筆法・運筆法、全体の構成などを臨書を通して習得。 清書提出。			事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
6	「石門頌」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 時代背景など書道史的存在位置の講義及び点画の学習。			事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
7	「石門頌」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 用筆法・運筆法、全体の構成などを臨書を通して習得。 清書提出。			事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
8	「張遷碑」の臨書と鑑賞(半紙4字2種) 時代背景など書道史的存在位置の講義及び点画の学習。			事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
9	「張遷碑」の臨書と鑑賞(半紙4字2種) 用筆法・運筆法、全体の構成などを臨書を通して習得。 清書提出。			事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
10	「萊子侯刻石」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 時代背景など書道史的存在位置の講義及び点画の学習。			事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
11	「萊子侯刻石」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 用筆法・運筆法、全体の構成などを臨書を通して習得。 清書提出。			事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
12	「木簡」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 時代背景など書道史的存在位置の講義及び点画の学習。			事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
13	「木簡」の臨書と鑑賞(半紙6字2種) 用筆法・運筆法、全体の構成などを臨書を通して習得。 清書提出。			事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
14	半切2行 「曹全碑」「礼器碑」 漢時代の八分隸、古隸、木簡をベースとして臨書作品に いとむ。			事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		
15	半切2行 「石門頌」「張遷碑」「萊子侯刻石」「木簡」 漢時代の八分隸、古隸、木簡をベースとして臨書作品に いとむ。			事前学習：資料の熟読(1h) 事後学習：課題練習、復習(1h)		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	隷書法	中村 拓也	通年	必修	講義・実技	2
【授業のねらい】 清朝における隷書作品の学習により、その表現力を高める。なお、隷書作品の創作も試みる。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 隷書における、多彩な表現能力を身に付ける。 【評価方法】 作品提出						
【教科書・参考書】 教科書： 「書道の古典」1・2 (二女社) 参考書： 中国法書選 3, 5, 8, 9, 10, 56, 59 (二女社) 篆隸名品選 1, 6 (二女社)						
【その他】 第1回目は必ず出席すること。遅刻は厳禁とする。学生の学習状況については個々の添削により確認し、質問事項については随時対応していく。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	「金農」の臨書と鑑賞 清朝の金農の作品を臨書し、表現を中心とした隷書学習。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
2	「金農」の臨書と鑑賞 添削指導、清書提出。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
3	「鄧石如」の臨書と鑑賞 清朝の鄧石如の作品を臨書し、表現を中心とした隷書学習。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
4	「鄧石如」の臨書と鑑賞 添削指導、清書提出。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
5	「陳鴻壽」の臨書と鑑賞 清朝の陳鴻壽の作品を臨書し、表現を中心とした隷書学習。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
6	「陳鴻壽」の臨書と鑑賞 添削指導、清書提出。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
7	「楊見山」の臨書と鑑賞 清朝の楊見山の作品を臨書し、表現を中心とした隷書学習。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
8	「楊見山」の臨書と鑑賞 添削指導、清書提出。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
9	「趙之謙」の臨書と鑑賞 清朝の趙之謙の作品を臨書し、表現を中心とした隷書学習。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
10	「趙之謙」の臨書と鑑賞 添削指導、清書提出。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
11	半切2行(縦) 清朝の隷書作品をベースとして、臨書作品にいとむ。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
12	半切2行(縦) 清書提出 清朝の隷書作品をベースとして、臨書作品にいとむ。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
13	半切 漢時代、清朝いずれかの隷書をベースとして、創作作品にいとむ。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
14	半切 漢時代、清朝いずれかの隷書をベースとして、創作作品にいとむ。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			
15	半切 清書提出 漢時代、清朝いずれかの隷書をベースとして、創作作品にいとむ。		事前学習： 資料の熟読 (1.0h) 事後学習： 課題練習、復習 (1.0h)			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	古代学Ⅰ	小野 真嗣	前期・春学期	選択必修	講義	2
【授業のねらい】 考古学についての理解をとおして、原始・古代を生きた人々の営みや文化、風習等について解説する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 旧石器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代を中心に日本の政治史・文化史・社会史の諸相を概観していくことにより、古代日本の全体像を理解することを目標とする。 【評価方法】 授業への取り組み姿勢(小テスト・小レポートを含む) 40%、期末試験60%						
【教科書・参考書】 教科書： 特に指定しない。適宜プリントを配付する。 参考書： 広瀬和雄ほか『考古学の基礎知識』(角川選書、2007年) 白石太一郎ほか『考古学と歴史』(放送大学教育振興会、2004年)						
【その他】 授業内容は必要に応じて変更することがある。質問や学習相談には、オフィスアワー・メール・個別指導コレクション等で随時対応する。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	授業の目的 授業の内容や取り組み方などを説明する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
2	考古学の概念 考古学の概念や定義の形成過程と社会的役割について概観する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
3	考古学研究の対象と発掘調査 具体的研究対象と対象範囲について理解し、発掘調査について学ぶ。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
4	考古学研究の方法 考古学の基本的な方法論と自然科学的方法を理解する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
5	地質年代と人類進化 新生代に至るまでの地質年代と、新生代の人類進化を概観する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
6	人類史の時代区分と日本列島における時代区分 旧石器時代から鉄器時代に至るまでの時代区分について概観する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
7	旧石器時代(1) 旧石器文化の成り立ちやその特色について考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
8	旧石器時代(2) 旧石器文化の成り立ちやその特色について考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
9	縄文時代(1) 縄文文化の成り立ちやその特色について考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
10	縄文時代(2) 縄文文化の成り立ちやその特色について考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
11	弥生時代(1) 弥生文化の成り立ちやその特色について考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
12	弥生時代(2) 弥生文化の成り立ちやその特色について考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
13	古墳時代(1) 古墳の出現およびその変遷について考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
14	古墳時代(2) 大王とヤマト政権の伸長について考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
15	全体の総括と試験 講義全体の総括と試験を行う。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する。授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	古代生活文化 I	小野 真嗣	前期・春学期	選択必修	講義	2
【授業のねらい】 文献史料・考古資料・文学作品等を通して、古代を生きた人々の生活文化を叙述していく。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 仏教、地方武士や庶民階級の生活、妖怪や笑いまで幅広い内容に触れることで、当時の人々の生活文化への関心を高め、理解を深めるとともに、今後各自が学ぶうえで必要な研究方法を身につけることを目標とする。 【評価方法】 授業への取り組み姿勢50%、期末試験50%						
【教科書・参考書】 教科書： 特に指定しない。適宜プリントを配付する。 参考書： 馬淵和夫・国東文麿・稲垣泰一校注・訳『今昔物語集』(1-4)、小学館、1999年(新編日本古典文学全集35-38)						
【その他】 授業内容は必要に応じて変更することがある。質問や学習相談には、オフィスアワー・メール・個別指導コレクション等で随時対応する。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	授業の目的 授業の内容と取り組み方について説明する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
2	今昔物語集とは (1) 今昔物語集の成立と特徴を説明する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
3	今昔物語集とは (2) 今昔物語集の成立と特徴を説明する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
4	今昔物語集と聖徳太子 (1) 今昔物語集の聖徳太子に関する説話を考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
5	今昔物語集と聖徳太子 (2) 今昔物語集の聖徳太子説話と実在の聖徳太子を比較・考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
6	今昔物語集と聖武天皇 (1) 今昔物語集の聖武天皇と大仏建立に関する説話を文献史料と比較・考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
7	今昔物語集と聖武天皇 (2) 今昔物語集の聖武天皇と大仏建立に関する説話を文献史料と比較・考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
8	今昔物語集と陰陽師 (1) 今昔物語集の陰陽師に関する説話から、当時の陰陽師の存在と役割を考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
9	今昔物語集と陰陽師 (2) 今昔物語集の陰陽師に関する説話と文献史料を比較・考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
10	今昔物語集と武士 (1) 今昔物語集の武士に関する説話から、当時の武士観やその生活文化を考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
11	今昔物語集と武士 (2) 今昔物語集の武士に関する説話から、当時の武士観やその生活文化を考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
12	今昔物語集と芥川龍之介 (1) 芥川作品と芥川が題材とした今昔物語集説話を比較・考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
13	今昔物語集と芥川龍之介 (2) 芥川作品と芥川が題材とした今昔物語集説話を比較・考察する。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
14	今昔物語集と蘇生譚 今昔物語集の蘇生譚に関する説話から、当時の仏教と生活の関わりを知る。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				
15	全体の総括と試験 講義全体の総括と試験を行う。	事前学習： 配布物を読むなどして、次回授業テーマについて予習する (2h) 事後学習： 授業各回の要点をまとめ、不明な点を調べたり質問して理解する (2h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	文学セミナー 解釈理論	小澤 京子	前期・春学期	選択必修	講義	2
【授業のねらい】						
作品解釈のための基礎的な方法論を扱う。上代から現代までの文学セミナーが文学史という塔の木組を重ねるものであるに対して、この科目では上記の「建築物」について分析的に思考するための「道具立」を示す。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
文学・芸術・文化を思考するための基礎となる方法論を知る 自身に関心を持つ具体的な作品や事象につき、応用的に考察や分析を実践できる 芸術や文化を批評的に思考できる 【評価方法】 授業への取り組み（毎回のコメント・質問提出による参加点）40%、期末試験60%の割合で算出						
【教科書・参考書】						
教科書： 特に指定しない。重要な文献はブックリストを配布。 参考書： 丹治愛・山田広昭『文学批評への招待』放送大学教材 基本テキスト：バルト「作者の死」、バトラー『ジェンダー・トラブル』、アンダーソン『想像の共同体』、サイード『オリエンタリズム』、ベンヤミン「複製技術時代の芸術作品」						
【その他】						
すべての授業連絡はmanaba courseで行う。学生の理解度や興味関心に合わせ、シラバスを変更する可能性あり。 フィードバック：質問やコメントに対する応答は、プリントにして配布						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	ガイダンス 概要説明、受講者アンケートなど	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				
2	1. 作品解釈の唯一の正解は「作者の意図」なのか？ 「著者の言いたいこと」問題、「作者の死」と「読者の誕生」	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				
3	1. 作品解釈の唯一の正解は「作者の意図」なのか？ 二次創作と「解釈違い」、創造行為としての「読み」	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				
4	2. 作品の意味は作品どうしの関係から生まれる？ 問-テキスト性について：辻村深月の作品群から	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				
5	2. 作品の意味は作品どうしの関係から生まれる？ 問-テキスト性について：基本的な概念の説明	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				
6	2. 作品の意味は作品どうしの関係から生まれる？ 作品間の「翻案」関係：映画化、アニメ化、2.5次元化	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				
7	3. 魔法少女のジェンダー？ ディズニープリンセス、魔法少女の変遷とフェミニズム理論	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				
8	3. 魔法少女のジェンダー？ 「戦国美少女」と「労働する少女」の表象分析	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				
9	3. 魔法少女のジェンダー？ キア理論と「キア的な読み」としてのBL・百合	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				
10	4. 文化における「日本」とは何か？「他者」とは誰か？ 温文柔、多和田葉子、カズオ・イシグロは何文学か？：「想像の共同体」と国民文化	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				
11	4. 文化における「日本」とは何か？「他者」とは誰か？ 「タンタン」、「ターザン」、異世界転生モノに見る植民地支配とポストコロニアル理論	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				
12	4. 文化における「日本」とは何か？「他者」とは誰か？ 「文化の盗用」をどう考えるべきか：近年のファッション界の事例から	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				
13	5. 私たちの知覚するものはテクノロジーによって変わる？ 映画のスローモーションやクローズアップ技術が可能にした視覚	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				
14	5. 私たちの知覚するものはテクノロジーによって変わる？ 暗箱カメラやゾーエトロープと世界認識の変容	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				
15	期末試験と解説（フィードバック） 基礎知識の定着と応用力を評価するための試験とその解説	事前学習： 講義時に指示した文献や配布資料に目を通し、分からない語句をインターネットや文献を活用し調べる (1h) 事後学習： 参考文献を読む、得た知識を応用し身近な問題や作品を分析する (2h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	ポピュラーカルチャー I	仁藤 潤	前期・春学期	選択必修	講義	2
【授業のねらい】 戦後の時代背景を踏まえて、若者が作り出した文化について幅広く研究を行う。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 1. サブカルチャーとは何かを理解することができる。 2. 授業内容に対して、自分の意見を表現することができる。 3. 自分の選んだテーマに関して、リサーチを行い自分の言葉で発表(レポート)することができる。 【評価方法】 ①平常点(最大10点): 授業マナーを守り、授業に積極的に取り組む態度を評価する。②アンケート(最大60点): 授業内容をしっかりと理解しているかを評価する。③最終課題(最大30点): 授業内で出された課題の完成度を評価する。 10分以上遅刻は、減点対象とします。 6回以上(2/3)の欠席は、出席不足とします。締め切りを過ぎて提出された課題については、大きな減点を行う。						
【教科書・参考書】 教科書: 特になし 参考書: 必要な文献については授業内で適宜説明する予定。						
【その他】 学生の理解度や興味関心に合わせ、シラバスを変更する可能性あり。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
ガイダンス	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)		
1 授業概要と到達目標を確認する。サブカルチャーとは何か。	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
2 40、50年代のサブカルチャー	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
戦後のサブカルチャーについて	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
3 50年代のサブカルチャー	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
エルビスとロックンロール、太陽族	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
4 60年代のサブカルチャー	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
大島渚とヌーヴェルバーグ	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
5 60年代のサブカルチャー	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
唐十郎と新宿	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
6 70年代のサブカルチャー	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
深夜ラジオと若者文化	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
7 70年代のサブカルチャー	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
雑誌と音楽の文化	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
8 80年代のサブカルチャー	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
ポスト消費社会、YMO	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
9 80年代のサブカルチャー	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
コピーライターとは。「おいしい生活」	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
10 90年代のサブカルチャー	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
サブカルチャーからサブカルへ	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
11 最終課題	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
リサーチを行い、テーマを決め、発表準備を行う。	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
12 最終課題	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
研究発表会を行う。	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
13 最終課題	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
研究発表会を行う。	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
14 最終課題	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
研究発表会を行う。	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
15 最終課題	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		
発表会と講評(フィードバック)を行う。	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h)			事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	現代文化論	仁藤 潤	前期・春学期	選択必修	講義	2
【授業のねらい】 世界のアニメーションについての概説を行う。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 世界のアニメーションについて俯瞰的に理解出来る。 テーマを決め、最終課題を発表する事ができる。 【評価方法】 ①平常点(最大10点)：授業マナーを守り、授業に積極的に取り組む態度を評価する。 ②アンケート(最大60点)：授業内容をしっかりと理解しているかを評価する。 ③最終課題(最大30点)：授業内で出された課題の完成度を評価する。10分以上遅刻は、減点対象とします。 6回以上(2/3)の欠席は、出席不足とします。締め切りを過ぎて提出された課題については、大きな減点を行う。						
【教科書・参考書】 教科書： なし 参考書： 適宜提示する						
【その他】 学生の理解度や興味関心に合わせ、シラバスを変更する可能性あり。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	ガイダンス 授業概要の説明と到達目標の確認。	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
2	世界のアニメーション アメリカのアニメーション(ディズニーとそれ以降 他)	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
3	世界のアニメーション アメリカのアニメーション(フライシャーとワーナー 他)	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
4	世界のアニメーション カナダのアニメーション(フレデリックバック、NFB)	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
5	世界のアニメーション ロシアのアニメーション(ユーリーノルシュテイン 他)	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
6	世界のアニメーション イギリスのアニメーション(BBC、アードマン 他)	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
7	世界のアニメーション ドイツのアニメーション(ライニガーと切り絵 他)	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
8	世界のアニメーション チェコのアニメーション(イジートルンカ 他)	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
9	世界のアニメーション 日本のアニメーション(川本喜八郎、山村浩二 他)	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
10	世界のアニメーション 新世代の作家について(国内外)	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
11	最終課題 各自、テーマを決め、研究発表の準備を行う。	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
12	最終課題 発表を行う。全体にフィードバックを行う。	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
13	最終課題 発表を行う。全体にフィードバックを行う。	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
14	最終課題 発表を行う。全体にフィードバックを行う。	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
15	最終課題 総括(フィードバック)を行う。	事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習：授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	博物館概論	加藤 紫識	前期・春学期	選択必修	講義	2
【授業のねらい】 博物館（資料館・科学館・文学館・工芸館・美術館・動植物園・水族館等を含む）の設置意義とその活動、生涯学習施設としての博物館の役学芸員の職務について解説する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 ①「博物館とはなにか」という問いに博物館法上の定義を示すとともに、現代の博物館の状況を自分の言葉で説明することができる。 ②国内外の博物館の成立過程や特徴を理解する。 【評価方法】学期末試験（50％）、授業参加度（リアクションペーパー、授業内提出物など）（50％）により評価する。						
【教科書・参考書】 教科書： テキストは使用しない。授業時にプリントを配布する。 参考書： 授業時に適宜紹介する。						
【その他】 受講者は毎回の授業後に「respon」のアンケート機能を使用し、リアクションペーパーを提出する。次の授業内で質問や意見を共有し、教員からコメントしフィードバックとする。授業の進捗によって内容・順番を変更する可能性がある。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	ガイダンス 授業内容の説明	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				
2	博物館の定義と目的 博物館の定義・役割・目的	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				
3	博物館の分類（1） 博物館法上および設立目的による分類方法（前回のフィードバック含む）	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				
4	博物館の分類（2） 人文系博物館における資料の分類方法（前回のフィードバック含む）	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				
5	博物館の分類（3） 自然系博物館における資料の分類方法（前回のフィードバック含む）	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				
6	博物館の歴史（1） 博物館や展示の起源（前回のフィードバック含む）	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				
7	博物館の歴史（2） 14世紀以降の博物館の歴史と特徴（前回のフィードバック含む）	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				
8	博物館の歴史（3） 19～20世紀（欧米）の博物館の歴史と特徴（前回のフィードバック含む）	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				
9	博物館の歴史（4） 20世紀以降（欧米）の博物館の歴史と特徴（前回のフィードバック含む）	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				
10	日本における博物館の歴史（1） 近世期以前の資料の保存・公開方法（前回のフィードバック含む）	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				
11	日本における博物館の歴史（2） 近世期における展示活動の歴史と特徴（前回のフィードバック含む）	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				
12	日本における博物館の歴史（3） 明治期以降の博物館の歴史と特徴（前回のフィードバック含む）	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				
13	博物館における学芸員の役割（1） 博物館学芸員の役割（前回のフィードバック含む）	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				
14	博物館における学芸員の役割（2） 学芸員の仕事内容（前回のフィードバック含む）	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				
15	試験および総括（フィードバックを含む） 本科目の総括を行う。	事前学習： 1回の授業につき、事前に関連キーワードをネットなどで予習しておくこと（2.0h） 事後学習： 配布資料を読み返し、各回の授業で学んだことの見解や自分なりに調べたこと、質問をリアクションペーパーに記入して提出する。（2.0h）				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	障害者・障害児心理学	田口 久美子	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 障害をどう捉え、どのように生きるのかは、すべての人々にとって重要である。本授業では、障害とは何かをふまえ、子どもの発達を洞察し、発達を促進する教育や社会のあり方を考える。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 ①障害とはなにか、歴史的経緯について理解する②人々を取り巻く障害について理解する ③③障害のある子どもの困難について理解する④子どもの発達を促す環境について考えることができる 【評価方法】フィールドワーク・授業後の振り返りや小レポート（50%）、期末レポート（50%）などを総合的に評価する						
【教科書・参考書】 教科書： なし 参考書： 授業時に指示する。						
【その他】 コロナをはじめとする感染状況を勘案しながら、フィールドに出かけての学外授業を行う予定である。実施する場合には必ず参加すること。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	オリエンテーション 授業の目的・注意点		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			
2	障害とはなにか（1） 医学モデル・社会モデル・ICF モデル		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			
3	障害とはなにか（2） 法体系や制度をめぐる変遷		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			
4	発達障害とはなにか（3） 診断基準の変遷めぐって		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			
5	障害のある子どもの困難と教育・保育を考える（1） 診断名から考える		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			
6	障害のある子どもの困難と教育・保育を考える（2） ”問題行動”・”主訴”から考える		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			
7	障害のある大人の困難と社会の在り方を考える（3） 社会参加を可能にする方法		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			
8	フィールドワーク1 特別支援学校の見学		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			
9	フィールドワーク2 障害者の社会参加		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			
10	アセスメントとコンサルテーション（1） 発達検査、観察、家族からの聞き取り		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			
11	アセスメントとコンサルテーション（2） 発達像の構築にむけて		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			
12	障害とジェンダー（1） 子育てや療育を巡る父親の関わり方について		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			
13	障害とジェンダー（2） 発達支援におけるジェンダー的な問題		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			
14	発達の促進につながる連携のあり方 良い連携について考える		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			
15	まとめ（フィードバックを含む） 授業の総括		事前学習： 障害のある子ども・人々の情報を収集し、理解を深める（2.0h） 事後学習： 授業の内容や資料を熟読し、障害についての理解を深める（2.0h）			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	文学と女性	星野 文子	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 19世紀半ばから20世紀半ばのアメリカ人女性作家の生涯とその功績、文学作品を学び、当時の文化や多様な生き方、社会への影響などを考察する力を培う。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 19世紀半ばから20世紀半ばのアメリカ人女性作家の生涯や功績、文学作品、当時の多様な文化などを通し、女性と文学の関わりや役割を広く考察する力を身につける。 【評価方法】 授業参加度およびコメントシート 30%、課題+提出物 40%、プレゼンテーション 30%						
【教科書・参考書】 教科書： "Uncle Tom's Cabin," "Little Women," "A White Heron," "The Long Winter," "To Kill a Mockingbird" など。抜粋を印刷配布。 参考書： 『アメリカ文学にみる女性と仕事』(2006年)、 『アメリカ文学にみる女性開拓者たち』(2010年) など、適宜紹介する。						
【その他】 feedbackはコメントシートへの紹介やレポートについて全体に行うほか、個別にも行う。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	コース概要の説明 概要や課題説明のほか、女性と文学のアプローチを考える	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				
2	19世紀後半から20世紀前半 授業で扱う約100年の時代背景、女性と文学の関わり	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				
3	ハリエット・ピーチャー・ストウ 1 生涯と作品『アンクル・トムの小屋』紹介	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				
4	ハリエット・ピーチャー・ストウ 2 『アンクル・トムの小屋』論題に沿って読み、話し合う。	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				
5	ルイーザ・メイ・オルコット 1 生涯と作品。『若草物語』論題に沿って、読み話し合う。	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				
6	ルイーザ・メイ・オルコット 2 『若草物語』論題に沿って読み話し合い、映画と比較する。	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				
7	セアラ・オーン・ジュエット 短編『シラサギ』論題に沿って読み、話し合う。	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				
8	アイナ・クールブリス カリフォルニア詩人の詩作品を論題に沿って読み、話し合う。	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				
9	ローラ・インガルス・ワイルダー 1 生涯と作品。大衆文化としての『大草原の小さな家』	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				
10	ローラ・インガルス・ワイルダー 2 『長い冬』論題に沿って読み、話し合う。	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				
11	パール・バック 生涯と作品。『大地』論題に沿って読み、話し合う。	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				
12	ハーバー・リー 1 生涯と作品。『アラバマ物語』を論題に沿って読み、話し合う。	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				
13	ハーバー・リー 2 『アラバマ物語』小説と映画の影響について学ぶ。	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				
14	プレゼンテーション 各自が選んだ女性作家について発表する。	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				
15	今学期のまとめ 全体の総括	事前学習： 事前にテキストを読んでディスカッションに参加することが求められるほか、プレゼンテーションの準備など。(2.0h) 事後学習： コメントシート記入など。(0.5h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	翻訳入門	坪野 圭介	前期・春学期	選択	演習	2
【授業のねらい】 翻訳の実践に必要な基礎知識を学び、様々な翻訳課題を通して英文を適切な日本語に訳す力を身につける。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 ジャンルや形式に応じて、英文を適切に訳し分けられるようになる。翻訳を通して、英語の文章を丁寧に読み解けるようになる。 原文と等価な日本語の文章を作成できるようになる。 【評価方法】 課題の訳文の作成 (40%)、授業への取り組み (30%)、ミニレポート (30%)。						
【教科書・参考書】 教科書： なし (プリントを配布) 参考書： 柴田元幸『翻訳教室』 (朝日文庫)						
【その他】 授業へのコメント・質問などに関して、manabaコースでも随時フィードバックを行う。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	イントロダクション 授業計画の説明／翻訳の多様さを知る			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		
2	翻訳について学ぶ (1) 辞書の使い方、インターネットの使い方			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		
3	翻訳について学ぶ (2) 文法についての注意点、文体の違いの考察			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		
4	短いフレーズの翻訳 (1) キャッチコピーやことわざを訳す			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		
5	短いフレーズの翻訳 (2) セリフや短文を訳す			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		
6	漫画の翻訳 (1) 1コマ漫画を訳す			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		
7	漫画の翻訳 (2) 1ページ漫画を訳す			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		
8	ノンフィクションの翻訳 (1) 新聞・雑誌の記事を訳す			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		
9	ノンフィクションの翻訳 (2) 評論・エッセイを訳す			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		
10	詩の翻訳 (1) 簡単な詩を訳す			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		
11	詩の翻訳 (2) 少し難しめの詩を訳す			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		
12	小説の翻訳 (1) 短編小説を訳す			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		
13	小説の翻訳 (2) 短編小説を訳す			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		
14	小説の翻訳 (3) 短編小説を訳す			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		
15	まとめ 良い翻訳にとって重要なポイントはなにかをまとめ、フィードバックを行う			事前学習： 事前に配布した資料に基づいて練習問題を解く (2h)。 事後学習： 事後、授業で作成した訳文の推敲を行う (2h)。		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	異文化コミュニケーション	河内山 有佐	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 異文化の価値観や異なるコミュニケーションスタイルについて読んで学び、実践的なコミュニケーション能力を高める。 日本人が異なる文化圏に行ったときに経験するカルチャーショックで起こりうる症状と対処法や異文化適応プロセスについてもロールプレイ等を通して学ぶ。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 異文化理解を深め、英語コミュニケーションスキルの習得を目指す。 【評価方法】 授業参加度など 30%、提出物や課題 20%、プレゼンテーション 20%、試験 30%						
【教科書・参考書】 教科書： 適宜周知する 参考書： 授業内で適宜紹介する						
【その他】 manaba courseを使用して授業内容やフィードバックを提示する						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	授業内容の説明 自己紹介・英語プレゼンテーションの仕方を学習する			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		
2	異文化体験 友人同士の会話についてのリーディング、ペアワーク			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		
3	文化とコミュニケーション オフィスの会話についてのリーディング、ペアワーク			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		
4	コミュニケーションスタイル 褒める			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		
5	文化の価値観 アドバイスする			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		
6	文化と言語コミュニケーション 反論する			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		
7	言語コミュニケーションスタイル プレゼンテーションの方法			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		
8	非言語コミュニケーションスタイル プレゼンテーションの方法			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		
9	文化的価値観 パーティーを開く			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		
10	文化とアイデンティティ 女性同士の会話についてのリーディング、ペアワーク			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		
11	異文化トレーニングの方法 ビジネス会話についてのリーディング、ペアワーク			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		
12	異文化トレーニングの実践 ビジネスレターの作成についてのリーディング、ペアワーク			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		
13	異文化理解 カルチャーショックを学ぶ			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		
14	ケーススタディ ケーススタディについて学ぶ			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		
15	まとめ・総括 今学期のまとめと試験			事前学習： 事前に下調べをする (1.5h) 事後学習： 次週に向けた準備を行う (1.5h)		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	英語の歴史	内田 翔大	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 英語という言語ができてから現代までの歴史的变化を概説することで、現在の英語の文法・単語・発音・綴りなどの成り立ちを考察する。その知見を英語学習や教育にも役立てられるようにする。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 学生は、英語の歴史的变化を理解することで、現在の英語がなぜ今の形になっているのかを説明できるようになる。英語を単に暗記するものとして学ぶのではなく、その背景を理解し、自らの英語学習や英語教育に役立てられるようになる。 【評価方法】 授業貢献・授業内課題 (30%)、ミニ発表 (30%)、期末課題 (40%) で総合的に評価する。						
【教科書・参考書】 教科書： 適宜プリントを配布する。 参考書： 『英語の歴史 過去から未来への物語』、寺澤盾著、中公新書、780円+税、『英語の歴史』、中尾俊夫著、講談社現代新書、740円+税						
【その他】 毎回の授業でコメントシートを使用した授業内容の振り返りや質問へのフィードバックを含みます。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	イントロダクション 教材や授業の説明、英語学習で感じた英語の不思議を考える	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				
2	英語史から見る英語の不思議 概論 英語史全体の概説と各時代の英語の比較、英語ができるまで	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				
3	英語史から見る英語の不思議 古英語期 (1) 古英語期のイギリス 歴史的概要	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				
4	英語史から見る英語の不思議 古英語期 (2) 古英語期の単語の変化 (キリスト教・ノルド語の影響)	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				
5	英語史から見る英語の不思議 古英語期 (3) 古英語期の文法の変化 (名詞・形容詞・冠詞など)	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				
6	英語史から見る英語の不思議 古英語期 (4) 古英語期の文法の変化 (動詞の時制・疑問詞・5W1Hなど)	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				
7	グループ内発表 (1) 世界の英語についての発表の前半	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				
8	グループ内発表 (2) 世界の英語についての発表後半	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				
9	英語史から見る英語の不思議 中英語期 (1) ノルマン・コンクエストと語彙の大量流入、pig/pork + chicken/chicken	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				
10	英語史から見る英語の不思議 中英語期 (2) 中英語の文法変化 (簡略化、2つの不定詞 (to不定詞と原型不定詞))	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				
11	英語史から見る英語の不思議 近代英語期 (1) 近代英語期のイギリス絶対王政期	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				
12	英語史から見る英語の不思議 近代英語期 (2) ルネサンスと綴り字の変化、ペストの影響	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				
13	英語史から見る英語の不思議 現代英語へ (1) 大母音推移、ヴィクトリア期の大英帝国の発展、近代英語の特徴	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				
14	英語史から見る英語の不思議 現代英語へ (2) 大航海時代とアメリカ独立、アメリカ英語とイギリス英語、現代の英語変化	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				
15	学期末試験と授業の総括 (フィードバックを含む) 学期末試験、授業全体の振り返りとフィードバック	事前学習： 1回の授業につき、事前に教員から指示された内容について予習し考えておくこと。(1.0h) 事後学習： 授業後に授業資料や参考資料を閲覧し理解を深めること、発表や課題に向けて取り組むこと。(2.0h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	現代の文化人類学	山崎 真之	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 日常生活において目にする様々な文化に対して多角的に検討していくとともに、現代社会における異文化といかに共生するのかを概説していきます。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 グローバル化のなかで地域社会における多様な文化に関する知見を得るとともに、異文化ならびに自文化に対して柔軟な思考を身につけることを目標とします。 【評価方法】 レポート(60%)、中間レポート(20%)、参加度(20%)に基づき総合的に評価します。						
【教科書・参考書】 教科書： 特に指定しません。講義中にレジュメを配布します。 参考書： 適宜、講義中に紹介します。						
【その他】 毎回講義最後にオンラインでコメントペーパーを入力し、その内容について次回講義時に紹介・回答するフィードバックを行います。積極的な授業参加を評価します。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	イントロダクション 本講義のガイダンス。講義の進め方や評価方法の説明	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				
2	文化人類学の変遷1 文化人類学の誕生とエスノグラフィー (フィードバック含む)	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				
3	文化人類学の変遷2 文化人類学の誕生とエスノグラフィー (フィードバック含む)	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				
4	民間信仰と現代社会1 映像資料を通して民間信仰を紐解く (フィードバック含む)	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				
5	民間信仰と現代社会2 映像資料を通して民間信仰を紐解く (フィードバック含む)	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				
6	民間信仰と現代社会3 映像資料を通して民間信仰を紐解く (フィードバック含む)	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				
7	民間信仰と現代社会4 映像資料を通して民間信仰を紐解く (フィードバック含む)	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				
8	現代社会における童話物語1 映像資料を通して童話と文化について検討 (フィードバック含む)	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				
9	現代社会における童話物語2 映像資料を通して童話と文化について検討 (フィードバック含む)	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				
10	現代社会と神話1 映像資料から神話について考える (フィードバック含む)	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				
11	現代社会と神話2 映像資料から神話について考える (フィードバック含む)	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				
12	カワイイと現代社会1 カワイイから現代社会について考える (フィードバック含む)	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				
13	カワイイと現代社会2 カワイイから現代社会について考える (フィードバック含む)	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				
14	課題について 本講義の課題に関するガイダンス (フィードバック含む)	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				
15	講義のまとめ 本講義の総括とフィードバック	事前学習： 講義で扱うトピックについて関心がある事例に触れる事前学習 (2.0h) 事後学習： 講義内容を踏まえ関連する多様なメディアに触れる事後学習 (2.0h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	観光特論	板垣 武尊	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 将来、観光産業への就職を視野に入れている学生や観光に興味・関心がある学生を対象に、学問分野としての観光と産業としての側面からみた観光について概説する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 ・観光学という学問分野の概要について把握する。・観光事業や観光経営についての基礎的な理解を得る。 【評価方法】 ・授業への取り組み 45%・最終レポート 55%						
【教科書・参考書】 教科書： なし 参考書： 授業時に紹介する。						
【その他】 講義内で国内外の観光地の事例を多く紹介するので、中学・高校などで使用していた地図帳やGoogle Mapが参照できるデバイス（ノートPCやiPadなど。スマートフォンは画面が小さいので推奨しない）を持参するのが望ましい。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	イントロダクション 講義の概要と成績評価方法			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		
2	観光学とは 観光学について概説する			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		
3	観光史 近現代の観光史について学習する			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		
4	観光対象と観光資源 観光対象と観光資源について学習する			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		
5	観光地のづくり方 DMOと着地型観光			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		
6	観光地のマーケティング 観光地の価値を考える			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		
7	宿泊施設の種類 旅館・ホテル・ゲストハウスなど			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		
8	宿泊施設のマーケティング 宿泊施設の顧客価値を考える			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		
9	旅行商品と旅行会社の概要 手配旅行と企画旅行			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		
10	旅行商品のマーケティング 旅行商品のづくり方・伝え方			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		
11	企画旅行商品の事例紹介 講師による事例紹介			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		
12	テーマパークの概要 テーマパークとは何か			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		
13	テーマパークの経営戦略 テーマパークで何を消費するのか			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		
14	テーマパークの事例紹介 講師による事例紹介			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		
15	まとめ 講義の総括			事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	平面構成学実習Ⅰ	伊東 奈々	前期・春学期	必修	実習	1
【授業のねらい】 大裁女物単長着（女物浴衣）の制作を通して、和服の構造的特徴について理解を深めさせるとともに、基本的な縫製技術を習得させる。						
【学修成果（達成目標）及び成績評価の方法】 ①長着の基本的な構造がわかり、説明できる。 ②和裁の基礎的な技術を習得し、大裁女物単長着の制作ができる。 ③和服への関心を深め、和服の着装を楽しむための素地を養う。 【評価方法】 作品（70%）・知識及び実習態度（30%）を総合して評価する。						
【教科書・参考書】 教科書： 田中淑江『はじめての和裁の教科書 動画と図解でよくわかる！ ゆかたの仕立て方』（講談社エディトリアル） 参考書： なし						
【その他】 内容は状況に応じて多少前後することがあります。 作品完成のため、各自の技量によっては作業進度の差を補う努力が必要となります。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	和服の構成と基本的な事項 大裁女物単長着の構成、名称、寸法の決め方		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			
2	裁断 柄あわせの仕方・裁断の仕方		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			
3	縫製①（袖） 袖のしるしつけの仕方・縫い方		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			
4	縫製②（袖） 袖の仕上げ方		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			
5	縫製③（身頃） 身頃のしるしつけの仕方・背縫いの仕方		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			
6	縫製④（身頃） 肩当・居敷当のつくり方・つけ方		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			
7	縫製⑤（身頃） 脇縫いの仕方・縫い代の始末の仕方		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			
8	縫製⑥（衿） 衿のしるしつけの仕方・つけ方		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			
9	縫製⑦（裾） 裾の仕上げ方		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			
10	縫製⑧（本衿） 衿のしるしつけの仕方・本衿のつけ方		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			
11	縫製⑨（本衿） 三つ衿芯のつけ方・衿先の始末・衿のくけ方		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			
12	縫製⑩（共衿） 共衿のつけ方		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			
13	縫製⑪（袖つけ） 袖のつけ方		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			
14	仕上げ 長着のたたみ方・提出		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			
15	作品返却・フィードバック・着装 着装の仕方		事前学習： 毎回の授業前に、教科書を参照して作業箇所の予習をしておくこと（1.0h） 事後学習： 毎回の授業内で指示された課題を次回授業までに完了させること（2.0h）			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	被服繊維学	鬘谷 要	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 天然繊維および化学繊維の化学構造、製法、性質および用途について総合的に解説する細くて長い繊維ならではの機能の発現を実験を取り入れながら紹介していく。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 各種繊維の性質について繊維の化学的・物理的構造との関連を理解し、被服材料としての適性を理解する。 高分子、繊維、糸、布の各段階の特徴を把握する。 【評価方法】 筆記試験 (100%)						
【教科書・参考書】 教科書： 業界マスターに学ぶ せんの基礎講座 (ファイバージャパン社刊) 参考書： なし						
【その他】 状況により内容が変更されることがある。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	繊維とは何か 繊維とは何かを形態的な面から定義する。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		
2	天然繊維 綿 天然繊維として最も需要の高い綿について説明する。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		
3	天然繊維 麻 清涼感のあるセルロース繊維である麻について解説する。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		
4	天然繊維 羊毛 天然タンパク繊維である羊毛について説明する。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		
5	天然繊維 絹 絹の優雅な光沢や衣擦れが構造に由来する事を知る。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		
6	再生繊維 レーヨン、キュプラの繊維構造と製造方法を解説する。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		
7	半合成繊維 アセタートの製造法、性質、用途を知る。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		
8	合成繊維の基礎 1 全て人の手によって作られる繊維は人類の夢であった。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		
9	合成繊維の基礎 2 ナイロン、ポリエステル等の化学構造と性質について詳述する。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		
10	合成繊維の製造方法 合成繊維を生産する際に重要となる紡糸、延伸工程について説く。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		
11	布組織の構造と製造方法 糸から布を形成させる織りと編みについて概観する。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		
12	繊維加工 多用される繊維の後加工の種類とその効果について概説する。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		
13	繊維の利用 非常に多岐にわたる繊維製品の利用の具体的事例を紹介する。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		
14	高機能・高性能繊維 高度な繊維技術で作られる、高機能、高性能繊維について述べる。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		
15	総括とトピックス 最先端の繊維にかかわる話題を取り上げて紹介しフィードバックを行う。			事前学習： 授業内で動画視聴など適宜課題を指示する。(1.0h) 事後学習： 授業の復習を指示する。(1.0h)		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	平面構成学実習 I	高橋 由子	前期・春学期	必修	実習	1
【授業のねらい】 大裁女物ひとえ長着の製作を通して、和服の基本的な構造及び和裁の基礎的な知識や技術を修得する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 和服の構造や名称、及び和裁の基礎的な知識や技術について理解し、大裁女物ひとえ長着を製作することができる。製作を通して和服に興味を持つことができる。 【評価方法】 作品 (70%)、理解度及び実習中の態度 (30%) を総合して行う。						
【教科書・参考書】 教科書： 田中淑江「はじめての和裁の教科書 動画と図解でよくわかる 浴衣の仕立て方」講談社エディトリアル 参考書： なし						
【その他】 作品完成に向けて、課題はきちんと行うこと。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	和服について、採寸、総丈を測る 和服の構成、名称などの解説。採寸、要布量の計算、反物の総丈を測る。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			
2	大裁女物ひとえ長着の縫製 (1) 柄合わせを行い裁断する。居敷当ての標つけ、伏せ縫いをする。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			
3	大裁女物ひとえ長着の縫製 (2) 袖の標つけ、袋縫いをする。肩当ての標つけ、伏せ縫いをする。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			
4	大裁女物ひとえ長着の縫製 (3) 身頃の標つけ、糸印、背縫いをする。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			
5	大裁女物ひとえ長着の縫製 (4) 袖の丸みの始末、袖口の三つ折りぐけをする。肩当て・居敷当てを身頃につける。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			
6	大裁女物ひとえ長着の縫製 (5) 袖のしつけ、衿の裁断、標つけ、衿下の三つ折りぐけ、身頃の脇縫い。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			
7	大裁女物ひとえ長着の縫製 (6) 脇の縫い代の始末、衿つけをする。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			
8	大裁女物ひとえ長着の縫製 (7) 衿の縫い代の始末をする。本衿と共衿の裁断、標つけをする。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			
9	大裁女物ひとえ長着の縫製 (8) 衿つけをする。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			
10	大裁女物ひとえ長着の縫製 (9) 衿に三つ衿芯を入れる。衿の縫い代の始末、裾を三つ折りする。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			
11	大裁女物ひとえ長着の縫製 (10) 衿先の留め、衿の本ぐけをする。裾の額縁仕立ての説明をする。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			
12	大裁女物ひとえ長着の縫製 (11) 共衿をかける。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			
13	大裁女物ひとえ長着の縫製 (12) 袖つけ、袖の縫い代の始末をする。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			
14	着付け 完成した大裁女物ひとえ長着を用いて着付けをする。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			
15	まとめ、フィードバック 仕上げ、長着のたたみ方などを行い、最後にフィードバックを行う。		事前学習： 1回の授業につき、テキストを熟読して予習すること。 (0.5h) 事後学習： 次回までに説明のあった作業を終わらせること。 (2.5h)			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	保育の心理学	岩治 まとか	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 心理学が蓄積してきた発達や教育に関する知見を学び、それらを保育実践と関連づけながら概説する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 発達を捉える視点について発達理論等から理解する 養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本を理解する 乳幼児期の学びの過程や特性を知り人との相互的関わりや環境の意義を理解する 【評価方法】 課題への取り組み40%、試験60% ※毎授業の振り返り、課題は決められた期日までに必ず提出してください						
【教科書・参考書】 教科書： なし 参考書： 坂上裕子ら(著)問いからはじめる発達心理学(有斐閣)河原紀子(監修)0歳～6歳子どもの発達と保育の本 第2版(学研プラス)						
【その他】 授業の最初に適宜フィードバックを行います						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	オリエンテーション・発達を理解する① 保育の心理学で何を学ぶか	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				
2	発達を理解する② 子どもの発達を理解することの意義と方法	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				
3	発達を理解する③ 子どもの発達を捉えるさまざまな視点	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				
4	子どもの発達過程① 感覚、運動機能の発達	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				
5	子どもの発達過程② 感情の発達と基本的信頼感	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				
6	子どもの発達過程③ 人との関わりとことばの発達	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				
7	子どもの発達過程④ 遊びと社会性の発達	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				
8	子どもの発達過程⑤ 認知・思考の発達	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				
9	発達まとめ 子どもの発達における環境の役割	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				
10	子どもと学び① 学びに関わる理論(学習理論、学習法)	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				
11	子どもと学び② 学びを支えるもの(動機づけ)	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				
12	子どもと学び③ 遊びと学び(生活や遊びを通した学びと保育)	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				
13	生涯発達の視点 育てられるものから育てるものへ	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				
14	発達・学ぶことにおけるつまずき 気になる子、発達に偏りのある子どもの理解と支援	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				
15	総括 乳幼児期の発達と保育を考える	事前学習： 授業に関連するキーワード調べ、資料まとめなど (1.5h) 事後学習： 授業のまとめと振り返り。授業内容の理解を深める (1.5h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	調理学	大石 恭子	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 調理操作、調理器具、および調理に伴う食品材料の変化を説明し、調理した食べ物の生理的意義、文化的役割についても講義する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 調理する目的について理解する。また日常の調理における操作が、安全性を高めたり、栄養素の摂取を高めたり、おいしさに貢献していることを改めて認識する。 【評価方法】 筆記試験90%、授業態度10%						
【教科書・参考書】 教科書： エスカパーシク 食べ物と健康－調理学－（同文書院） 参考書： 随時紹介する。						
【その他】 特になし						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	おいしさ 調理の目的である「おいしさ」について学ぶ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				
2	加熱とは 熱の移動方式の特徴を知り、冷凍も含め、加熱調理の特徴を学ぶ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				
3	非加熱調理 非加熱調理の特徴を知り、それによる食品の変化を学ぶ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				
4	米の調理 日本人の主食である米について、その調理性を学ぶ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				
5	小麦粉の調理 小麦粉について、米と比較しながらその調理性を学ぶ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				
6	でんぷん、芋、豆の調理 各種でんぷん、芋、豆について、種類、成分、調理性を学ぶ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				
7	野菜、果物の調理 野菜、果物について、その種類、成分、調理性を学ぶ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				
8	肉の調理 獣鶏肉成分を魚と比較しながら学ぶ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				
9	魚の調理 魚介類の成分、調理性を学び、肉との差異、共通性を学ぶ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				
10	卵の調理 鶏卵の成分、調理性を学ぶ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				
11	乳・乳製品の調理 牛乳、乳製品の成分、調理性を学ぶ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				
12	ゲル化剤の調理 寒天、ゼラチン、カラギーナン、ペクチンの成分、調理性を学ぶ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				
13	調味料について 油脂、糖類、塩類、酢等の調味料の調理性について学ぶ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				
14	調理器具 電子レンジ、冷凍冷蔵庫等の機器、鍋の材質と特徴などを学ぶ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				
15	総括（フィードバックを含む） 授業まとめ	事前学習：教科書の該当部分で分からない語句を調べておく（2.0h） 事後学習：授業で得た知識を整理する（2.0h）				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	障害者福祉論	高木 憲司	前期・春学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 障害の概念と特性、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境、障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程、障害者に対する法制度と支援の仕組み、障害による生活課題を踏まえ、ソーシャルワーカーとしての適切な支援のあり方を解説する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 ソーシャルワーカーとして必要な障害児・者に関する専門的知識を修得し、障害児・者の有するニーズを具体的にイメージすることやストレングスを活かした支援技術の修得につながる基盤を作ることを目標とする。 【評価方法】 筆記試験80%、授業への取組状況20%の配分で評価する						
【教科書・参考書】 教科書： 最新社会福祉士養成講座 障害者福祉（中央法規出版） 参考書： 随時紹介する						
【その他】 講義で使用する資料等をmanabaコースにて公開する 社会福祉士課程履修者は必修の科目である						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	講義のオリエンテーションと障害者の定義 講義の目的・目標・評価の方法、障害者の定義を理解する	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				
2	各障害の特性と支援内容 身体障害、知的障害、精神障害等の特性と支援内容を理解する	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				
3	国際生活機能分類 (ICF) ICFとICIDH、障害のとらえ方を理解する	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				
4	障害者福祉の理念 障害観の変遷と障害者福祉の理念を理解する	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				
5	障害者福祉の歴史 (1) 障害者処遇の変遷、障害者福祉の発展過程を理解する	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				
6	障害者福祉の歴史 (2) 障害者当事者運動、国連障害者権利条約を理解する	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				
7	障害者を取り巻く社会環境 (1) 障害者の生活実態、障害者の家族の実態を理解する	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				
8	障害者を取り巻く社会環境 (2) 障害者を取り巻く社会環境と課題を理解する	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				
9	障害者に対する法制度 (1) 法制度の全体像、身体・知的・精神の各福祉法を理解する	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				
10	障害者に対する法制度 (2) 児童福祉法、発達障害者支援法を理解する	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				
11	障害者に対する法制度 (3) 障害者総合支援法・児童福祉法によるサービス給付を理解する	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				
12	障害者に対する法制度 (4) 障害者虐待防止法、差別解消法、バリアフリー法等を理解する	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				
13	障害者関係機関と専門職の役割 障害者福祉に関連する機関や専門職の役割を理解する	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				
14	障害者と家族等に対する支援の実際 障害領域におけるソーシャルワーカーの役割・多職種連携を理解する	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				
15	試験及び総括 (フィードバック含む) 障害者福祉制度全般を振り返り、知識の整理をする	事前学習： 各テーマにそってmanabaコースで配布する資料等を熟読する (1.5h) 事後学習： 事後には自身のノート等を見返し、教科書や資料等と照らして理解を深める。特にわからない用語を残さないようにしておくこと (1.5h)				

各大学へのアクセス

単位互換科目を受講の際は、必ず各自でアクセス方法・所要時間を確認してください。

大学名	アクセス
昭和学院短期大学	https://www.showagakuin.ac.jp/outline/access/ JR 総武線 本八幡駅より徒歩 20 分 または、都営新宿線 本八幡駅、京成電鉄 京成八幡駅より徒歩 15 分
東京経営短期大学	https://www.tokyo-keitan.ac.jp/access/ 西船橋駅 南口より徒歩 12 分 (スクールバスあり・運行時刻は Web サイトを参照ください)
千葉商科大学	https://www.cuc.ac.jp/access/index.html 京成電鉄 国府台駅より徒歩 10 分 または JR 総武線 市川駅より徒歩 20 分(バス利用の場合、市川駅より 10 分)
和洋女子大学	https://www.wayo.ac.jp/access 京成電鉄 国府台駅より徒歩 9 分 または JR 総武線 市川駅より徒歩 20 分(バス利用の場合、市川駅より 10 分)
東京医科歯科大学 (教養部)	https://www.tmd.ac.jp/artsci/outline/access.html 京成電鉄 国府台駅より徒歩 20 分 または JR 総武線 市川駅よりバス 10 分、国府台病院下車 徒歩 2 分

大学コンソーシアム市川

2024年度前期・春学期 特別履修学生出願票

特別履修学生として、下記科目を受講いたしたく出願いたします。

出 願 者	学籍番号		性別	男 ・ 女			
	フリガナ 氏名		生年月日	年 月 日生 () 歳			
	現住所	〒					
	携帯電話番号	()					
	所属大学	大 学					
	学部・学科		学 年	※			
出 願 先	受入大学	大 学					
	受 講 科 目	授 業 科 目 名	単 位	学 期	教 員 名	曜 日	時 限
出 願 理 由							

※受講年度の学年を記入してください。